

**令和5年度「結婚等に関する県民意識調査」
報告書**

富 山 県

目次

調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 調査項目	1
5. 報告書内のデータ記述について	2
回答者の属性	3
調査結果	9
(1) 結婚の価値観・時期	9
(2) 結婚の条件	14
(3) 結婚したくない理由・考えが変わる要因	21
(4) 結婚した理由・出会いの環境	24
(5) 現在結婚していない理由	36
(6) 異性交際への不安	41
(7) 婚活の状況	43
(8) 結婚生活への不安	46
(9) 未婚化・晩婚化の原因	50
(10) 理想の生き方・働き方	51
(11) 子どもの人数	54
(12) 第1子誕生の時期	61
(13) 国や自治体の少子化対策	63
(14) 少子化対策に関する意見	72
使用した調査票	75

調査の概要

1. 調査目的

県内在住の18歳から39歳の方を対象に結婚や出産についての率直な思いや意識を調査し、今後の県の結婚支援施策や少子化対策に役立てることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域 富山県全域
- (2) 調査対象 県内在住の18歳から39歳の男女 2,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳より層化無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送、郵送回答及びインターネット回答の併用
- (5) 調査時期 令和5年9月29日～10月13日
- (6) 調査機関 株式会社東京商工リサーチ

3. 回収結果

発送数 2,000件

回収数 576件（回収率28.8%）

有効回答数 567件

4. 調査項目

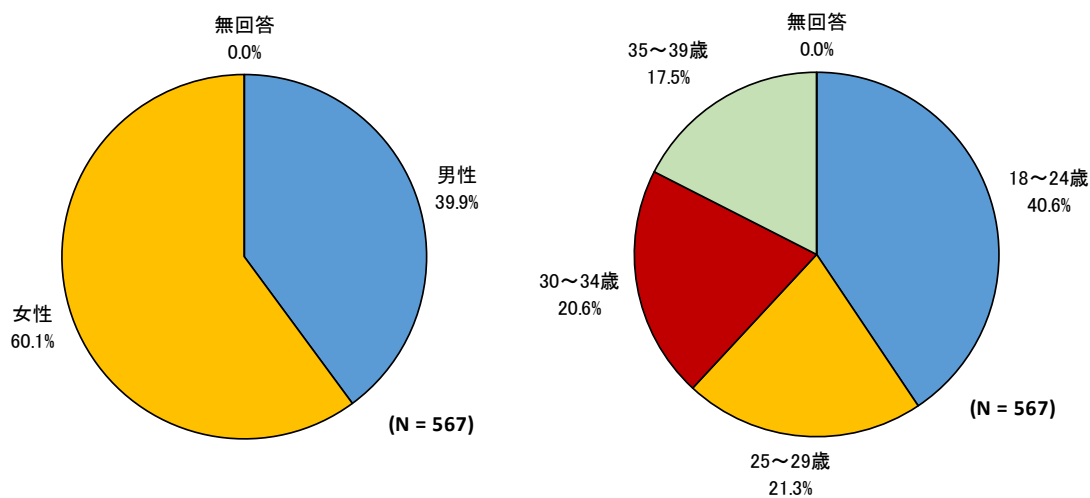
- (1) 結婚の価値観・時期
- (2) 結婚の条件
- (3) 結婚したくない理由・考えが変わる要因
- (4) 結婚した理由・出会いの環境
- (5) 現在結婚していない理由
- (6) 異性交際への不安
- (7) 婚活の状況
- (8) 結婚生活への不安
- (9) 未婚化・晩婚化の原因
- (10) 理想の生き方・働き方
- (11) 子どもの人数
- (12) 第1子誕生の時期
- (13) 国や自治体の少子化対策
- (14) 少子化対策に関する意見

5. 報告書内のデータ記述について

- (1) 比較に使用した前回調査は、令和元年度「結婚等に関する県民意識調査」（調査対象：県内在住の 20代から30代の男女 2,000人）である。前回調査との比較においては、今回調査の回答のうち20代から30代のもののみを抽出して比較している。
- (2) 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
- (3) 基数とすべき実数は図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を100%として算出している。
- (4) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える。
- (5) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所がある。

回答者の属性

性別と年齢



(上段:人 下段:%)

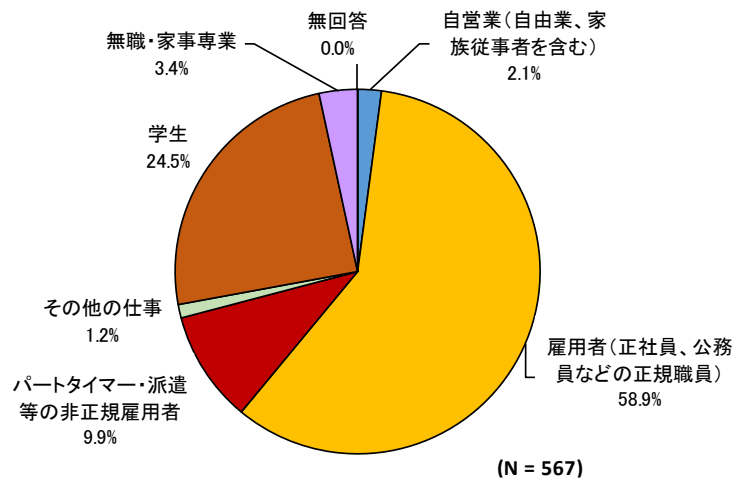
		全 体	18~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳
全 体		567	230	121	117	99
		100.0	40.6	21.3	20.6	17.5
性 別	男性	226	91	46	53	36
		100.0	40.3	20.4	23.5	15.9
性 別	女性	341	139	75	64	63
		100.0	40.8	22.0	18.8	18.5

居住地

	回答者数	構成比(%)
富山市	230	40.6
高岡市	83	14.6
魚津市	21	3.7
氷見市	11	1.9
滑川市	19	3.4
黒部市	22	3.9
砺波市	38	6.7
小矢部市	15	2.6
南砺市	23	4.1
射水市	55	9.7
舟橋村	5	0.9
上市町	11	1.9
立山町	16	2.8
入善町	13	2.3
朝日町	4	0.7
無回答	1	0.2

(N = 567)

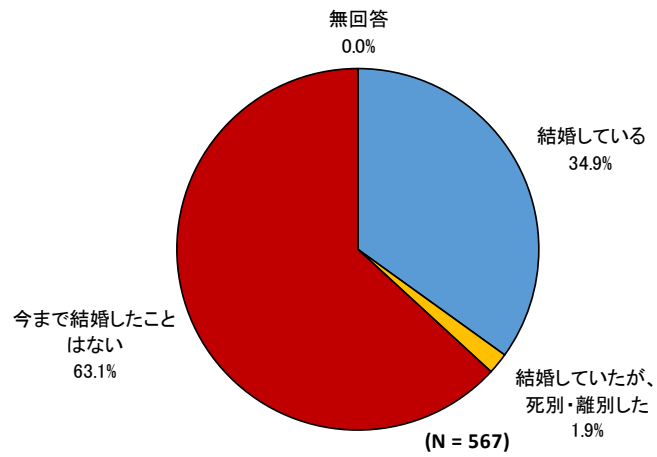
職業



(上段:人 下段:%)

		全 体	自営業(自由業、家族従事者を含む)	雇用者(正社員、公務員などの正規職員)	パートタイマー・派遣等の非正規雇用者	その他の仕事	学生	無職・家事専業
全 体		567 100.0	12 2.1	334 58.9	56 9.9	7 1.2	139 24.5	19 3.4
性別	男性	226 100.0	4 1.8	153 67.7	9 4.0	2 0.9	53 23.5	5 2.2
	女性	341 100.0	8 2.3	181 53.1	47 13.8	5 1.5	86 25.2	14 4.1
年齢	18~24歳	230 100.0	0 0.0	78 33.9	7 3.0	2 0.9	137 59.6	6 2.6
	25~29歳	121 100.0	1 0.8	96 79.3	13 10.7	5 4.1	0 0.0	6 5.0
	30~34歳	117 100.0	4 3.4	89 76.1	19 16.2	0 0.0	2 1.7	3 2.6
	35~39歳	99 100.0	7 7.1	71 71.7	17 17.2	0 0.0	0 0.0	4 4.0
結婚経験別	既婚	198 100.0	8 4.0	151 76.3	29 14.6	1 0.5	0 0.0	9 4.5
	死別・離別	11 100.0	0 0.0	9 81.8	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	未婚	358 100.0	4 1.1	174 48.6	25 7.0	6 1.7	139 38.8	10 2.8

結婚の状況

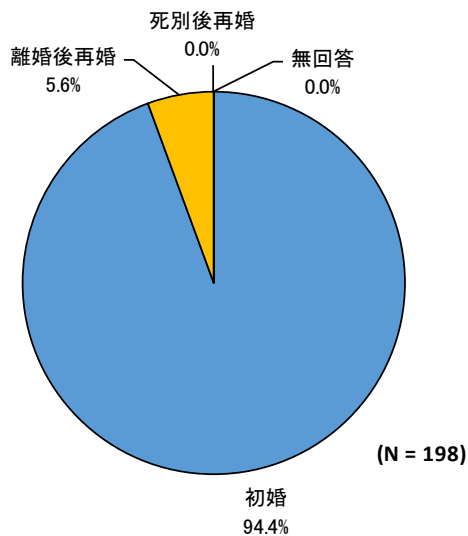


(上段:人 下段:%)

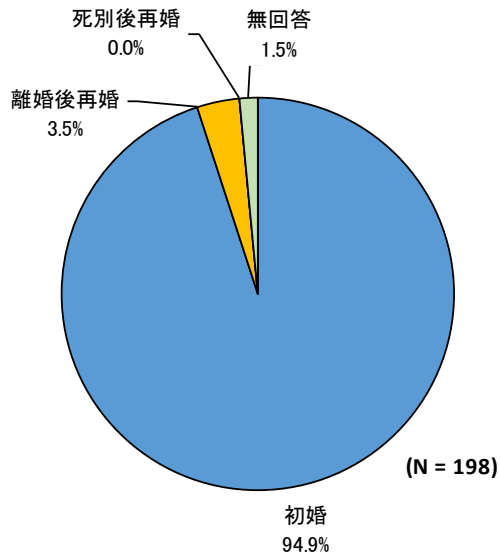
	全体	【結婚経験あり】		【未婚】	
		結婚している	結婚していたが、死別・離別した	今まで結婚したことはない	
全体	567 100.0	198 34.9	11 1.9	358 63.1	
性別	男性	226 100.0	76 33.6	3 1.3	147 65.0
	女性	341 100.0	122 35.8	8 2.3	211 61.9
年齢	18～24歳	230 100.0	10 4.3	0 0.0	220 95.7
	25～29歳	121 100.0	46 38.0	4 3.3	71 58.7
	30～34歳	117 100.0	67 57.3	4 3.4	46 39.3
	35～39歳	99 100.0	75 75.8	3 3.0	21 21.2

初再婚の別

【「結婚している人」について、調査対象者本人】



【「結婚している人」について、調査対象者の配偶者】



(上段:人 下段:%)

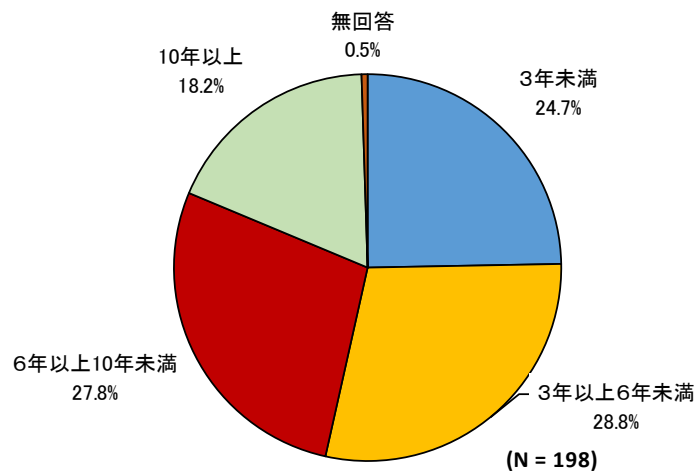
	全体	あなたの初再婚の別				配偶者の初再婚の別				
		初婚	離婚後再婚	死別後再婚	無回答	初婚	離婚後再婚	死別後再婚	無回答	
全体	198 100.0	187 94.4	11 5.6	0 0.0	0 0.0	188 94.9	7 3.5	0 0.0	3 1.5	
性別	男性	76 100.0	75 98.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0	76 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性	122 100.0	112 91.8	10 8.2	0 0.0	0 0.0	112 91.8	7 5.7	0 0.0	3 2.5
年齢	18~24歳	10 100.0	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 90.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	25~29歳	46 100.0	46 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	46 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30~34歳	67 100.0	62 92.5	5 7.5	0 0.0	0 0.0	63 94.0	4 6.0	0 0.0	0 0.0
	35~39歳	75 100.0	69 92.0	6 8.0	0 0.0	0 0.0	70 93.3	3 4.0	0 0.0	2 2.7

【夫婦の初再婚の別（「結婚している」人について）】

(上段:人 下段:%)

	全体	配偶者の初再婚の別				
		初婚	離婚後再婚	死別後再婚	無回答	
全体	198 100.0	188 94.9	7 3.5	0 0.0	3 1.5	
初再婚の別 あなたの	初婚	187 100.0	182 97.3	3 1.6	0 0.0	2 1.1
	離婚後再婚	11 100.0	6 54.5	4 36.4	0 0.0	1 9.1
	死別後再婚	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

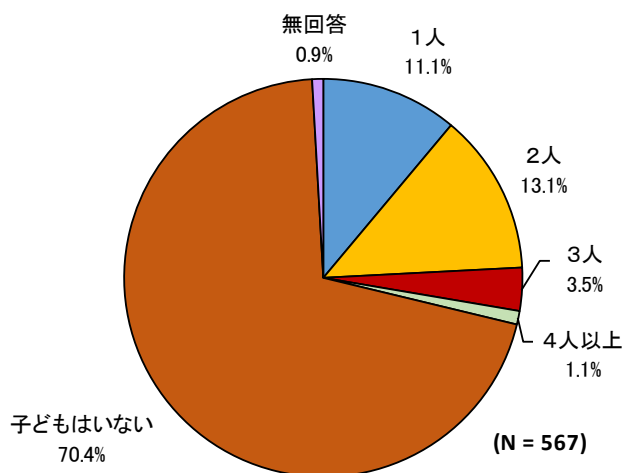
結婚年数



(上段:人 下段:%)

		全 体	3年未満	3年以上6年未満	6年以上10年未満	10年以上	無回答
全 体		198 100.0	49 24.7	57 28.8	55 27.8	36 18.2	1 0.5
性 別	男性	76 100.0	20 26.3	24 31.6	17 22.4	15 19.7	0 0.0
	女性	122 100.0	29 23.8	33 27.0	38 31.1	21 17.2	1 0.8
年 齢	18～24歳	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	46 100.0	20 43.5	20 43.5	6 13.0	0 0.0	0 0.0
	30～34歳	67 100.0	13 19.4	25 37.3	25 37.3	3 4.5	1 1.5
	35～39歳	75 100.0	7 9.3	11 14.7	24 32.0	33 44.0	0 0.0

子どもの人数



(上段:人 下段:%)

		全体	1人	2人	3人	4人以上	子どもはいない	無回答
全体		567	63	74	20	6	399	5
		100.0	11.1	13.1	3.5	1.1	70.4	0.9
性別	男性	226	22	29	7	3	163	2
		100.0	9.7	12.8	3.1	1.3	72.1	0.9
女性		341	41	45	13	3	236	3
		100.0	12.0	13.2	3.8	0.9	69.2	0.9
年齢	18~24歳	230	6	1	0	0	221	2
		100.0	2.6	0.4	0.0	0.0	96.1	0.9
	25~29歳	121	21	9	3	1	86	1
		100.0	17.4	7.4	2.5	0.8	71.1	0.8
30~34歳		117	20	24	7	0	64	2
		100.0	17.1	20.5	6.0	0.0	54.7	1.7
35~39歳		99	16	40	10	5	28	0
		100.0	16.2	40.4	10.1	5.1	28.3	0.0
結婚経験別	既婚	198	54	72	20	6	46	0
		100.0	27.3	36.4	10.1	3.0	23.2	0.0
	死別・離別	11	6	2	0	0	3	0
	100.0	54.5	18.2	0.0	0.0	27.3	0.0	
未婚		358	3	0	0	0	350	5
		100.0	0.8	0.0	0.0	0.0	97.8	1.4

調查結果

(1) 結婚の価値観・時期

問 1 結婚についての自身の考え

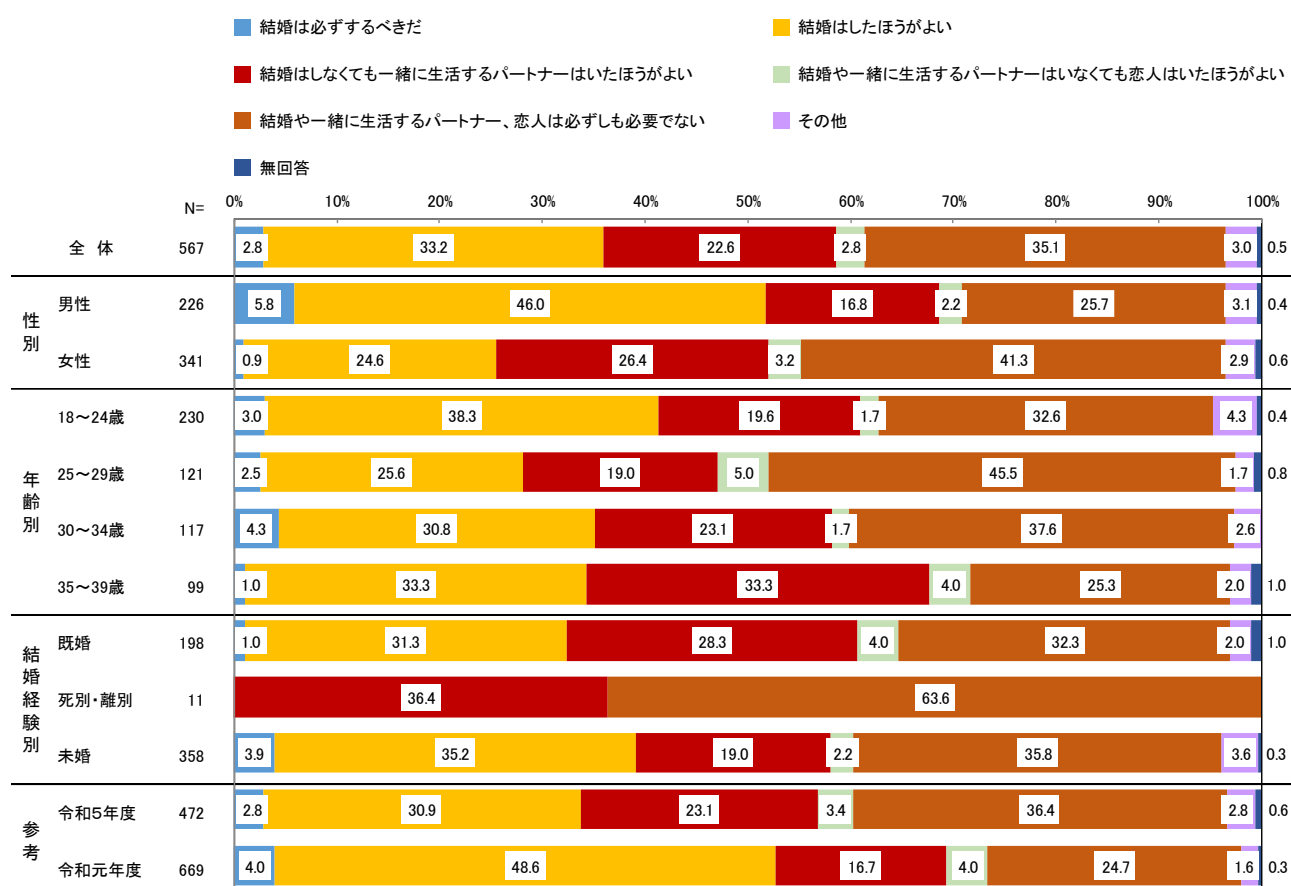
全体では、「結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない」が 35.1%と最も高く、次いで「結婚はしたほうがよい」が 33.2%、「結婚はしなくても一緒に生活するパートナーはいたほうがよい」が 22.6%となっている。

性別でみると、男性では「結婚はしたほうがよい」が 46.0%で最も高い一方で、女性では「結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない」が 41.3%で最も高くなっている。

年齢別でみると、18～24 歳では「結婚はしたほうがよい」が 38.3%で最も高く、他の年齢と比べても最も高くなっている。一方で、25～29 歳では「結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない」が 45.5%、30～34 歳では同選択肢が 37.6%で最も高く、18～24 歳と比べて対照的な結果となった。

結婚経験別でみると、既婚よりも未婚の方が「結婚はしたほうがよい」は 3.9 ポイント高く、「結婚はしなくても一緒に生活するパートナーはいたほうがよい」の割合は既婚の方が 9.3 ポイント高くなっている。

前回調査と比較すると、「結婚はしたほうがよい」は 17.7 ポイント減少した一方で、「結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない」は 11.7 ポイント増加した。結婚に前向きな「結婚は必ずすべきだ」「結婚はしたほうがよい」を合わせると、前回は 52.6%、今回は 33.7%と大幅に減少した。



問2 自身の結婚の時期

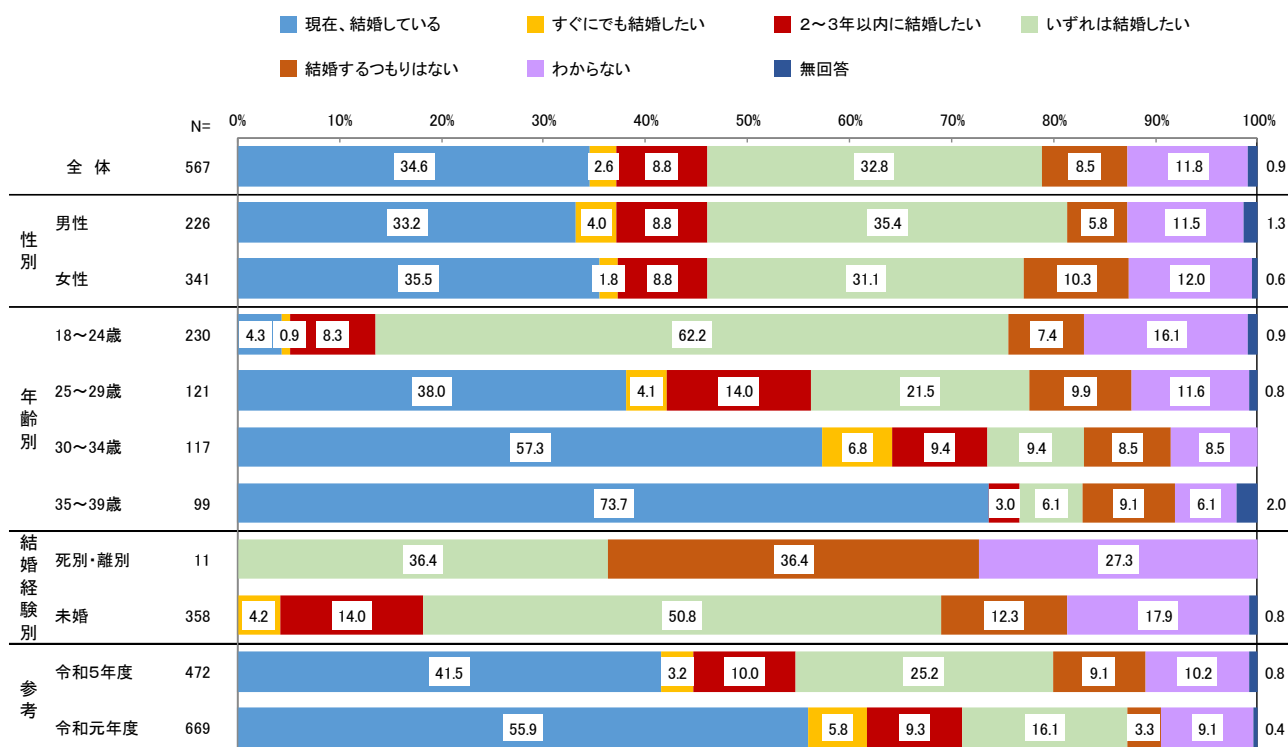
全体では、「現在、結婚している」が34.6%と最も高く、次いで「いずれは結婚したい」が32.8%、「わからない」が11.8%となっている。

性別でみると、男性では「いずれは結婚したい」が35.4%で最も高い一方で、女性では「現在、結婚している」が35.5%で最も高くなっている。また、「すぐにでも結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」と3年以内に結婚したい人の割合では、男性が12.8%に対し女性が10.6%となっている。

年齢別でみると、「現在、結婚している」は18～24歳で4.3%と最も低く、年齢が上がるにつれて高くなっている。一方で、「いずれは結婚したい」は18～24歳で62.2%と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなっている。

結婚経験別でみると、死別・離別では「いずれは結婚したい」及び「結婚するつもりはない」がそれぞれ36.4%と最も高くなっている。また、未婚では「いずれは結婚したい」が50.8%と最も高く、次いで「わからない」が17.9%となっている。

前回調査と比較すると、「現在、結婚している」は14.4ポイント減少し、「いずれは結婚したい」は9.1ポイント増加した。



自身の結婚の時期についてあえて選ぶなら（問2で「わからない」を選んだ人）

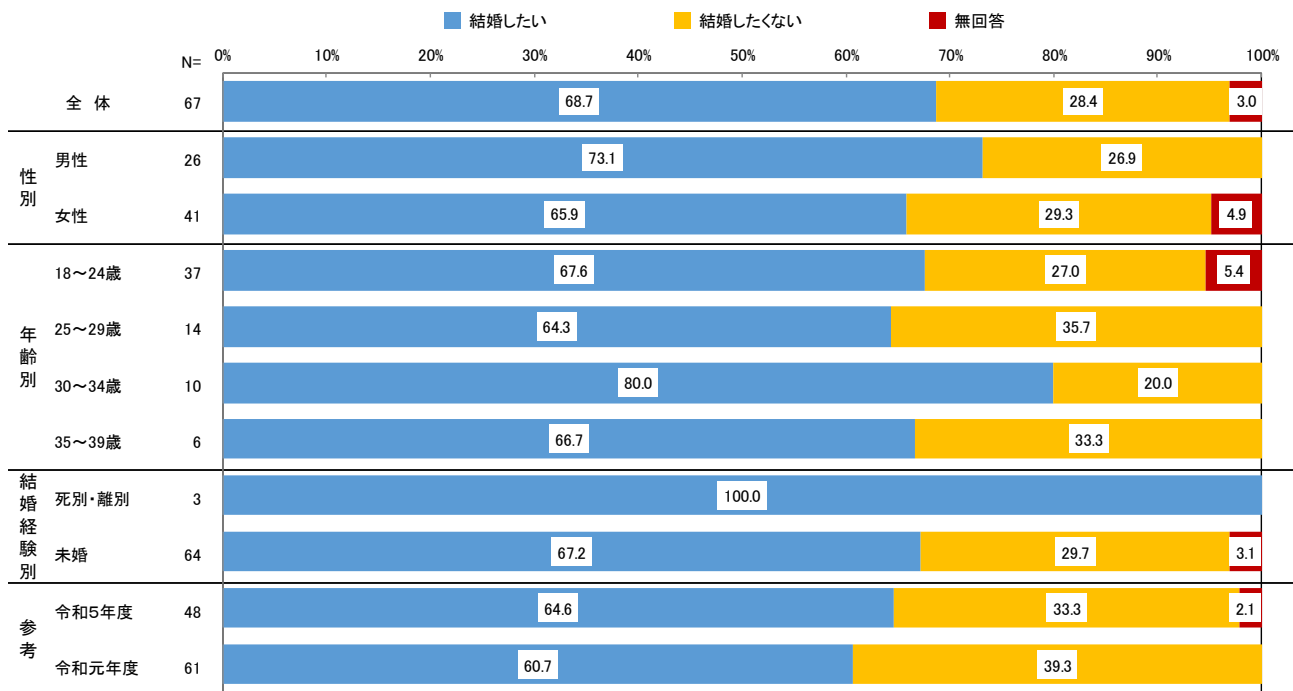
全体では、「結婚したい」が68.7%、「結婚したくない」が28.4%となっており、結婚の時期について「わからない」と回答した人も約7割は「あえて選ぶなら結婚したい」と考えている。

性別でみると、「結婚したい」を選んだ人の方が男女ともに高く、男性（73.1%）が女性（65.9%）より7.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「結婚したい」は30～34歳で80.0%と最も高く、他のいずれの年齢においても6割を超えている。

結婚経験別でみると、未婚では「結婚したい」が67.2%、「結婚したくない」が29.7%となった。

前回調査と比較すると、「結婚したい」は3.9ポイント増加し、「結婚したくない」は6.0ポイント減少した。



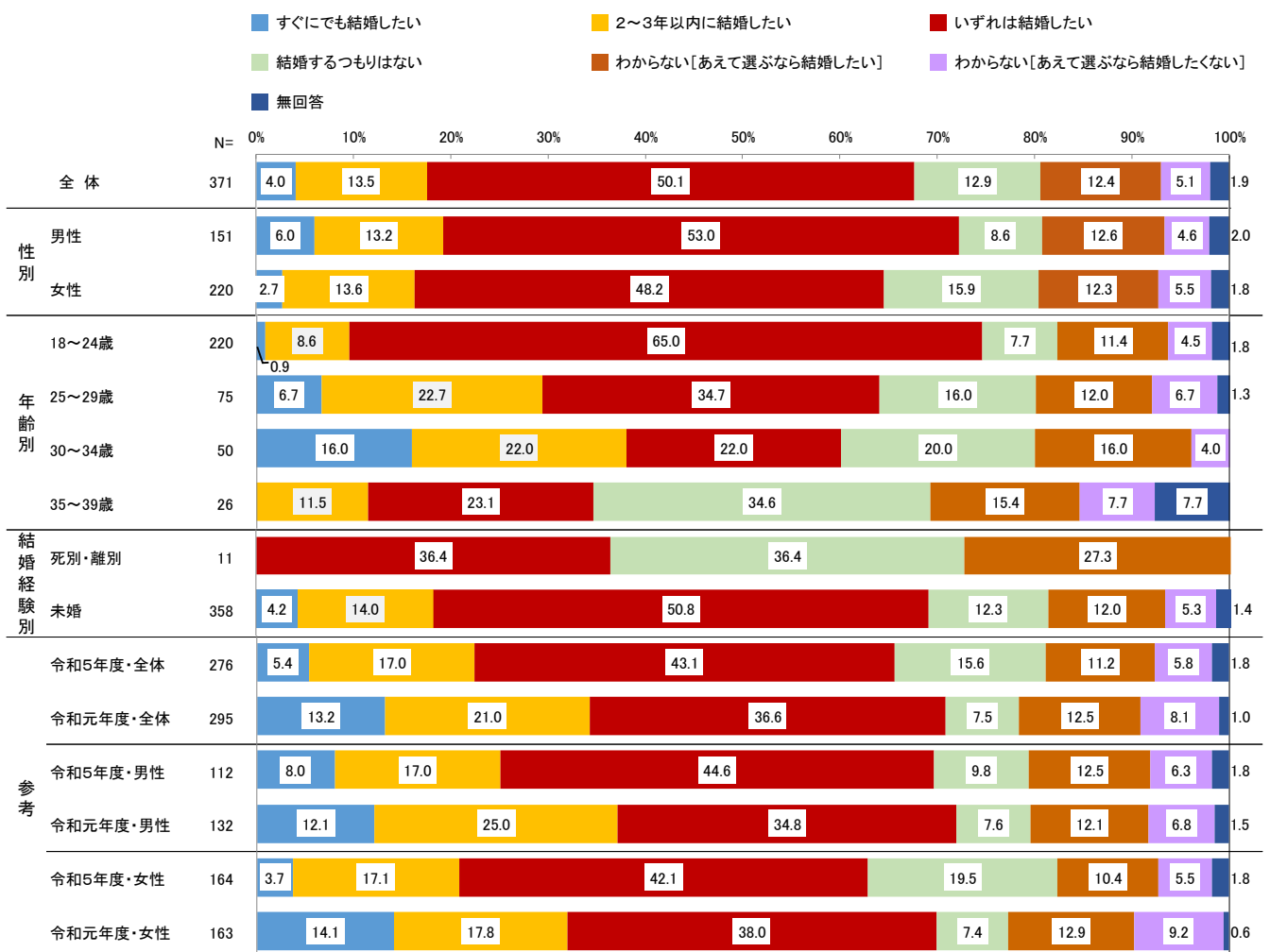
【結婚していない人の自身の結婚の時期について】

問2で「現在、結婚している」を選んだ人を除いた結婚していない人を対象に、さらに「わからない」の回答については「あえて選ぶなら結婚したい／結婚したくない」で細分化してみると、時期を特定しなければ、80.0%は「結婚したい」と回答している。

年齢別で見ると、時期を特定せず「結婚したい」と回答した人は18～24歳で85.9%と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がある。

結婚経験別で見ると、未婚では時期を特定せず「結婚したい」と回答した人は81.0%となり、「結婚するつもりはない」及び「あえて選ぶなら結婚したくない」を合わせた17.6%を大きく上回った。

前回調査と比較すると、時期を特定せず「結婚したい」と回答した人は76.7%であり、前回の83.3%と比較して6.6ポイント減少した。



問3 理想の結婚年齢

回答いただいた理想の結婚年齢を5歳区分で集計した。

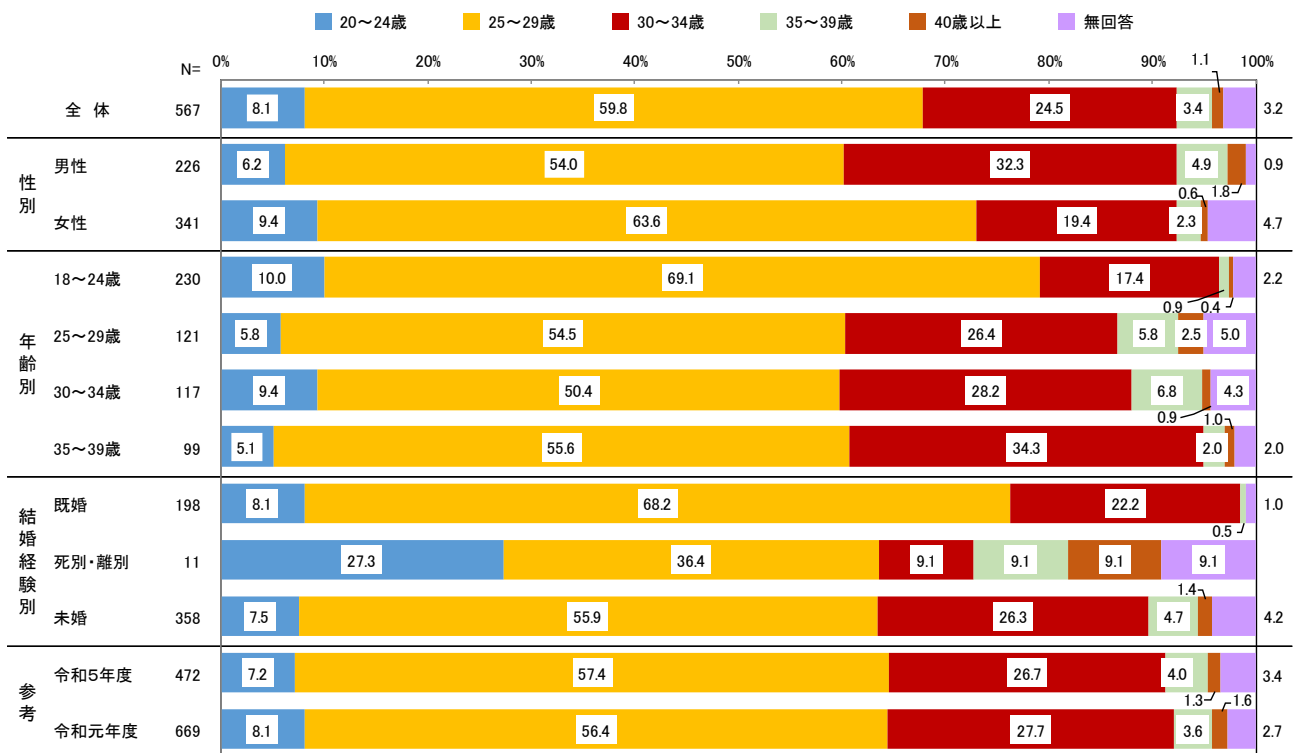
全体では、「25～29歳」が59.8%と最も高く、次いで「30～34歳」が24.5%、「20～24歳」が8.1%となっている。

性別でみると、男性では「20代（20～29歳）」が60.2%、「30代（30～39歳）」が37.2%であるのに対し、女性では「20代」が73.0%、「30代」が21.7%となっており、男女間で差がある。

年齢別でみると、いずれの年齢においても「20代」が最も高いが、18～24歳の79.1%は他の年齢と比べて大幅に高くなっている。

結婚経験別でみると、「24歳以下」は死別・離別で27.3%と、既婚及び未婚のいずれよりも高くなっている。「20代」は既婚で76.3%、未婚で63.4%と、既婚の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、「20代」は0.1ポイント増加、「30代」は0.6ポイント減少と、ほぼ同様であった。



【理想の結婚年齢について（無回答を除いた平均値）】

		全体(人)	平均(歳)
全体		549	27.63
性別	男性	224	28.17
	女性	325	27.26
年齢別	18～24歳	225	26.87
	25～29歳	115	28.41
	30～34歳	112	28.22
	35～39歳	97	27.79
結婚経験別	既婚	196	26.93
	死別・離別	10	28.20
	未婚	343	28.01

(2) 結婚の条件

問4-1 結婚相手に求める条件（すでに結婚している人、将来結婚したい人：複数回答）

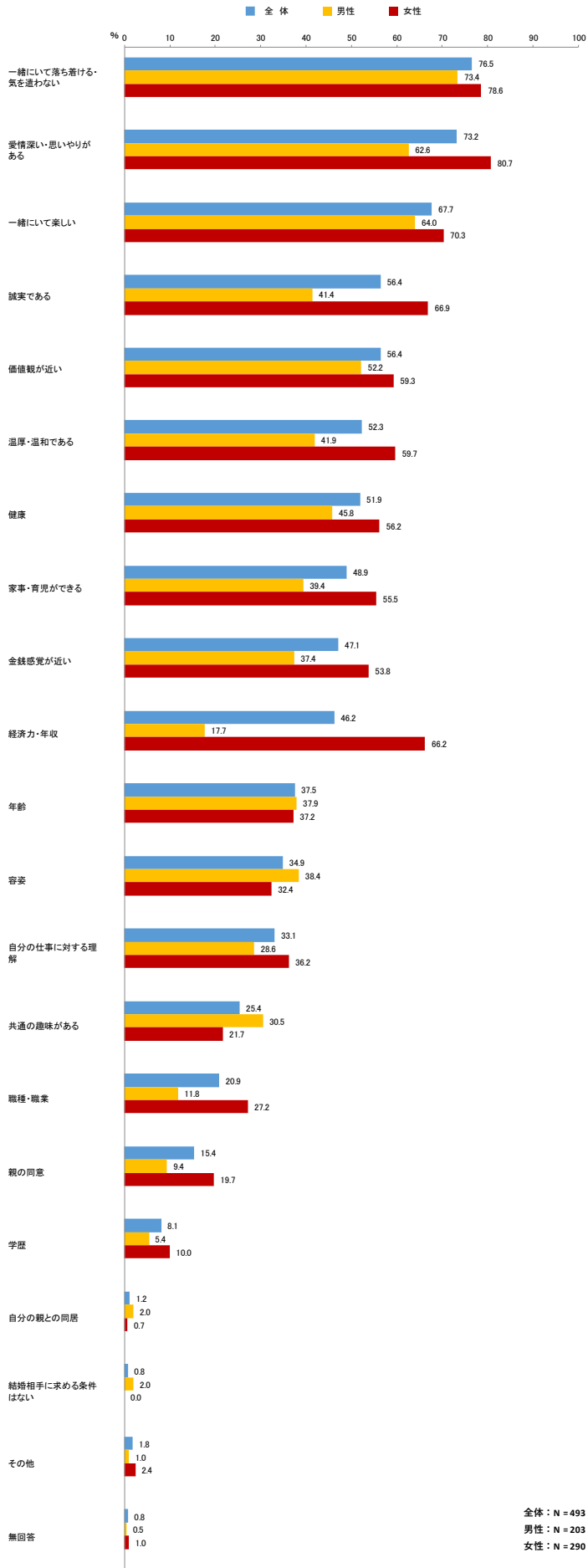
全体では、「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」が76.5%と最も高く、次いで「愛情深い・思いやりがある」が73.2%、「一緒にいて楽しい」が67.7%となっている。

性別でみると、男性では「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」が73.4%で最も高い一方で、女性では「愛情深い・思いやりがある」が80.7%で最も高くなっている。

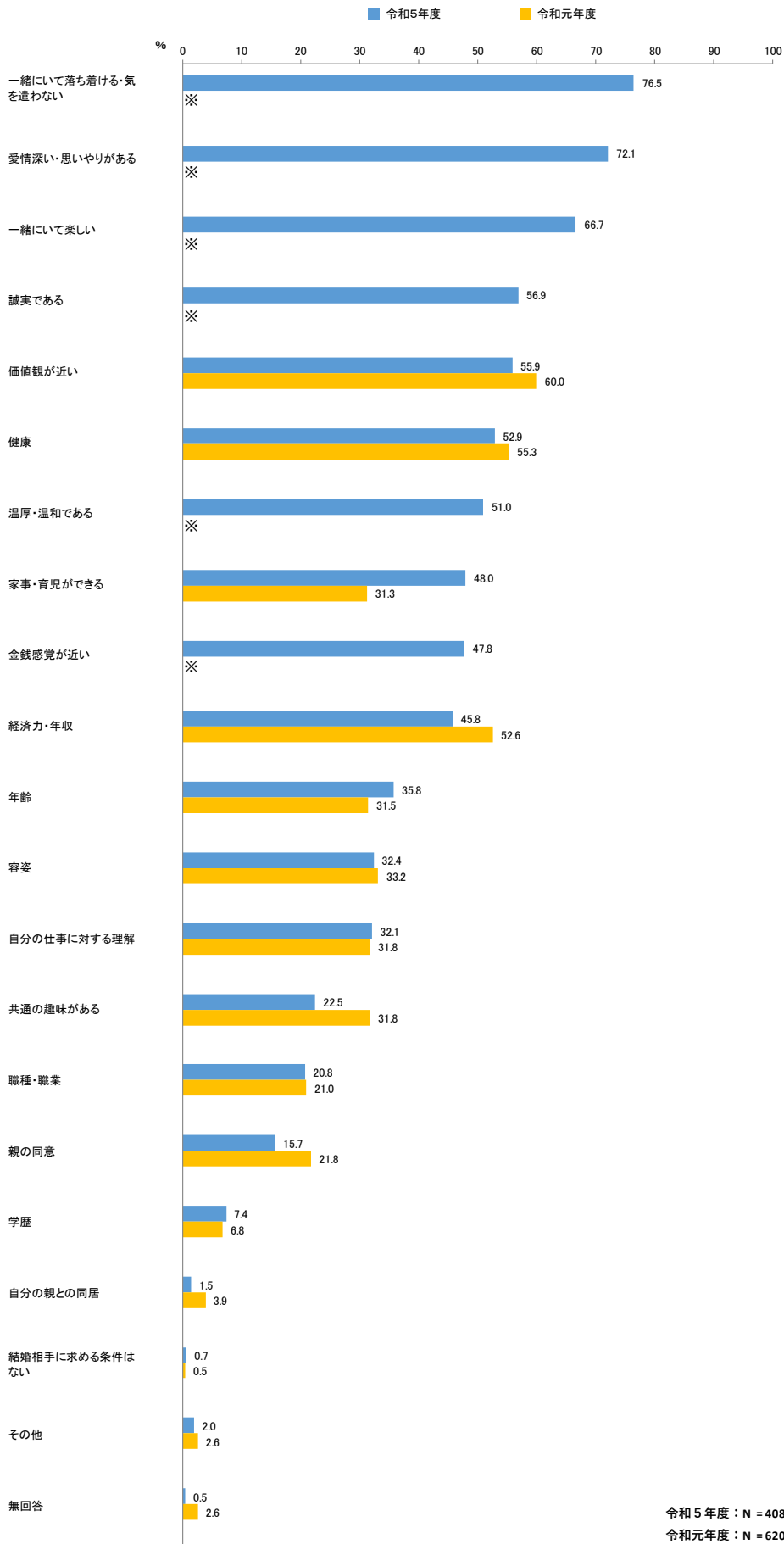
年齢別でみると、「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」及び「愛情深い・思いやりがある」は、いずれの年齢においても1位もしくは2位となった。「健康」は35～39歳で62.8%と他のいずれの年齢よりも高くなっている。

結婚経験別でみると、「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」はいずれにおいても最も高くなっている。「死別・離別」では「誠実である」が85.7%と、「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」と同率で最も高くなっている。

前回調査と同一の項目についてのみ比較すると、「家事・育児ができる」は16.7ポイント増加した。「価値観が近い」（前回：「自分と共通の価値観」）は前回同様に上位の順位となっている。



全体：N = 493
 男性：N = 203
 女性：N = 290



令和5年度：N = 408

令和元年度：N = 620

※前回調査項目なし

	全 体 (人)	職 種 ・ 職 業	経 済 力 ・ 年 収	学 歴	容 姿	年 齢	健 康	愛 情 深 い ・ 思 い や り が あ る	誠 実 で あ る	温 厚 ・ 温 和 で あ る	共 通 の 趣 味 が あ る	一 緒 に い て 楽 し い	一 緒 に い て 落 ち 着 け る ・ 気 を 遣 わ な い	金 銭 感 覚 が 近 い	価 値 観 が 近 い	家 事 ・ 育 児 が で き る	自 分 の 仕 事 に 対 す る 理 解	親 の 同 意	自 分 の 親 と の 同 居	そ の 他	結 婚 相 手 に 求 め る 条 件 は な い	無 回 答	
全 体	493	20.9	46.2	8.1	34.9	37.5	51.9	73.2	56.4	52.3	25.4	67.7	76.5	47.1	56.4	48.9	33.1	15.4	1.2	1.8	0.8	0.8	
性 別	男性	203	11.8	17.7	5.4	38.4	37.9	45.8	62.6	41.4	41.9	30.5	64.0	73.4	37.4	52.2	39.4	28.6	9.4	2.0	1.0	2.0	0.5
	女性	290	27.2	66.2	10.0	32.4	37.2	56.2	80.7	66.9	59.7	21.7	70.3	78.6	53.8	59.3	55.5	36.2	19.7	0.7	2.4	0.0	1.0
年 齢 別	18～24歳	199	18.6	43.7	8.0	38.2	38.2	47.7	77.9	55.3	51.3	32.7	68.8	75.9	42.7	56.3	48.7	36.7	14.1	1.0	3.5	1.5	1.5
	25～29歳	103	24.3	46.6	7.8	39.8	35.9	45.6	69.9	60.2	50.5	16.5	68.9	76.7	54.4	59.2	53.4	32.0	16.5	0.0	1.0	0.0	1.0
	30～34歳	105	22.9	44.8	11.4	32.4	41.0	57.1	67.6	59.0	51.4	21.9	61.9	81.9	43.8	60.0	45.7	28.6	10.5	1.0	0.0	0.0	0.0
	35～39歳	86	19.8	53.5	4.7	24.4	33.7	62.8	73.3	51.2	58.1	23.3	70.9	70.9	52.3	48.8	47.7	31.4	23.3	3.5	1.2	1.2	0.0
結 婚 経 験 別	既婚	196	21.4	49.5	7.1	30.6	33.2	56.6	74.0	57.7	55.6	21.9	71.4	76.0	51.5	52.0	51.0	28.6	17.9	2.0	1.0	0.5	0.0
	死別・離別	7	42.9	42.9	0.0	42.9	57.1	57.1	71.4	85.7	71.4	0.0	71.4	85.7	57.1	71.4	71.4	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3
	未婚	290	20.0	44.1	9.0	37.6	40.0	48.6	72.8	54.8	49.7	28.3	65.2	76.6	43.8	59.0	46.9	35.2	13.4	0.7	2.4	1.0	1.0
参 考	令和5年度	408	20.8	45.8	7.4	32.4	35.8	52.9	72.1	56.9	51.0	22.5	66.7	76.5	47.8	55.9	48.0	32.1	15.7	1.5	2.0	0.7	0.5
	令和元年度	620	21.0	52.6	6.8	33.2	31.5	55.3	※	※	※	31.8	※	※	※	60.0	31.3	31.8	21.8	3.9	2.6	0.5	2.6

※前回調査項目なし

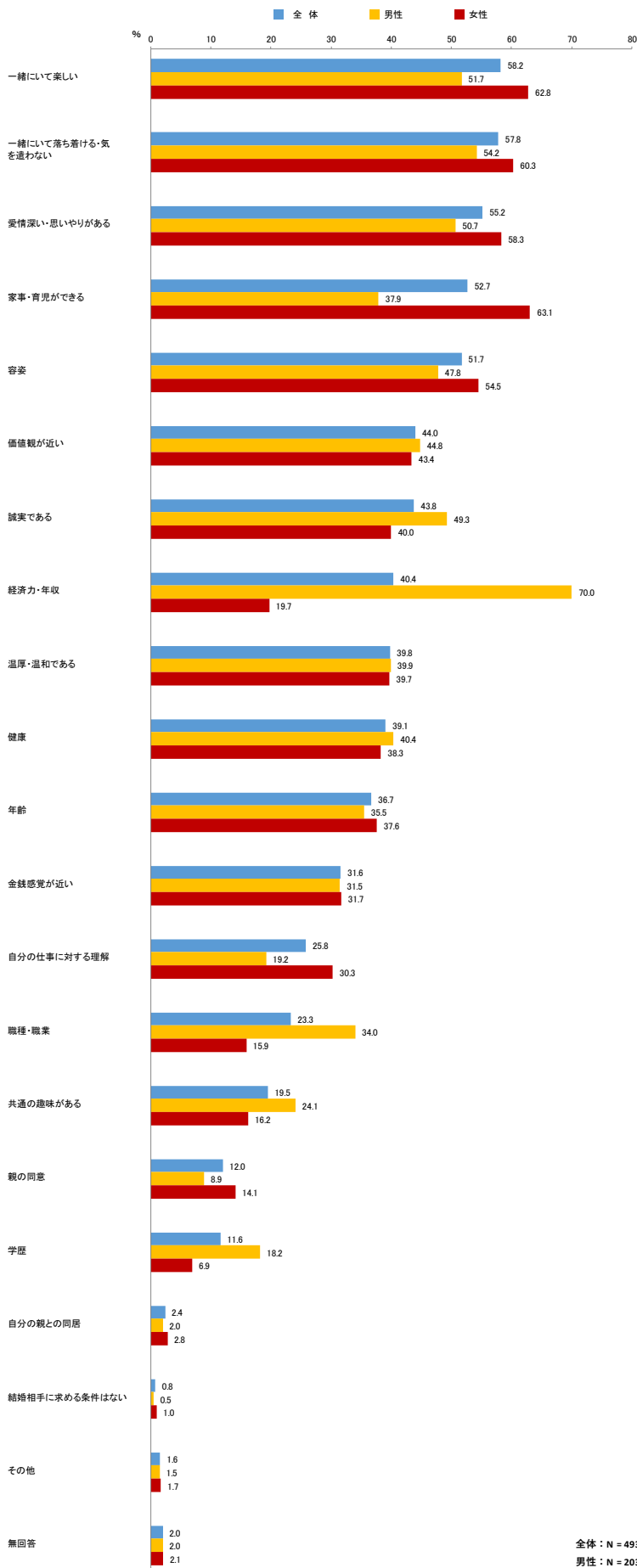
問4-2 異性から結婚相手として求められていると思う条件（すでに結婚している人、将来結婚したい人：複数回答）

全体では、「一緒にいて楽しい」が58.2%と最も高く、次いで「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」が57.8%、「愛情深い・思いやりがある」が55.2%となっている。

性別で見ると、男性では「経済力・年収」が70.0%で最も高い一方で、女性では「家事・育児ができる」が63.1%で最も高くなっている。

年齢別で見ると、30～34歳以外の全てで「一緒にいて楽しい」が最も高く、30～34歳では「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」が57.1%と最も高くなっている。「家事・育児ができる」は35～39歳が58.1%と、他の年齢と比べて高くなっている。

結婚経験別で見ると、既婚及び死別・離別では「一緒にいて落ち着ける・気を遣わない」が最も高いのに対して、未婚では「容姿」が最も高くなっている（死別・離別では「一緒にいて楽しい」も同率1位）。



全体：N = 493
 男性：N = 203
 女性：N = 290

	全 体 (人)	職 種 ・ 職 業	経 済 力 ・ 年 収	学 歴	容 姿	年 齢	健 康	愛 情 深 い ・ 思 い や り が あ る	誠 実 で あ る	温 厚 ・ 温 和 で あ る	共 通 の 趣 味 が あ る	一 緒 に い て 楽 し い	一 緒 に い て 落 ち 着 け る ・ 気 を 遣 わ な い	金 銭 感 覚 が 近 い	価 値 観 が 近 い	家 事 ・ 育 児 が で き る	自 分 の 仕 事 に 対 す る 理 解	親 の 同 意	自 分 の 親 と の 同 居	そ の 他	結 婚 相 手 に 求 め る 条 件 は な い	無 回 答	
全 体	493	23.3	40.4	11.6	51.7	36.7	39.1	55.2	43.8	39.8	19.5	58.2	57.8	31.6	44.0	52.7	25.8	12.0	2.4	1.6	0.8	2.0	
性 別	男性	203	34.0	70.0	18.2	47.8	35.5	40.4	50.7	49.3	39.9	24.1	51.7	54.2	31.5	44.8	37.9	19.2	8.9	2.0	1.5	0.5	2.0
	女性	290	15.9	19.7	6.9	54.5	37.6	38.3	58.3	40.0	39.7	16.2	62.8	60.3	31.7	43.4	63.1	30.3	14.1	2.8	1.7	1.0	2.1
年 齢 別	18～24歳	199	27.1	43.2	15.6	54.3	35.7	35.7	57.8	41.7	41.7	22.1	61.8	60.3	32.2	47.2	54.8	29.1	15.6	1.5	2.5	0.0	3.0
	25～29歳	103	19.4	36.9	9.7	54.4	36.9	31.1	53.4	43.7	38.8	19.4	58.3	57.3	28.2	42.7	50.5	22.3	8.7	1.0	1.9	1.9	1.0
	30～34歳	105	24.8	41.0	10.5	52.4	41.9	44.8	52.4	48.6	38.1	18.1	48.6	57.1	31.4	42.9	46.7	18.1	4.8	1.9	1.0	1.0	2.9
	35～39歳	86	17.4	37.2	5.8	41.9	32.6	50.0	54.7	43.0	38.4	15.1	61.6	53.5	34.9	39.5	58.1	31.4	16.3	7.0	0.0	1.2	0.0
結 婚 経 験 別	既婚	196	16.8	33.2	5.1	39.8	25.0	40.3	55.6	42.3	38.3	16.3	57.7	60.7	31.1	41.3	49.5	21.4	9.2	3.1	1.0	2.0	1.5
	死別・離別	7	14.3	42.9	0.0	71.4	42.9	42.9	85.7	57.1	57.1	28.6	100.0	100.0	42.9	71.4	71.4	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	未婚	290	27.9	45.2	16.2	59.3	44.5	38.3	54.1	44.5	40.3	21.4	57.6	54.8	31.7	45.2	54.5	28.3	13.4	2.1	2.1	0.0	2.4

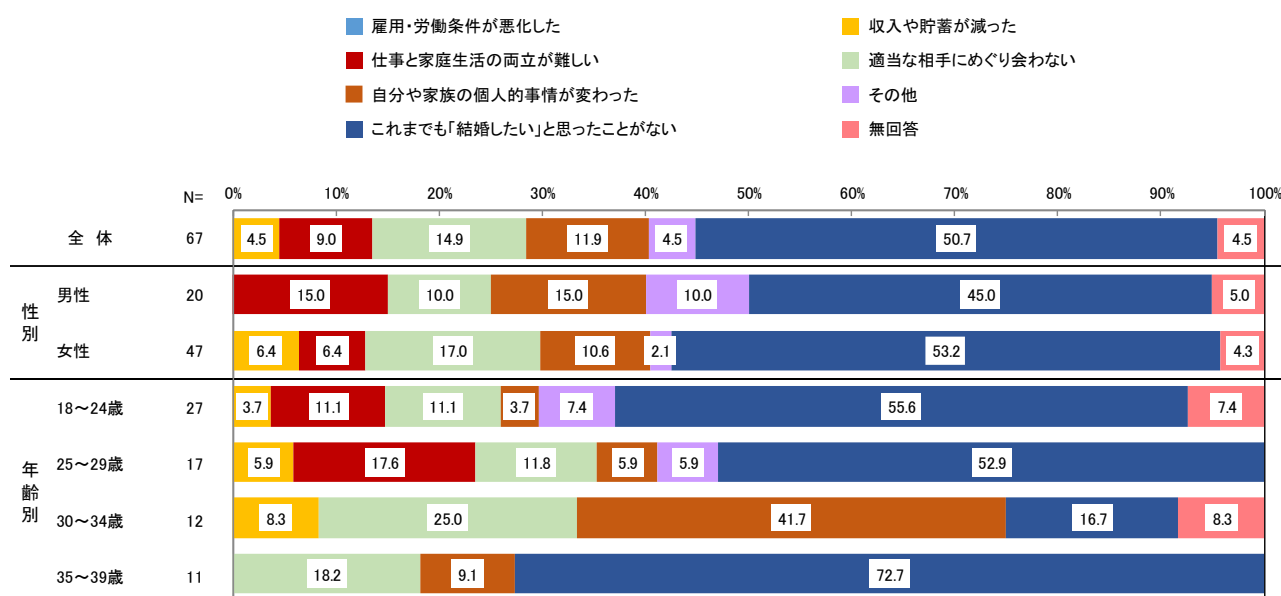
(3) 結婚したくない理由・考えが変わる要因

問5-1 これまでに「結婚したい」と思っていたが、「結婚するつもりはない、結婚したくない」に変わった理由（結婚するつもりはない人、結婚したくない人）

全体では、「これまでも「結婚したい」と思ったことがない」が50.7%と最も高く、次いで「適当な相手にめぐり会わない」が14.9%、「自分や家族の個人的事情が変わった」が11.9%となっている。

性別でみると、男女ともに「これまでも「結婚したい」と思ったことがない」が最も高いが、次いで男性では「仕事と家庭生活の両立が難しい」及び「自分や家族の個人的事情が変わった」が15.0%で高く、女性では「適当な相手にめぐり会わない」が17.0%で高くなっている。

年齢別でみると、「収入や貯蓄が減った」及び「適当な相手にめぐり会わない」は18～24歳から30～34歳にかけて、年齢が上がるにつれて高くなっている。18～24歳及び25～29歳、35～39歳では「これまでも「結婚したい」と思ったことがない」が最も高く、30～34歳では「自分や家族の個人的事情が変わった」が41.7%と最も高くなっている。

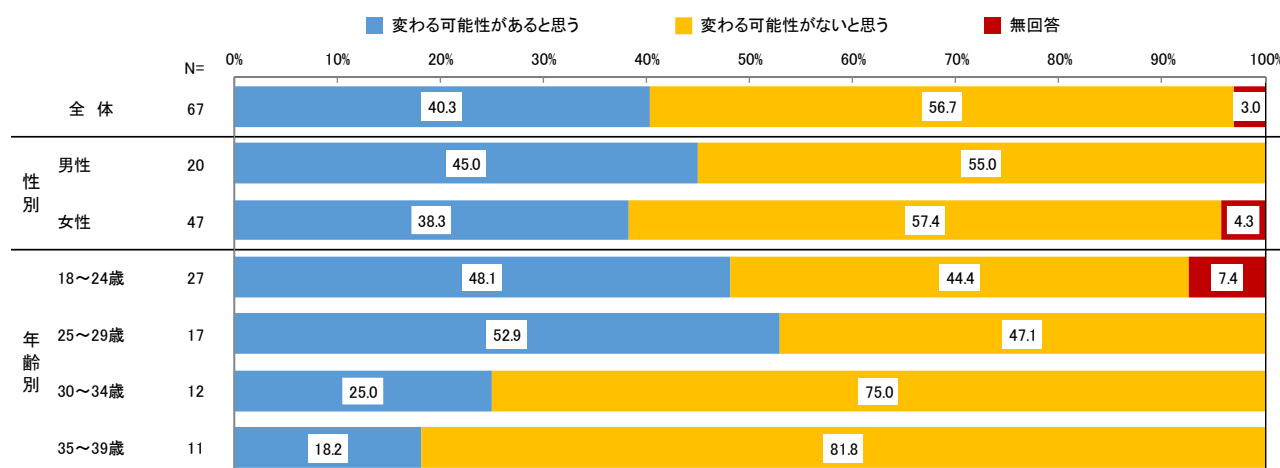


問5-2 今後考えが「結婚したい」に変わる可能性（結婚するつもりはない人、結婚したくない人）

全体では、「変わる可能性がないと思う」が56.7%、「変わる可能性があると思う」が40.3%となっている。

性別で見ると、「変わる可能性がないと思う」のほうが男女ともに高く、女性（57.4%）が男性（55.0%）より2.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、18～24歳及び25～29歳では「変わる可能性があると思う」が約半数となっている一方で、30～34歳及び35～39歳では「変わる可能性がないと思う」がそれぞれ75.0%、81.8%と多数を占めている。



問5-3 考えが変わるにあたって影響が大きいと思うもの（問5-2で「変わる可能性があると思う」を選んだ人：上位3つまで）

全体では、第1位は「結婚したいと思う相手が現れる」が48.1%、第2位では「収入や貯蓄が増える」が18.5%、第3位では「子育て支援策が充実する」が14.8%でそれぞれ最も高くなっている。

性別及び年齢別については、基数が少ないが、参考値として掲載している。

		全 体 (人)	雇 用 ・ 労 働 条 件 が 改 善 す る	収 入 や 貯 蓄 が 増 え る	子 育 て 支 援 策 が 充 実 す る	家 事 ・ 育 児 を 男 女 で 分 け 合 う 社 会 に な る	家 族 を 養 う 責 任 を 男 女 と も に 担 う 社 会 に な る	結 婚 に 関 する 法 律 や 制 度 が 変 わ る	異 性 と 出 会 う 機 会 が 増 え る	結 婚 し た い と 思 う 相 手 が 現 れ る	子 ど も が で き る	変 わ る	自 分 や 家 族 の 個 人 的 事 情 が	結 婚 を 希 望 す る 人 を 応 援 す る 社 会 的 機 運 が 醸 成 さ れ る	そ の 他	無 回 答	
第1位	全 体	27	3.7	14.8	0.0	3.7	0.0	7.4	11.1	48.1	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	7.4	
	性 別	男性	9	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
		女性	18	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	11.1	11.1	50.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	年 齢 別	18～24歳	13	0.0	23.1	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
		25～29歳	9	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
		30～34歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳		2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
第2位	全 体	27	11.1	18.5	3.7	3.7	7.4	0.0	0.0	11.1	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	33.3	
	性 別	男性	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7
		女性	18	16.7	22.2	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7
	年 齢 別	18～24歳	13	7.7	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	38.5
		25～29歳	9	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4
		30～34歳	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳		2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
第3位	全 体	27	3.7	11.1	14.8	11.1	7.4	3.7	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	37.0	
	性 別	男性	9	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	66.7	
		女性	18	0.0	16.7	22.2	16.7	5.6	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
	年 齢 別	18～24歳	13	0.0	7.7	15.4	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	38.5
		25～29歳	9	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4
		30～34歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳		2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
参考※	全 体	27	18.5	44.4	18.5	18.5	14.8	11.1	11.1	66.7	3.7	11.1	0.0	3.7	7.4		

※参考の数値は、質問において1～3位として回答いただいたものを、単純な複数回答として集計し直したものである。

(4) 結婚した理由・出会いの環境

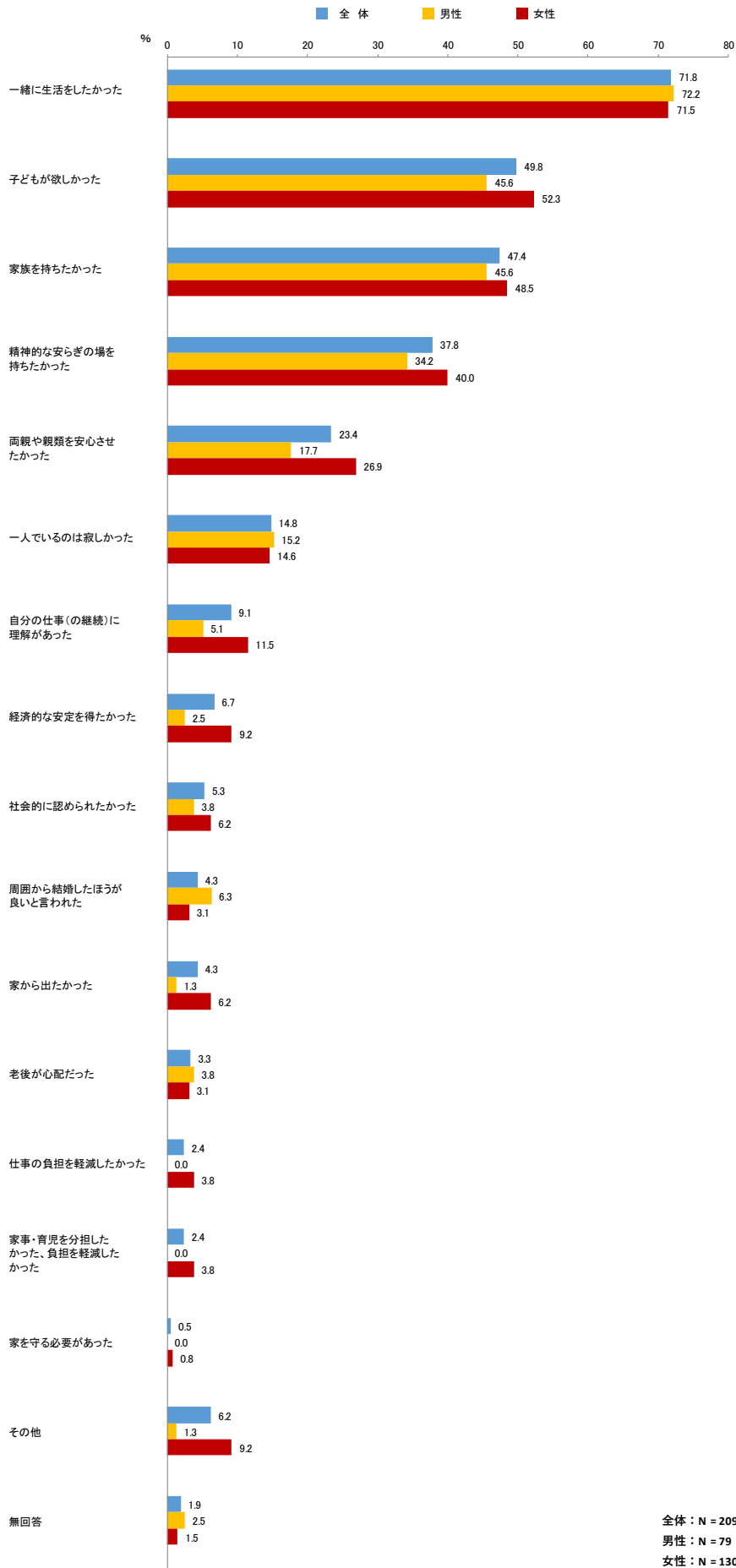
問6 配偶者と結婚した理由（「結婚経験あり」の人：複数回答）

全体では、「一緒に生活をしたかった」が71.8%と最も高く、次いで「子どもが欲しかった」が49.8%、「家族を持ちたかった」が47.4%となっている。

性別で見ると、「一緒に生活をしたかった」が男女ともに7割を超え最も高く、男女間の差が大きいのは「両親や親類を安心させたかった」で、女性（26.9%）が男性（17.7%）より9.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「一緒に生活をしたかった」はいずれの年齢においても最も高くなっている。「子どもが欲しかった」及び「家族を持ちたかった」はいずれの年齢においても2位または3位と上位に位置している。

結婚年数別で見ると、「一緒に生活をしたかった」はいずれにおいても最も高いが、「仕事の負担を軽減したかった」は10年以上で6位となっており、他の年数と比べて上位の順位となった。



	全 体	一 緒 に 生 活 を し た か っ た	子 ど も が 欲 し か っ た	家 族 を 持 ち た か っ た	精 神 的 な 安 ら ぎ の 場 を 持 ち た か っ た	一 人 で い る の は 寂 し か っ た	社 会 的 に 認 め ら れ た か っ た	経 済 的 な 安 定 を 得 た か っ た	両 親 や 親 類 を 安 心 さ せ た か っ た	周 圍 か ら 結 婚 し た ほ う が 良 い と 言 わ れ た	老 後 が 心 配 だ っ た	家 を 守 る 必 要 が あ っ た	家 か ら 出 た か っ た	自 分 の 仕 事 へ の 継 続 に 理 解 が あ っ た	仕 事 の 負 担 を 軽 減 し た か っ た	家 事 ・ 育 児 を 分 担 し た か っ た 、 負 担 を 軽 減 し た か っ た	そ の 他	無 回 答	
全 体	209	71.8	49.8	47.4	37.8	14.8	5.3	6.7	23.4	4.3	3.3	0.5	4.3	9.1	2.4	2.4	6.2	1.9	
性 別	男性	79	72.2	45.6	45.6	34.2	15.2	3.8	2.5	17.7	6.3	3.8	0.0	1.3	5.1	0.0	0.0	1.3	2.5
	女性	130	71.5	52.3	48.5	40.0	14.6	6.2	9.2	26.9	3.1	3.1	0.8	6.2	11.5	3.8	3.8	9.2	1.5
年 齢 別	18～24歳	10	80.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
	25～29歳	50	72.0	48.0	44.0	40.0	20.0	4.0	8.0	26.0	4.0	2.0	2.0	4.0	8.0	0.0	2.0	6.0	2.0
	30～34歳	71	70.4	39.4	39.4	26.8	14.1	8.5	7.0	19.7	4.2	4.2	0.0	2.8	4.2	0.0	1.4	7.0	1.4
	35～39歳	78	71.8	64.1	57.7	48.7	14.1	3.8	6.4	28.2	5.1	3.8	0.0	6.4	12.8	6.4	3.8	3.8	2.6
結 婚 年 数 別	3年未満	49	71.4	49.0	38.8	40.8	20.4	6.1	4.1	32.7	4.1	8.2	0.0	4.1	8.2	2.0	2.0	8.2	2.0
	3年以上6年未満	57	78.9	50.9	49.1	31.6	15.8	5.3	3.5	19.3	0.0	1.8	0.0	1.8	7.0	0.0	1.8	3.5	0.0
	6年以上10年未満	55	67.3	43.6	52.7	34.5	9.1	7.3	12.7	21.8	3.6	1.8	0.0	9.1	9.1	0.0	1.8	9.1	1.8
	10年以上	36	69.4	58.3	50.0	41.7	8.3	2.8	2.8	16.7	8.3	2.8	0.0	2.8	8.3	8.3	2.8	2.8	5.6

問7-1 配偶者と知り合ったきっかけ（「結婚経験あり」の人）

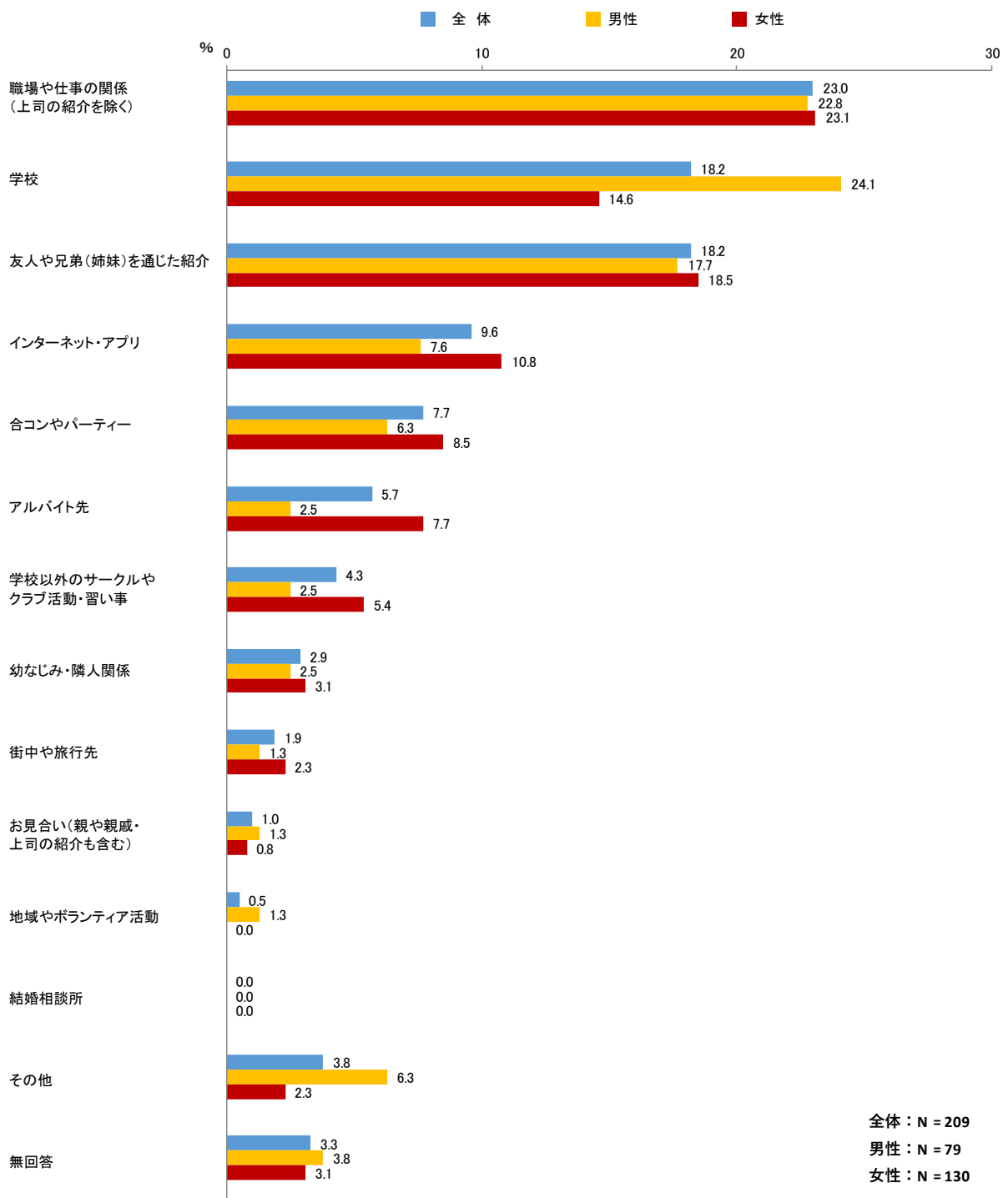
全体では、「職場や仕事の関係（上司の紹介を除く）」が23.0%と最も高く、次いで「学校」及び「友人や兄弟（姉妹）を通じた紹介」が18.2%となっている。

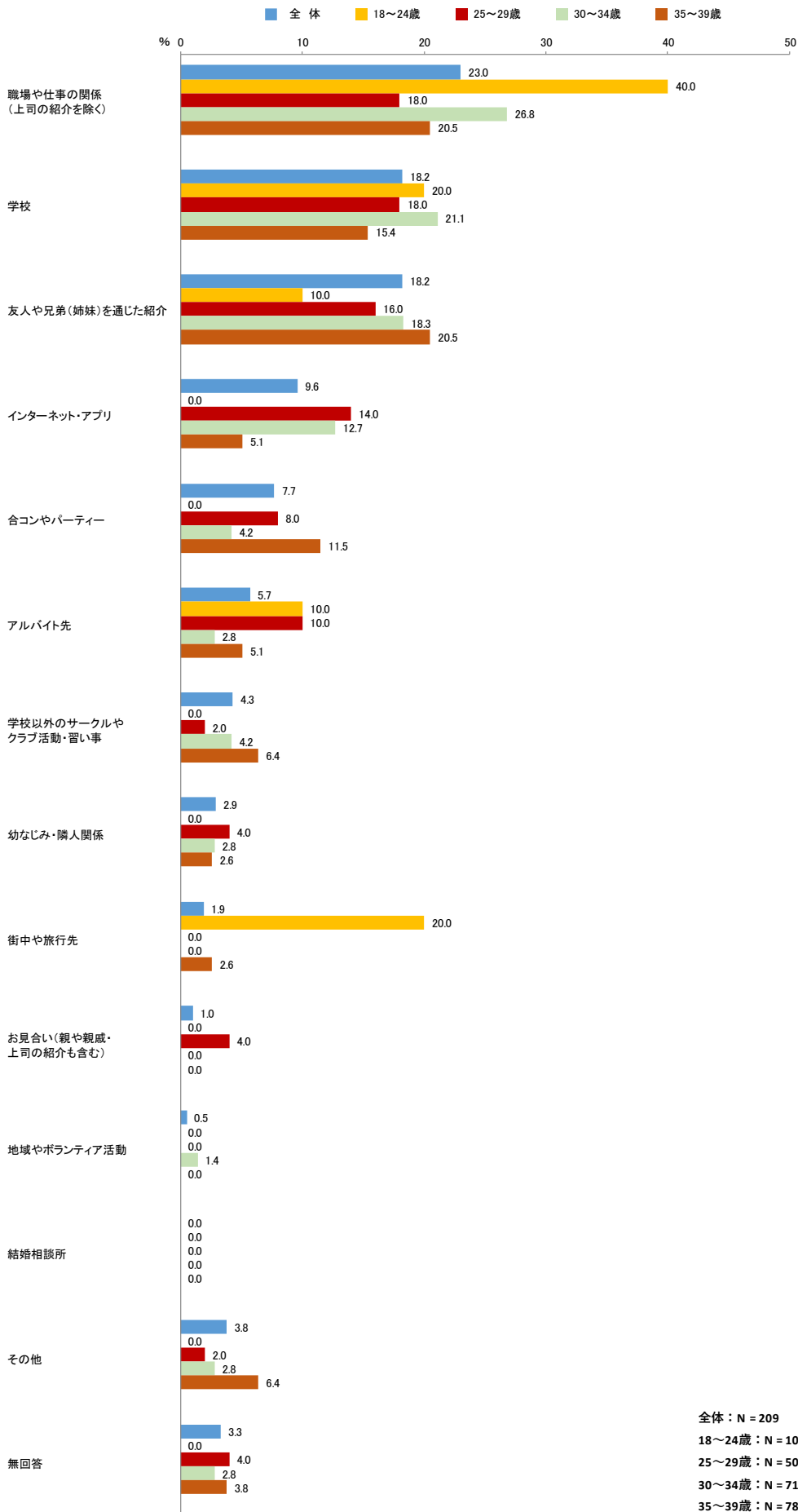
性別でみると、男性では「学校」が24.1%で最も高い一方で、女性では「職場や仕事の関係（上司の紹介を除く）」が23.1%で最も高くなっている。

年齢別でみると、「インターネット・アプリ」は25～29歳において14.0%と、他の年齢と比べて高くなっている。

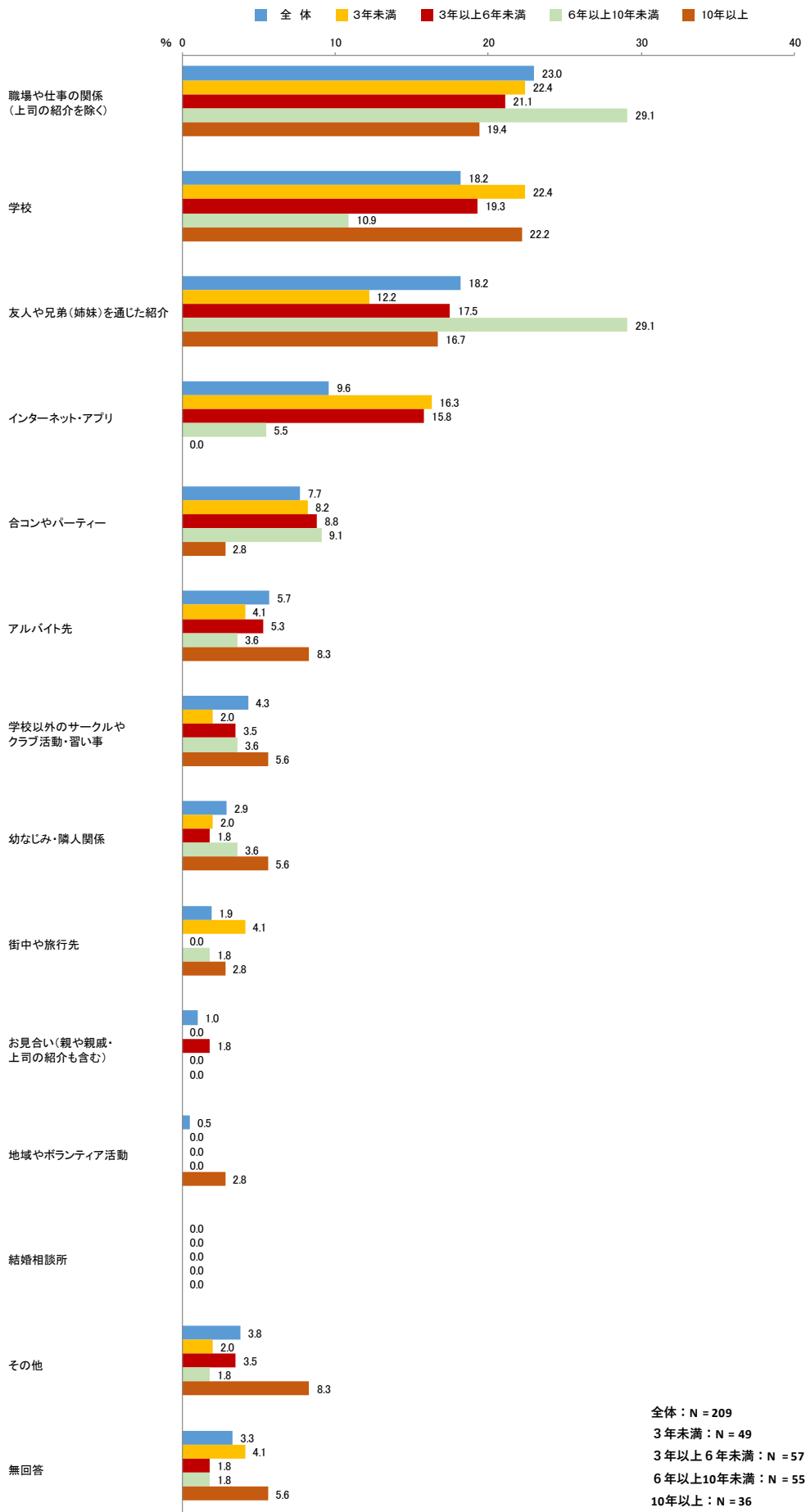
結婚年数別でみると、3年未満から6年以上10年未満にかけて「職場や仕事の関係（上司の紹介を除く）」が最も高いが、10年以上では「学校」が22.2%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、最も増加したのは「インターネット・アプリ」で、5.0ポイントの増加であった。一方で、「友人や兄弟（姉妹）を通じた紹介」は6.2ポイント、「合コンやパーティー」は5.5ポイント減少した。

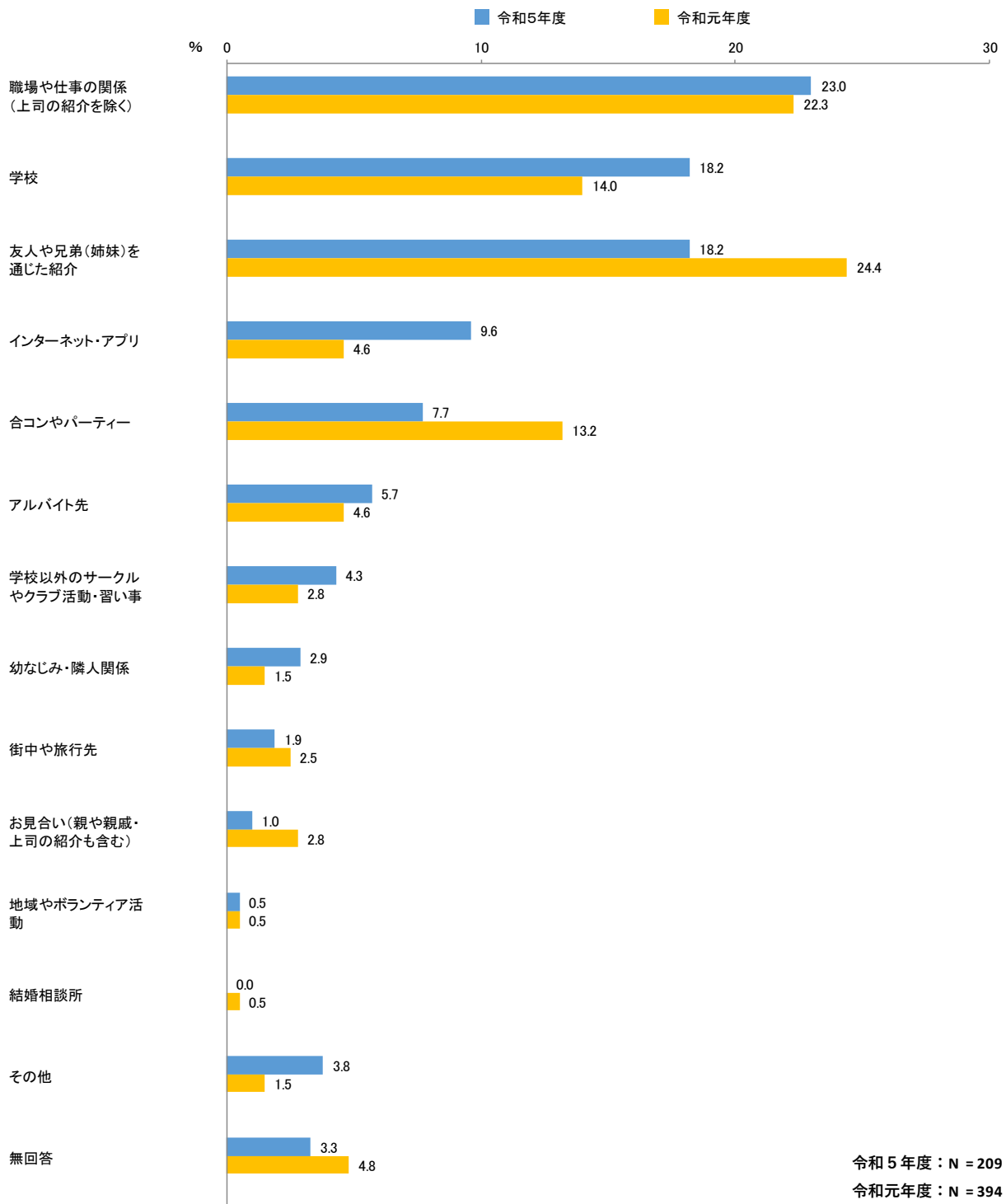




全体：N = 209
 18~24歳：N = 10
 25~29歳：N = 50
 30~34歳：N = 71
 35~39歳：N = 78



全体：N = 209
 3年未満：N = 49
 3年以上6年未満：N = 57
 6年以上10年未満：N = 55
 10年以上：N = 36



問7-2 配偶者と交際を始める前、交際相手に出会うことを期待して行ったこと（「結婚経験あり」の人：複数回答）

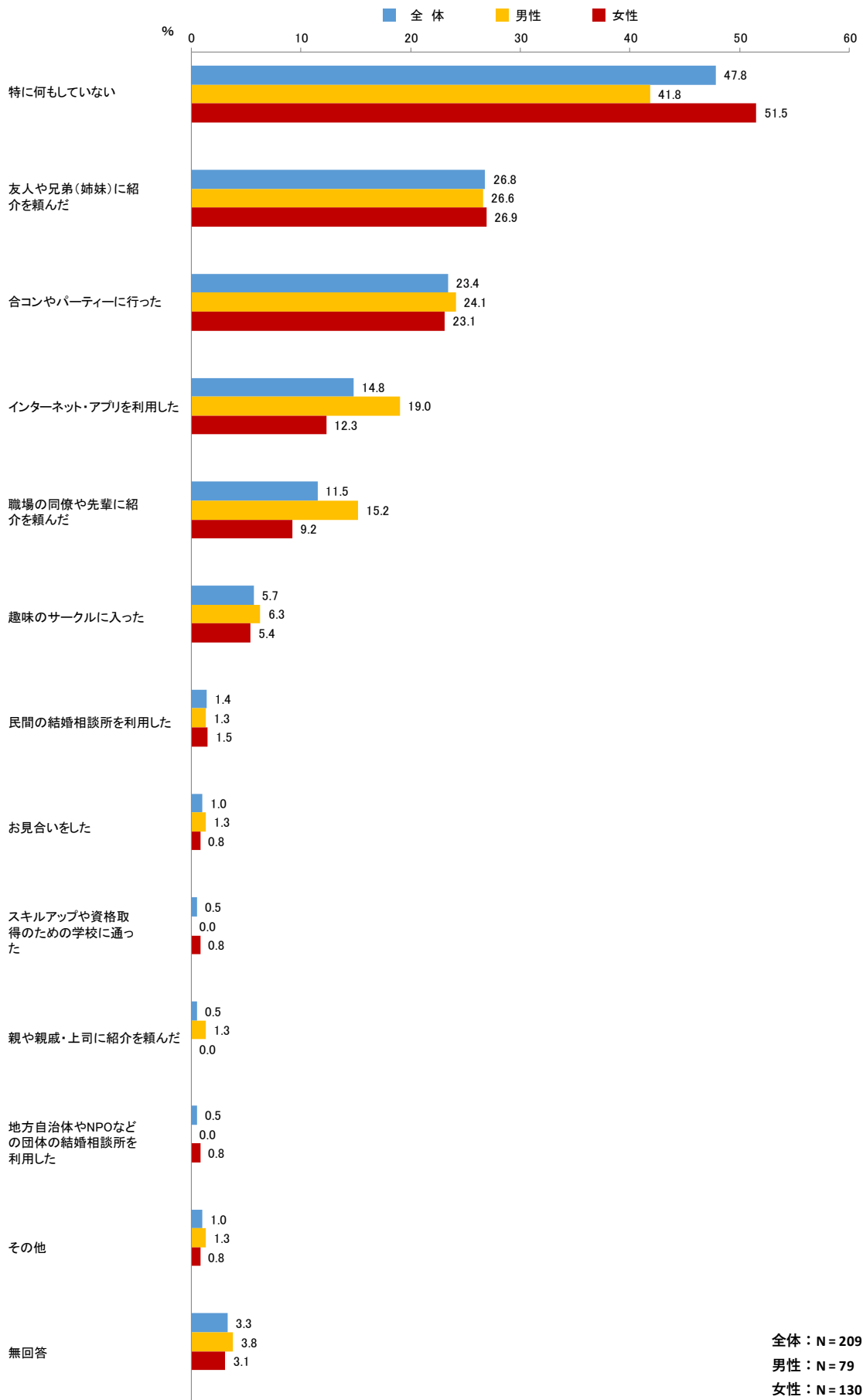
全体では、「特に何もしていない」が 47.8%と最も高く、次いで「友人や兄弟（姉妹）に紹介を頼んだ」が 26.8%、「合コンやパーティーに行った」が 23.4%となっている。

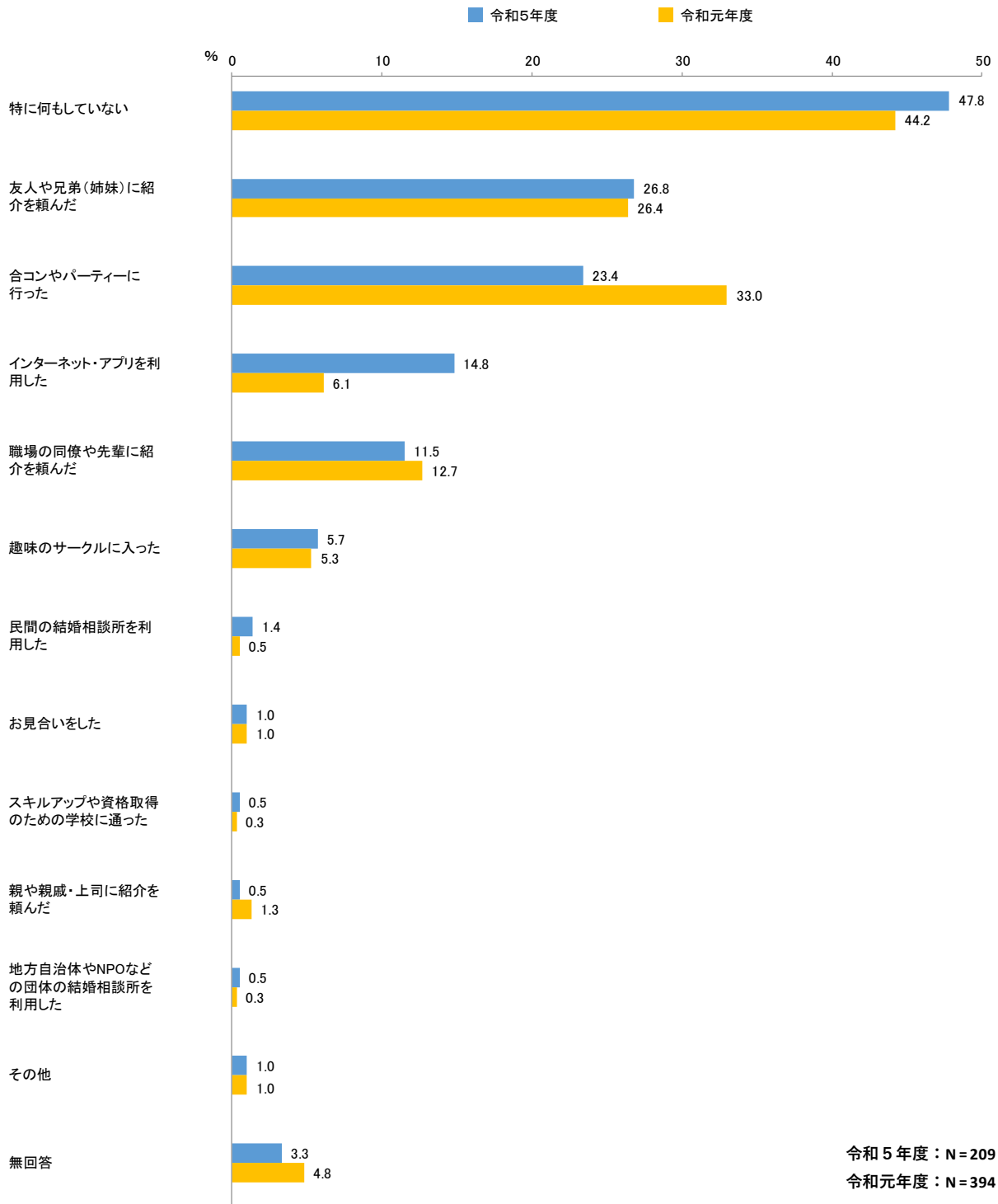
性別でみると、男女間の差が大きいのは「インターネット・アプリを利用した」で、男性（19.0%）が女性（12.3%）より 6.7 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「合コンやパーティーに行った」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向があり、35～39 歳においては 33.3%と、「特に何もしていない」を除いた中で最も高くなっている。

結婚年数別でみると、「インターネット・アプリを利用した」は 3 年未満において 28.6%と、「特に何もしていない」を除いた中で最も高く、結婚年数が上がるにつれて低くなる傾向がある。

前回調査と比較すると、最も増加したのは「インターネット・アプリを利用した」で、8.7 ポイントの増加であった。一方で、「合コンやパーティーに行った」は 9.6 ポイント減少した。





		全 体 (人)	友 人 や 兄 弟 (姉 妹) に 紹 介 を 頼 ん だ	職 場 の 同 僚 や 先 輩 に 紹 介 を 頼 ん だ	合 コ ン や パ ー テ ィ ー に 行 っ た	イ ン タ ー ネ ッ ト ・ ア プ リ を 利 用 し た	趣 味 の サ ー ク ル に 入 っ た	学 校 に 通 っ た	ス キ ル ア ッ プ や 資 格 取 得 の た め の 学 校	親 や 親 戚 ・ 上 司 に 紹 介 を 頼 ん だ	お 見 合 い を し た	民 間 の 結 婚 相 談 所 を 利 用 し た	地 方 自 治 体 や N P O な ど の 団 体 の 結 婚 相 談 所 を 利 用 し た	そ の 他	特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全 体		209	26.8	11.5	23.4	14.8	5.7	0.5	0.5	1.0	1.4	0.5	1.0	47.8	3.3	
性 別	男性	79	26.6	15.2	24.1	19.0	6.3	0.0	1.3	1.3	1.3	0.0	1.3	41.8	3.8	
	女性	130	26.9	9.2	23.1	12.3	5.4	0.8	0.0	0.8	1.5	0.8	0.8	51.5	3.1	
年 齢 別	18～24歳	10	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	
	25～29歳	50	28.0	4.0	14.0	16.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	60.0	2.0	
	30～34歳	71	22.5	14.1	22.5	16.9	5.6	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	47.9	4.2	
	35～39歳	78	32.1	14.1	33.3	11.5	9.0	1.3	0.0	0.0	3.8	1.3	1.3	38.5	3.8	
結 婚 年 数 別	3年未満	49	28.6	12.2	24.5	28.6	4.1	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	49.0	2.0	
	3年以上6年未満	57	26.3	14.0	35.1	15.8	8.8	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0	1.8	38.6	3.5	
	6年以上10年未満	55	27.3	10.9	18.2	7.3	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	50.9	3.6	
	10年以上	36	27.8	5.6	11.1	5.6	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	5.6	
参 考	令和5年度	209	26.8	11.5	23.4	14.8	5.7	0.5	0.5	1.0	1.4	0.5	1.0	47.8	3.3	
	令和元年度	394	26.4	12.7	33.0	6.1	5.3	0.3	1.3	1.0	0.5	0.3	1.0	44.2	4.8	

(5) 現在結婚していない理由

問8-1 現在結婚していない理由（「未婚」の人：上位3つまで）

全体では、第1位は「まだ若いから」が27.7%、第2位では「仕事（学業）に打ち込みたい」が14.8%、第3位では「適当な相手にめぐり会わない」及び「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」が12.6%とそれぞれ最も高くなっている。

性別で見ると、第1位では「まだ若いから」が、第2位では「仕事（学業）に打ち込みたい」が男女ともに最も高くなっている。第3位では男性は「適当な相手にめぐり会わない」が15.6%、女性は「自由や気楽さを失いたくない」が14.7%で、最も高い項目に違いが見られた。

年齢別で見ると、第1位では18～24歳において「まだ若いから」が42.7%で最も高いが、25～29歳になると7.0%と大幅に減少し、30～34歳及び35～39歳では0.0%であった。18～24歳以外の年齢では「適当な相手にめぐり会わない」が最も高くなっている（35～39歳では「必要性を感じない」も同率1位）。

前回調査と比較すると、「仕事（学業）に打ち込みたい」は11.5ポイント、「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」は10.8ポイント、「まだ若いから」は10.7ポイント増加した。一方で、「適当な相手にめぐり会わない」は5.4ポイント減少した。

		全 体 (人)	まだ若いから	必要性を感じない	仕事（学業）に打ち込みたい	趣味や娯楽を楽しみたい	自由や気楽さを失いたくない	仕事が多すぎるから	適当な相手にめぐり会わない	異性とうまくつきあえない	結婚資金が足りない・家庭を持つ	住宅のめどが立たない	親や周囲が同意しない	雇用が安定しない	結婚するつもりがない	その他	無回答	
第1位	全体	358	27.7	6.4	7.8	6.1	3.6	1.7	20.9	3.9	8.1	0.0	0.3	1.7	4.5	5.3	2.0	
	性別																	
	男性	147	28.6	2.7	2.7	6.1	2.7	1.4	22.4	6.1	12.2	0.0	0.7	2.7	3.4	5.4	2.7	
	女性	211	27.0	9.0	11.4	6.2	4.3	1.9	19.9	2.4	5.2	0.0	0.0	0.9	5.2	5.2	1.4	
	年齢別																	
	18～24歳	220	42.7	4.5	10.9	4.5	1.4	0.5	15.0	3.2	4.5	0.0	0.5	2.3	3.6	4.1	2.3	
25～29歳	71	7.0	7.0	5.6	12.7	7.0	4.2	22.5	4.2	15.5	0.0	0.0	1.4	4.2	5.6	2.8		
30～34歳	46	0.0	8.7	0.0	4.3	8.7	4.3	47.8	2.2	10.9	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	0.0		
35～39歳	21	0.0	19.0	0.0	4.8	4.8	0.0	19.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	9.5	0.0		
第2位	全体	358	9.5	7.0	14.8	8.4	11.5	5.0	11.5	7.3	9.2	1.4	0.6	2.0	2.5	0.8	8.7	
	性別																	
	男性	147	7.5	4.8	15.0	6.8	9.5	6.1	11.6	12.2	8.8	2.0	0.0	3.4	2.0	1.4	8.8	
	女性	211	10.9	8.5	14.7	9.5	12.8	4.3	11.4	3.8	9.5	0.9	0.9	0.9	2.8	0.5	8.5	
	年齢別																	
	18～24歳	220	15.0	7.3	21.4	7.3	8.6	4.5	11.4	3.6	9.1	1.4	0.9	0.9	1.4	1.4	5.9	
25～29歳	71	1.4	8.5	5.6	14.1	15.5	4.2	14.1	9.9	11.3	1.4	0.0	1.4	2.8	0.0	9.9		
30～34歳	46	0.0	4.3	2.2	8.7	13.0	4.3	6.5	15.2	8.7	2.2	0.0	8.7	2.2	0.0	23.9		
35～39歳	21	0.0	4.8	4.8	0.0	23.8	14.3	14.3	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0		
第3位	全体	358	6.1	8.4	6.7	10.9	12.3	2.2	12.6	6.7	12.6	0.8	0.8	1.4	3.6	1.7	13.1	
	性別																	
	男性	147	8.8	5.4	5.4	9.5	8.8	4.1	15.6	6.1	12.9	1.4	1.4	2.7	2.7	0.7	14.3	
	女性	211	4.3	10.4	7.6	11.8	14.7	0.9	10.4	7.1	12.3	0.5	0.5	0.5	4.3	2.4	12.3	
	年齢別																	
	18～24歳	220	9.1	7.3	7.3	8.6	11.4	1.8	14.1	7.3	15.0	1.4	0.9	0.9	3.2	1.4	10.5	
25～29歳	71	1.4	9.9	7.0	14.1	16.9	2.8	9.9	5.6	9.9	0.0	0.0	1.4	4.2	2.8	14.1		
30～34歳	46	2.2	8.7	0.0	13.0	10.9	4.3	8.7	4.3	6.5	0.0	2.2	4.3	4.3	0.0	30.4		
35～39歳	21	0.0	14.3	14.3	19.0	9.5	0.0	14.3	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0		
参考	単 回 純 答 複 数	全体	358	43.3	21.8	29.3	25.4	27.4	8.9	45.0	17.9	29.9	2.2	1.7	5.0	10.6	7.8	2.0
	男性	147	44.9	12.9	23.1	22.4	21.1	11.6	49.7	24.5	34.0	3.4	2.0	8.8	8.2	7.5	2.7	
	女性	211	42.2	28.0	33.6	27.5	31.8	7.1	41.7	13.3	27.0	1.4	1.4	2.4	12.3	8.1	1.4	
	令和5年度(20歳以上)	263	30.4	22.1	23.2	28.9	30.8	10.3	46.8	20.2	32.3	2.3	1.1	5.7	12.2	8.4	1.9	
令和元年度	274	19.7	17.5	11.7	23.0	24.1	10.9	52.2	18.6	21.5	1.5	1.8	6.2	7.3	6.9	2.2		

※参考は、単純な複数回答(3つまで選択)として集計し直したものである。

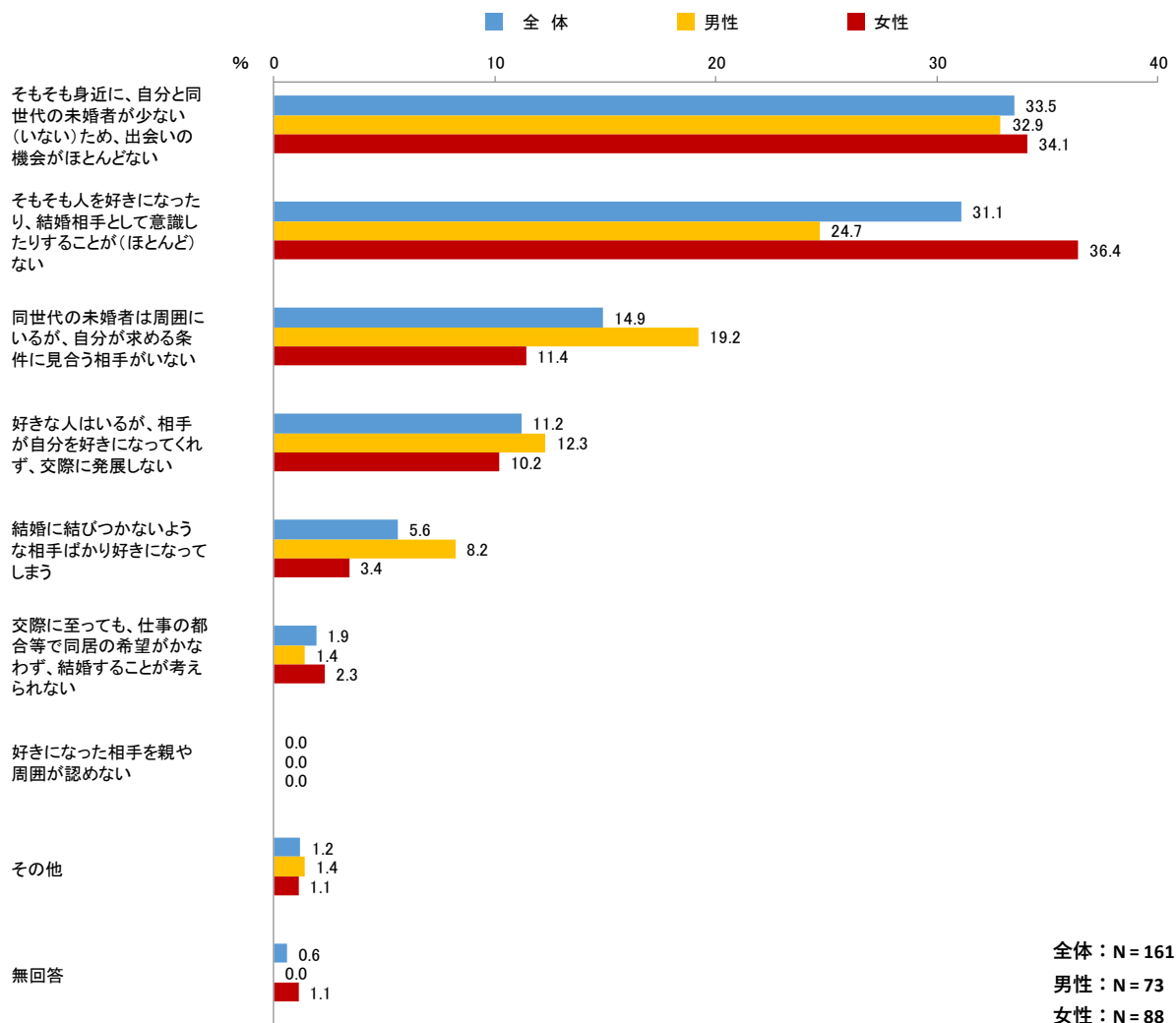
(前回調査との比較において使用している令和5年度の数値は、20歳以上を抽出したもの。)

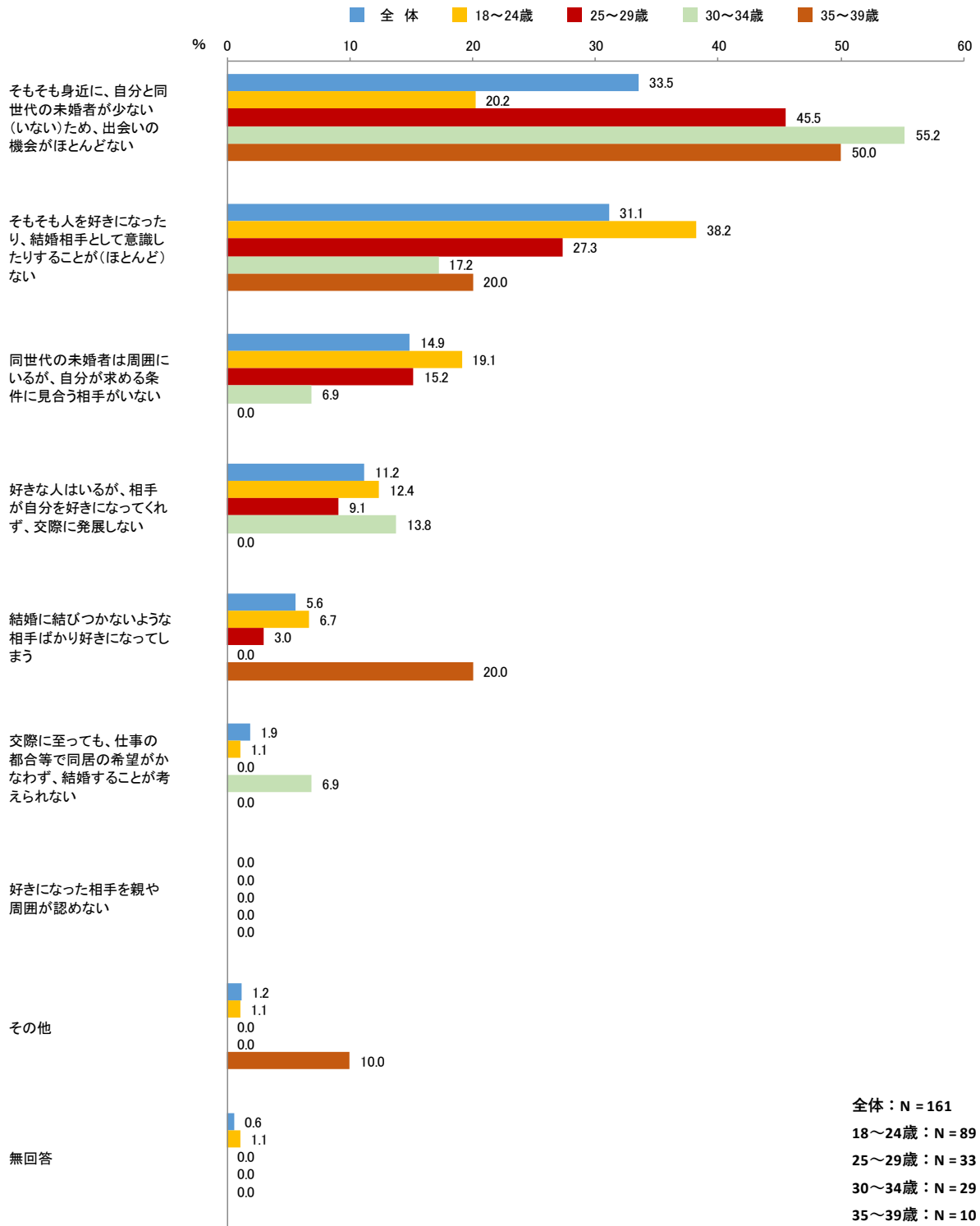
問 8 - 2 適切な相手にめぐり合わない理由（「問 8 - 1 で「適切な相手にめぐり合わない」を選んだ人）

全体では、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が 33.5%と最も高く、次いで「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識したりすることが（ほとんど）ない」が 31.1%、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が 14.9%となっている。

性別でみると、男性では「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が 32.9%で最も高い一方で、女性では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識したりすることが（ほとんど）ない」が 36.4%で最も高くなっている。

年齢別でみると、25～29 歳から 35～39 歳にかけて「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」が最も高くなっている。18～24 歳においては「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識したりすることが（ほとんど）ない」が 38.2%と、同年齢の中で最も高く、なおかつ他の年齢と比べても最も高くなっている。





問 8 - 3 結婚や結婚後の生活に係る費用で、負担が大きいと感ずるもの（問 8 - 1 で「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」を選んだ人：上位 3 つまで）

全体では、第 1 位は「子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用」が 42.1%、第 2 位は「結婚生活のための住居取得費、新生活の準備のための資金」が 36.4%、第 3 位は「結婚後の日常生活に係る費用」が 29.9%で最も高くなっている。

性別でみると、第 1 位では「子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用」に次いで男性では「結婚後の日常生活に係る費用」が 22.0%で高く、女性では「結婚生活のための住居取得費、新生活の準備のための資金」が 17.5%で高くなっている。

年齢別でみると、第 1 位では 35～39 歳においては「結婚生活のための住居取得費、新生活の準備のための資金」及び「子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用」がそれぞれ最も高く、「結婚生活のための住居取得費、新生活の準備のための資金」については他の年齢と比べても割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、第 1 位では「挙式のための資金」が 15.3 ポイント減少し、「結婚生活のための住居取得費、新生活の準備のための資金」が 11.9 ポイント増加した。

		全 体 (人)	挙 式 の た め の 資 金	新 婚 生 活 の 準 備 の た め の 住 居 取 得 費 、	結 婚 後 の 日 常 生 活 に 係 る 費 用	や 子 ど も が 生 ま れ た 場 合 の 子 育 て に 係 る 費 用	奨 学 金 の 返 済 に 係 る 費 用	そ の 他	無 回 答	
第1位	全 体	107	8.4	18.7	16.8	42.1	10.3	2.8	0.9	
	性 別	男性	50	6.0	20.0	22.0	42.0	6.0	4.0	0.0
		女性	57	10.5	17.5	12.3	42.1	14.0	1.8	1.8
	年 齢 別	18～24歳	63	6.3	20.6	15.9	42.9	11.1	1.6	1.6
		25～29歳	26	15.4	11.5	19.2	38.5	7.7	7.7	0.0
		30～34歳	12	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0
		35～39歳	6	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
参 考	令和元年度	59	23.7	6.8	16.9	42.4	※1	0.0	10.2	
第2位	全 体	107	6.5	36.4	23.4	27.1	4.7	0.0	1.9	
	性 別	男性	50	6.0	30.0	32.0	26.0	4.0	0.0	2.0
		女性	57	7.0	42.1	15.8	28.1	5.3	0.0	1.8
	年 齢 別	18～24歳	63	3.2	46.0	19.0	27.0	1.6	0.0	3.2
		25～29歳	26	11.5	26.9	15.4	30.8	15.4	0.0	0.0
		30～34歳	12	16.7	8.3	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
		35～39歳	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
参 考	令和元年度	59	16.9	20.3	28.8	23.7	※1	0.0	10.2	
第3位	全 体	107	10.3	25.2	29.9	18.7	8.4	0.9	6.5	
	性 別	男性	50	14.0	30.0	22.0	20.0	4.0	2.0	8.0
		女性	57	7.0	21.1	36.8	17.5	12.3	0.0	5.3
	年 齢 別	18～24歳	63	12.7	19.0	31.7	19.0	11.1	0.0	6.3
		25～29歳	26	7.7	34.6	34.6	11.5	7.7	0.0	3.8
		30～34歳	12	8.3	33.3	8.3	25.0	0.0	8.3	16.7
		35～39歳	6	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
参 考	令和元年度	59	22.0	20.3	25.4	13.6	※1	3.4	15.3	
参考※2	全 体	107	25.2	80.4	70.1	87.9	23.4	3.7	0.9	

※1 前回調査項目なし

※2 参考の数値は、質問において 1～3 位として回答いただいたものを、単純な複数回答として集計し直したものである。

問8-4 結婚する意向が高まると思う支援・環境（「未婚」の人：上位3つまで）

全体では、第1位及び第2位は「自分又はパートナーの雇用機会や収入が安定すること」がそれぞれ27.1%、18.7%、第3位は「住宅費の軽減などにより結婚後の住宅が確保できること」が16.5%で最も高くなっている。性別でみると、第1位では「自分又はパートナーの雇用機会や収入が安定すること」に次いで、男性では「異性との出会いの場の提供など結婚支援があること」が21.8%、女性では「結婚後の生活が具体的にイメージできること」が20.4%となっている。年齢別でみると、第1位では「異性との出会いの場の提供など結婚支援があること」は年齢が上がるにつれて低くなる傾向があり、35～39歳では「結婚を希望する人を応援する社会的機運が醸成されること」が28.6%で最も高くなっている。

		全 体 （ 人 ）	社 会 的 機 運 が 醸 成 さ れ る こ と	結 婚 後 の 生 活 が 具 体 的 に イ メ ジ で き る こ と	結 婚 支 援 が あ る こ と	異 性 と の 出 会 い の 場 の 提 供 な ど	自 分 又 は パ ー ト ナ ー の 雇 用 機 会 や 収 入 が 安 定 す る こ と	就 業 で き る こ と	結 婚 後 も 希 望 す れ ば 継 続 し て あ る こ と	祖 父 母 や 親 か ら 経 済 的 支 援 が あ る こ と	住 宅 費 の 軽 減 な ど に よ り 結 婚 後 の 住 宅 が 確 保 で き る こ と	転 勤 等 自 ら の キ ャ リ ア プ ラ ン に つ い て 希 望 が か な う こ と	そ の 他	無 回 答	
第1位	全 体	358	13.1	18.2	16.5	27.1	4.5	1.4	7.3	3.4	5.3	3.4			
	性 別	男性	147	19.0	15.0	21.8	25.2	2.7	1.4	6.8	1.4	4.8	2.0		
		女性	211	9.0	20.4	12.8	28.4	5.7	1.4	7.6	4.7	5.7	4.3		
	年 齢 別	18～24歳	220	13.6	17.3	17.7	29.5	5.0	0.9	6.4	2.3	3.2	4.1		
		25～29歳	71	2.8	16.9	16.9	29.6	4.2	2.8	11.3	7.0	5.6	2.8		
		30～34歳	46	19.6	21.7	13.0	17.4	2.2	2.2	6.5	2.2	13.0	2.2		
35～39歳		21	28.6	23.8	9.5	14.3	4.8	0.0	4.8	4.8	9.5	0.0			
第2位	全 体	358	11.7	17.6	8.7	18.7	8.4	1.1	14.0	8.1	0.0	11.7			
	性 別	男性	147	8.2	24.5	12.9	18.4	2.0	1.4	15.6	8.8	0.0	8.2		
		女性	211	14.2	12.8	5.7	19.0	12.8	0.9	12.8	7.6	0.0	14.2		
	年 齢 別	18～24歳	220	12.3	18.2	6.8	18.6	10.0	1.8	13.6	7.3	0.0	11.4		
		25～29歳	71	14.1	18.3	11.3	15.5	7.0	0.0	15.5	7.0	0.0	11.3		
		30～34歳	46	6.5	15.2	8.7	30.4	4.3	0.0	10.9	13.0	0.0	10.9		
35～39歳		21	9.5	14.3	19.0	4.8	4.8	0.0	19.0	9.5	0.0	19.0			
第3位	全 体	358	15.9	14.8	6.4	12.0	8.9	1.1	16.5	7.8	1.4	15.1			
	性 別	男性	147	16.3	19.0	6.8	15.0	6.1	2.0	17.0	4.8	0.7	12.2		
		女性	211	15.6	11.8	6.2	10.0	10.9	0.5	16.1	10.0	1.9	17.1		
	年 齢 別	18～24歳	220	17.7	14.1	4.5	10.0	7.7	1.4	18.6	9.1	1.8	15.0		
		25～29歳	71	15.5	19.7	4.2	14.1	7.0	1.4	11.3	8.5	1.4	16.9		
		30～34歳	46	10.9	17.4	13.0	13.0	19.6	0.0	15.2	2.2	0.0	8.7		
35～39歳		21	9.5	0.0	19.0	23.8	4.8	0.0	14.3	4.8	0.0	23.8			
参考※	全 体	358	40.8	50.6	31.6	57.8	21.8	3.6	37.7	19.3	6.7	3.4			

※参考の数値は、質問において1～3位として回答いただいたものを、単純な複数回答として集計し直したものである。

(6) 異性交際への不安

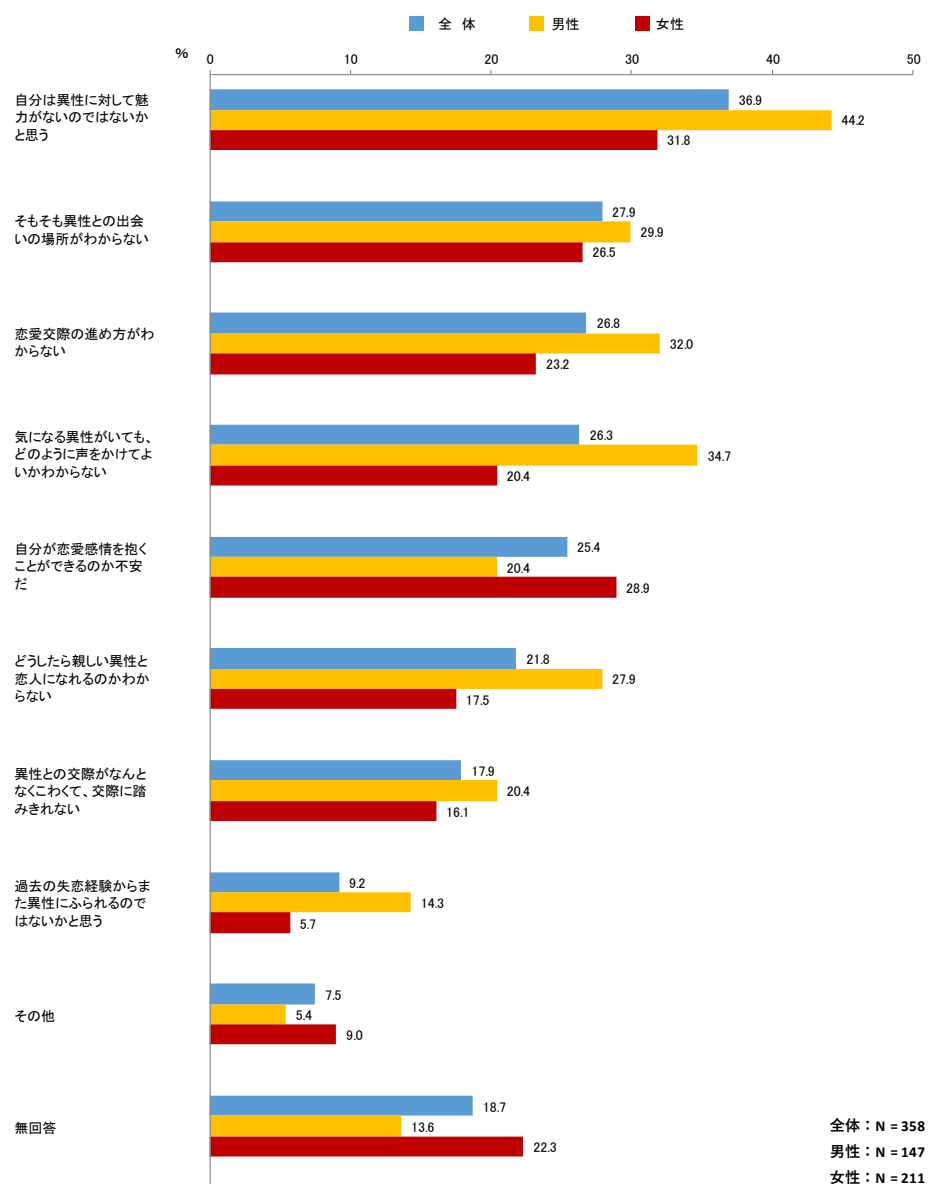
問8-5 異性と交際するうえでの不安（「未婚」の人：複数回答）

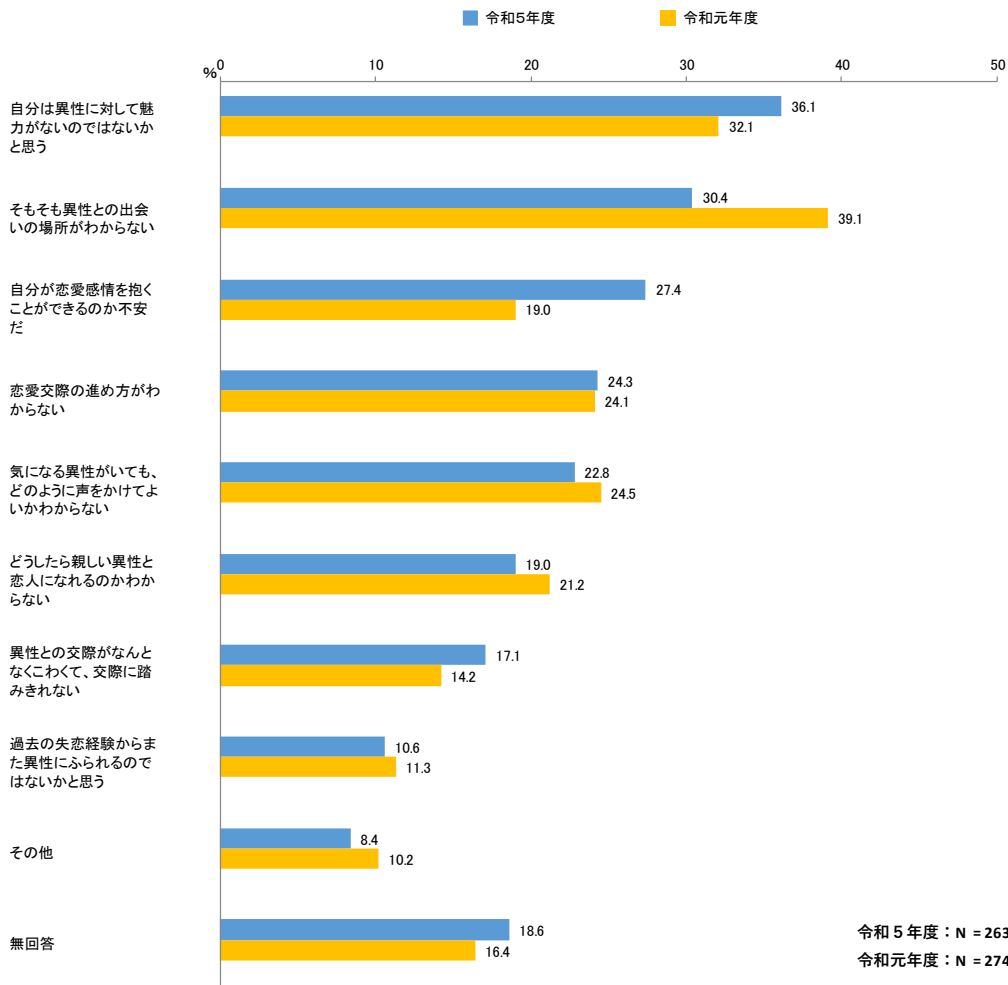
全体では、「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」が36.9%と最も高く、次いで「そもそも異性との出会いの場所がわからない」が27.9%、「恋愛交際の進め方がわからない」が26.8%となっている。

性別で見ると、男女ともに「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」が最も高いが、次いで男性では「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない」が34.7%で高く、女性では「自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ」が28.9%で高くなっている。

年齢別で見ると、「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」に次いで、18～24歳では「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない」（30.0%）、18～24歳以外では「そもそも異性との出会いの場所がわからない」が次点となっている。

前回調査と比較すると、最も高かった「そもそも異性との出会いの場所がわからない」は2位（30.4%）に、次点の「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」は1位（36.1%）に、それぞれ順位が逆転した。





	全体(人)	気になる異性をかけてよいかわからない	気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない	どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない	恋愛交際の進め方がわからない	異性との交際がなんとなくこわくて、交際に踏みきれない	過去の失恋経験からまた異性にふられるのではないかと思う	自分には異性に対して魅力がないのではないかと思う	自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ	自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ	そもそも異性との出会いの場所がわからない	その他	無回答
全体	358	26.3	21.8	26.8	17.9	9.2	36.9	25.4	27.9	7.5	18.7		
性別	男性	147	34.7	27.9	32.0	20.4	14.3	44.2	20.4	29.9	5.4	13.6	
	女性	211	20.4	17.5	23.2	16.1	5.7	31.8	28.9	26.5	9.0	22.3	
年齢別	18～24歳	220	30.0	24.5	27.7	18.2	8.6	35.5	23.2	25.9	5.0	21.4	
	25～29歳	71	23.9	16.9	23.9	21.1	15.5	39.4	26.8	29.6	8.5	18.3	
	30～34歳	46	13.0	19.6	23.9	10.9	4.3	37.0	30.4	32.6	13.0	10.9	
	35～39歳	21	23.8	14.3	33.3	19.0	4.8	42.9	33.3	33.3	19.0	9.5	
参考	令和5年度	263	22.8	19.0	24.3	17.1	10.6	36.1	27.4	30.4	8.4	18.6	
	令和元年度	274	24.5	21.2	24.1	14.2	11.3	32.1	19.0	39.1	10.2	16.4	

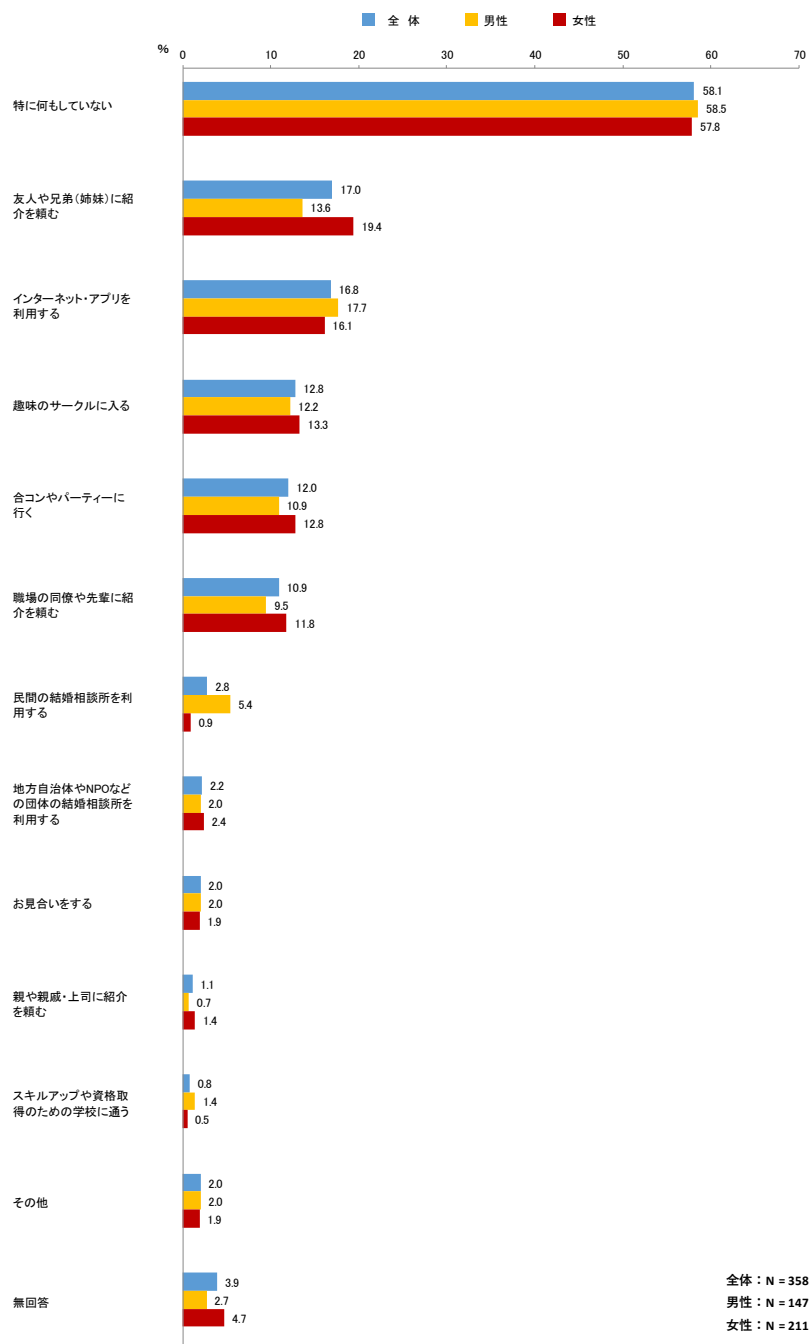
(7) 婚活の状況

問9-1 婚活として行っていること（「未婚」の人：複数回答）

全体では、「特に何もしていない」が58.1%と最も高く、次いで「友人や兄弟（姉妹）に紹介を頼む」が17.0%、「インターネット・アプリを利用する」が16.8%となっている。

性別で見ると、男女ともに「特に何もしていない」が最も高いが、次いで男性では「インターネット・アプリを利用する」が17.7%で高く、女性では「友人や兄弟（姉妹）に紹介を頼む」が19.4%で高くなっている。

年齢別で見ると、「特に何もしていない」に次いで18～24歳では「友人や兄弟（姉妹）に紹介を頼む」（19.5%）、18～24歳以外では「インターネット・アプリを利用する」が次点となっている。



		全 体 (人)	友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼む	職場の同僚や先輩に紹介を頼む	合コンやパーティーに行く	インターネット・アプリを利用する	趣味のサークルに入る	校に通う	スキルアップや資格取得のための学	親や親戚・上司に紹介を頼む	お見合いをする	民間の結婚相談所を利用する	地方自治体やNPOなどの団体の結婚相談所を利用する	その他	特に何もしていない	無回答
全 体		358	17.0	10.9	12.0	16.8	12.8	0.8	1.1	2.0	2.8	2.2	2.0	58.1	3.9	
性 別	男性	147	13.6	9.5	10.9	17.7	12.2	1.4	0.7	2.0	5.4	2.0	2.0	58.5	2.7	
	女性	211	19.4	11.8	12.8	16.1	13.3	0.5	1.4	1.9	0.9	2.4	1.9	57.8	4.7	
年 齢 別	18～24歳	220	19.5	12.7	8.6	10.5	14.1	0.5	0.9	1.4	0.5	0.5	1.8	61.4	4.5	
	25～29歳	71	14.1	12.7	15.5	28.2	5.6	0.0	0.0	0.0	2.8	1.4	1.4	52.1	5.6	
	30～34歳	46	13.0	4.3	19.6	28.3	15.2	2.2	4.3	8.7	13.0	8.7	4.3	52.2	0.0	
	35～39歳	21	9.5	0.0	19.0	19.0	19.0	4.8	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	57.1	0.0	

問9-2 特に何もしていない理由（問9-1で「特に何もしていない」を選んだ人：上位3つまで）

全体では、第1位は「既に交際相手がいるから」が19.7%、第2位は「必要性を感じないから」が21.2%、第3位は「すぐに結婚したいとは考えていないから／まだ早いと感じるから」が11.5%で最も高くなっている。

性別でみると、第1位では男性は「すぐに結婚したいとは考えていないから／まだ早いと感じるから」が20.9%で最も高い一方で、女性は「既に交際相手がいるから」が22.1%で最も高くなっている。

年齢別でみると、第1位では18～24歳から30～34歳にかけて、年齢が上がるにつれて「すぐに結婚したいとは考えていないから／まだ早いと感じるから」が低くなり、35～39歳では「必要性を感じないから」が33.3%と最も高くなっている。

		全 体 (人)	既に交 際相手 がいる から	どう やら やっ て婚 活を した らよ いか わか ら	自 然に 出 会 いた い か ら	婚 活に か か る 費 用 が 高 額 だ か ら	気 軽に 参 加 で き る 機 会 が な い か ら	仕 事 や プ ラ イ ベ ー ト を 優 先 し た い か ら	婚 活 を す る の は 恥 ず か し い か ら	あ る か ら	婚 活 サ ー ビ ス の 利 用 に 不 安 感 や 抵 抗 が あ る か ら	す ぐ に 結 婚 し た い と は 考 え て い な い か ら ／ ま だ 早 い と 感 じ る か ら	必 要 性 を 感 じ な い か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
第1位	全 体	208	19.7	3.4	16.3	1.4	1.9	10.1	0.5	0.5	17.8	18.3	0.0	0.0	10.1	
	性 別	男性	86	16.3	7.0	12.8	1.2	2.3	11.6	1.2	0.0	20.9	14.0	0.0	0.0	12.8
		女性	122	22.1	0.8	18.9	1.6	1.6	9.0	0.0	0.8	15.6	21.3	0.0	0.0	8.2
	年 齢 別	18～24歳	135	22.2	3.7	14.1	0.0	2.2	7.4	0.7	0.0	21.5	17.0	0.0	0.0	11.1
		25～29歳	37	24.3	0.0	18.9	2.7	2.7	18.9	0.0	2.7	13.5	10.8	0.0	0.0	5.4
		30～34歳	24	4.2	8.3	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	29.2	0.0	0.0	8.3
35～39歳		12	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	33.3	0.0	0.0	16.7	
第2位	全 体	208	0.5	5.8	6.7	1.4	5.3	15.4	2.4	4.8	13.5	21.2	1.4	3.8	17.8	
	性 別	男性	86	1.2	7.0	9.3	2.3	7.0	14.0	2.3	3.5	14.0	18.6	2.3	4.7	14.0
		女性	122	0.0	4.9	4.9	0.8	4.1	16.4	2.5	5.7	13.1	23.0	0.8	3.3	20.5
	年 齢 別	18～24歳	135	0.0	5.2	9.6	0.7	5.9	15.6	2.2	3.7	11.1	18.5	2.2	5.2	20.0
		25～29歳	37	2.7	13.5	0.0	0.0	2.7	10.8	2.7	2.7	24.3	24.3	0.0	0.0	16.2
		30～34歳	24	0.0	0.0	4.2	4.2	8.3	20.8	4.2	16.7	12.5	12.5	0.0	4.2	12.5
35～39歳		12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	58.3	0.0	0.0	8.3	
第3位	全 体	208	0.5	5.8	8.2	3.4	5.3	8.7	3.8	7.7	11.5	9.1	1.0	10.1	25.0	
	性 別	男性	86	1.2	9.3	11.6	3.5	7.0	7.0	2.3	7.0	11.6	9.3	1.2	8.1	20.9
		女性	122	0.0	3.3	5.7	3.3	4.1	9.8	4.9	8.2	11.5	9.0	0.8	11.5	27.9
	年 齢 別	18～24歳	135	0.7	6.7	8.9	2.2	3.7	5.9	3.0	6.7	13.3	8.1	0.7	10.4	29.6
		25～29歳	37	0.0	8.1	5.4	0.0	2.7	10.8	10.8	8.1	8.1	18.9	0.0	8.1	18.9
		30～34歳	24	0.0	0.0	4.2	16.7	16.7	20.8	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	16.7
35～39歳		12	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	
参考※	全 体	208	20.7	14.9	31.3	6.3	12.5	34.1	6.7	13.0	42.8	48.6	2.4	13.9	2.4	

※参考の数値は、質問において1～3位として回答いただいたものを、単純な複数回答として集計し直したものである。

(8) 結婚生活への不安

問 10 結婚生活を送るうえで不安に思っていること（複数回答）

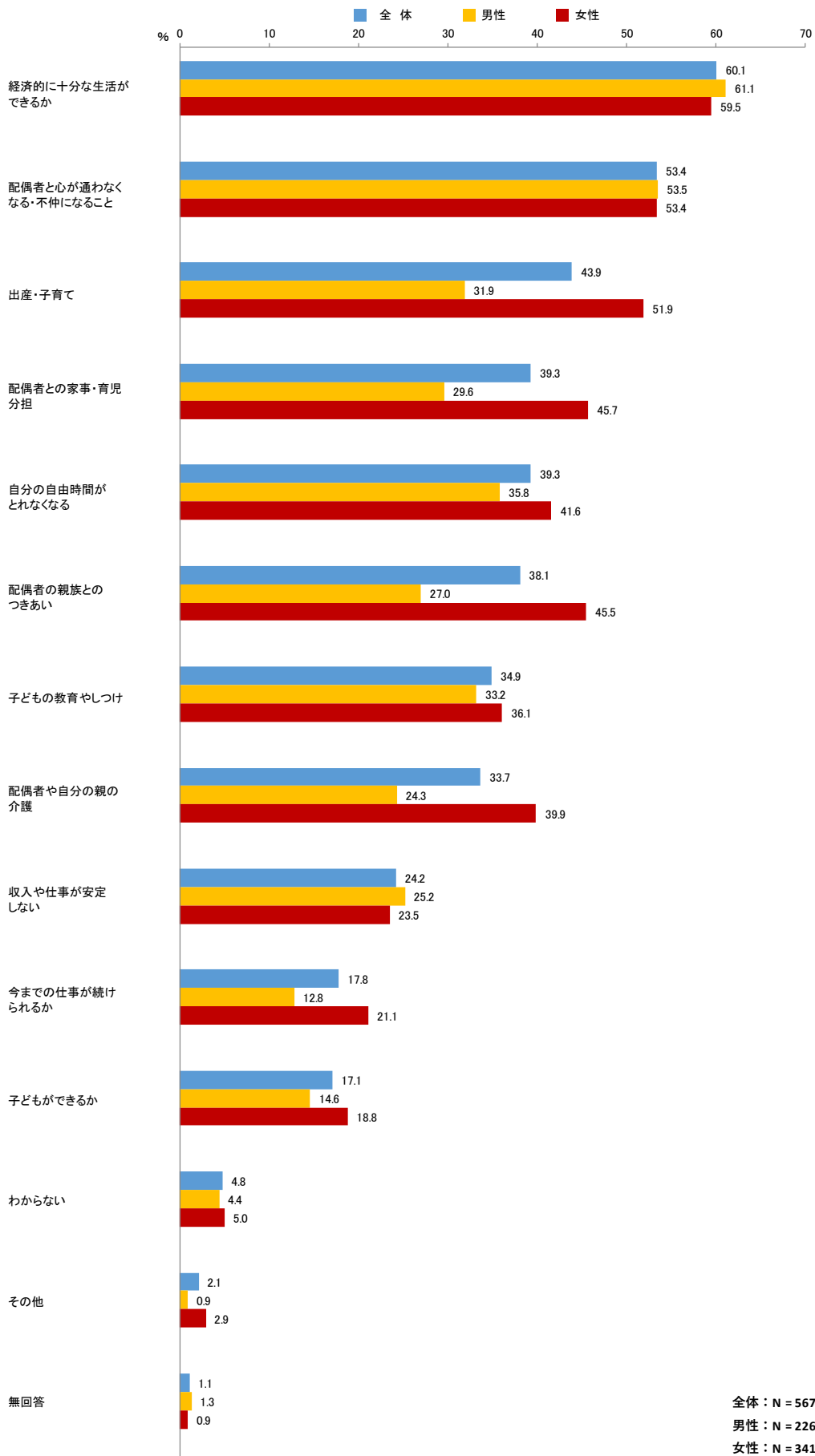
全体では、「経済的に十分な生活ができるか」が 60.1%と最も高く、次いで「配偶者と心が通わなくなる・不仲になること」が 53.4%、「出産・子育て」が 43.9%となっている。

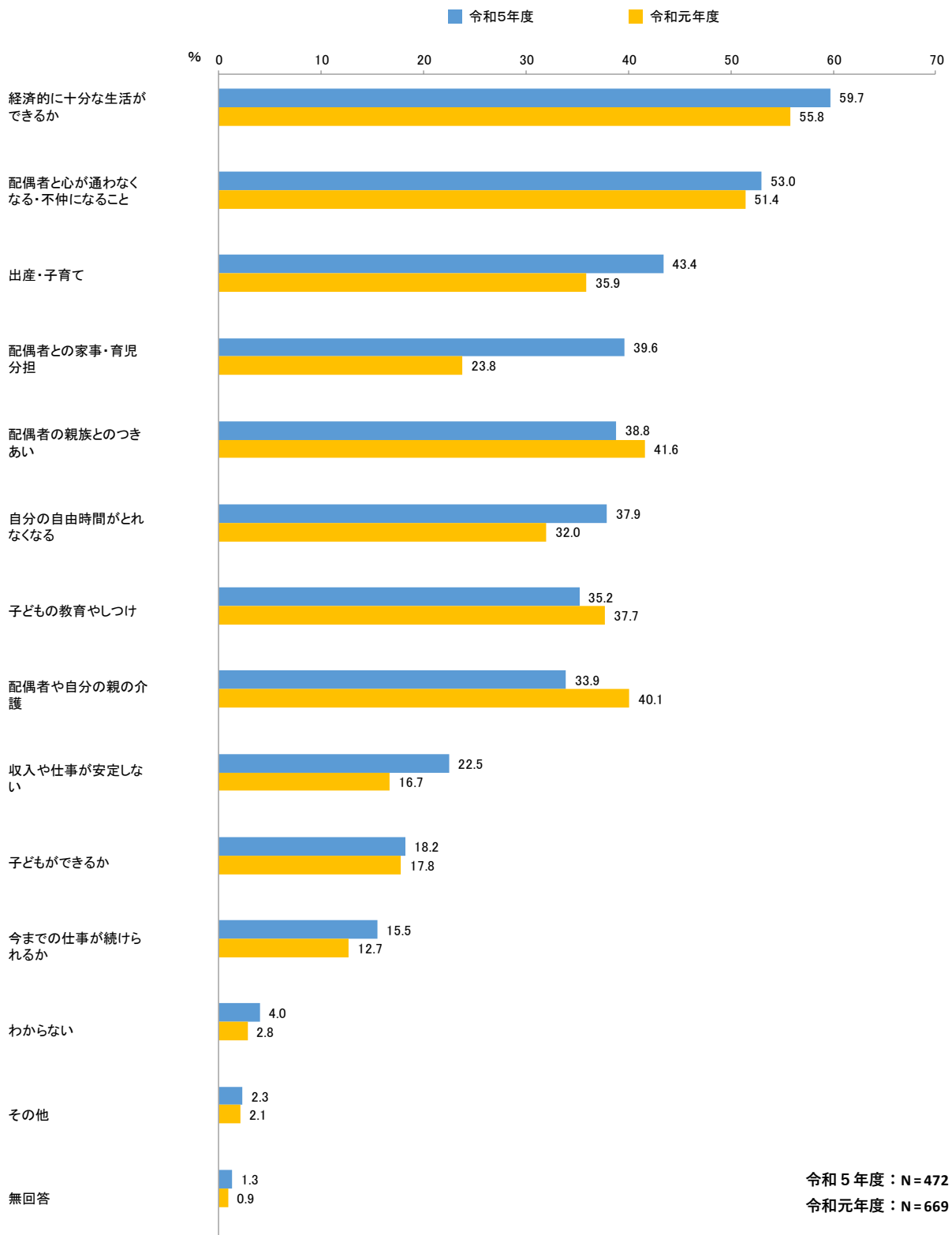
性別でみると、「経済的に十分な生活ができるか」が男女ともに最も高いが、「出産・子育て」（男性：31.9%、女性：51.9%）、「配偶者の親族とのつきあい」（男性：27.0%、女性：45.5%）、「配偶者との家事・育児分担」（男性：29.6%、女性：45.7%）、「配偶者や自分の親の介護」（男性：24.3%、女性：39.9%）では、男女間の差が大きくなっている。

年齢別でみると、35～39 歳では「配偶者と心が通わなくなる・不仲になること」が 53.5%と最も高いが、35～39 歳以外では「経済的に十分な生活ができるか」が最も高くなっている。

結婚経験別でみると、「自分の自由時間がとれなくなる」は既婚では 26.8%、未婚では 46.4%であり、差が大きくなっている。

前回調査と比較すると、最も高かった「経済的に十分な生活ができるか」は同様に 1 位であり、次点の「配偶者と心が通わなくなる・不仲になること」も同様に 2 位であった。





	全 体 (人)	配偶者と心が通わなくなる・不 仲になること	配偶者との家事・育児分 担	配偶者の親族とのつきあ い	配偶者や自分の親の介 護	経済的に十分な生活ができる か	今までの仕事が続けられる か	収入や仕事安定しない	自分の自由時間がとれなくなる	出産・子育て	子どもの教育やしつけ	子どもができるか	わからない	その他	無 回 答	
全 体	567	53.4	39.3	38.1	33.7	60.1	17.8	24.2	39.3	43.9	34.9	17.1	4.8	2.1	1.1	
性 別	男性	226	53.5	29.6	27.0	24.3	61.1	12.8	25.2	35.8	31.9	33.2	14.6	4.4	0.9	1.3
	女性	341	53.4	45.7	45.5	39.9	59.5	21.1	23.5	41.6	51.9	36.1	18.8	5.0	2.9	0.9
年 齢 別	18～24歳	230	54.3	42.2	41.7	31.7	65.7	20.4	31.7	44.3	48.7	35.2	15.7	5.7	2.6	1.3
	25～29歳	121	52.9	42.1	44.6	33.9	56.2	16.5	20.7	41.3	47.1	33.1	17.4	4.1	0.8	1.7
	30～34歳	117	52.1	33.3	30.8	35.0	60.7	17.9	23.9	29.9	41.0	29.1	19.7	4.3	2.6	0.0
	35～39歳	99	53.5	36.4	30.3	36.4	51.5	13.1	11.1	36.4	32.3	43.4	17.2	4.0	2.0	1.0
結 婚 経 験 別	既婚	198	53.0	30.3	25.8	33.3	55.1	13.6	13.6	26.8	33.8	37.9	15.2	3.5	1.5	0.0
	死別・離別	11	100.0	63.6	45.5	27.3	36.4	27.3	36.4	36.4	63.6	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0
	未婚	358	52.2	43.6	44.7	34.1	63.7	19.8	29.6	46.4	48.9	33.2	18.2	5.6	2.5	1.7
参 考	令和5年度	472	53.0	39.6	38.8	33.9	59.7	15.5	22.5	37.9	43.4	35.2	18.2	4.0	2.3	1.3
	令和元年度	669	51.4	23.8	41.6	40.1	55.8	12.7	16.7	32.0	35.9	37.7	17.8	2.8	2.1	0.9

(9) 未婚化・晩婚化の原因

問 11 未婚化、晩婚化の理由（上位3つまで）

全体では、第1位は「独身生活のほうが自由だから」が30.7%、第2位は「結婚に対する世間のこだわりが少なくなったから」が17.8%、第3位は「独身生活のほうが自由だから」が13.4%で最も高くなっている。

性別でみると、第1位では「独身生活のほうが自由だから」に次いで、男性では「若者の経済的自立が難しくなったから」が25.7%、女性では「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」が16.4%で次点となっている。

年齢別でみると、第1位では「独身生活のほうが自由だから」に次いで、35～39歳では「結婚に対する世間のこだわりが少なくなったから」（14.1%）、35～39歳以外では「若者の経済的自立が難しくなったから」が次点となっている。

前回調査と比較すると、「独身生活のほうが自由だから」は13.7ポイント、「若者の経済的自立が難しくなったから」は10.2ポイント増加した。

		全 体 (人)	独 身 生 活 の ほう が 自 由 だ か ら	結 婚 に 対 す る 世 間 の こ だ わ り が 少 な く な っ た か ら	合 が よ い か ら	仕 事 の た め に は 、 独 身 の ほう が 都 合 が よ い か ら	経 済 力 が 向 上 し た か ら	仕 事 を も つ 女 性 が 増 え て 、 女 性 の 経 済 力 が 向 上 し た か ら	感 、 拘 束 感 が 大 き い か ら	女 性 の 仕 事 、 育 児 に 対 す る 負 担 が 大 き い か ら	社 会 慣 行 と し て の お 見 合 い が 減 少 し た か ら	適 当 な 相 手 に め ぐ り 会 う 機 会 が 少 な い か ら	若 者 の 親 離 れ ・ 親 の 子 離 れ が で き て い な い か ら	高 学 歴 社 会 に な っ た か ら	若 者 の 経 済 的 自 立 が 難 し く な っ た か ら	若 者 の 経 済 的 自 立 が 難 し く な っ た か ら	恋 愛 や 交 際 に 消 極 的 な 男 性 (い わ ゆる 草 食 男 子) が 増 え た か ら	そ の 他	無 回 答
第1位	全 体	567	30.7	10.1	2.1	8.1	10.4	0.9	7.4	0.7	1.4	18.3	2.6	3.0	4.2				
	性別																		
	男性	226	32.7	8.0	3.1	6.2	1.3	0.9	5.8	0.9	2.2	25.7	3.5	4.0	5.8				
	女性	341	29.3	11.4	1.5	9.4	16.4	0.9	8.5	0.6	0.9	13.5	2.1	2.3	3.2				
	年齢別																		
	18～24歳	230	28.7	12.2	3.0	8.7	12.2	0.4	6.5	0.4	1.3	19.1	2.6	3.9	0.9				
25～29歳	121	33.1	5.8	1.7	8.3	12.4	0.8	6.6	0.8	1.7	18.2	5.0	2.5	3.3					
30～34歳	117	32.5	6.8	0.9	6.8	6.8	0.9	9.4	1.7	1.7	23.1	0.9	2.6	6.0					
35～39歳	99	30.3	14.1	2.0	8.1	8.1	2.0	8.1	0.0	1.0	11.1	2.0	2.0	11.1					
第2位	全 体	567	16.0	17.8	5.3	9.3	14.1	3.0	7.9	0.9	1.4	8.1	6.0	0.9	9.2				
	性別																		
	男性	226	20.8	17.3	5.3	6.6	8.4	4.9	8.4	0.9	1.3	8.0	7.5	0.9	9.7				
	女性	341	12.9	18.2	5.3	11.1	17.9	1.8	7.6	0.9	1.5	8.2	5.0	0.9	8.8				
	年齢別																		
	18～24歳	230	16.5	13.9	7.0	10.9	12.6	3.5	8.7	0.9	1.3	10.4	4.3	0.9	9.1				
25～29歳	121	22.3	24.8	5.0	4.1	12.4	4.1	5.8	0.8	1.7	6.6	4.1	0.8	7.4					
30～34歳	117	13.7	19.7	3.4	12.0	18.8	2.6	5.1	0.0	2.6	7.7	5.1	0.9	8.5					
35～39歳	99	10.1	16.2	4.0	9.1	14.1	1.0	12.1	2.0	0.0	5.1	13.1	1.0	12.1					
第3位	全 体	567	13.4	12.7	5.8	8.8	8.8	3.7	10.8	2.5	3.0	6.3	9.5	2.6	12.0				
	性別																		
	男性	226	13.3	11.5	5.8	6.2	4.9	5.3	14.2	2.2	3.5	6.2	11.9	2.7	12.4				
	女性	341	13.5	13.5	5.9	10.6	11.4	2.6	8.5	2.6	2.6	6.5	7.9	2.6	11.7				
	年齢別																		
	18～24歳	230	11.7	14.3	6.1	7.4	7.0	2.2	12.2	2.2	5.2	7.4	8.7	2.2	13.5				
25～29歳	121	13.2	11.6	7.4	9.9	9.1	0.0	10.7	2.5	3.3	8.3	9.1	4.1	10.7					
30～34歳	117	12.8	11.1	7.7	8.5	10.3	8.5	8.5	1.7	0.0	4.3	14.5	2.6	9.4					
35～39歳	99	18.2	12.1	1.0	11.1	11.1	6.1	10.1	4.0	1.0	4.0	6.1	2.0	13.1					
参考	単 回 純 答 複 数																		
	全 体	567	60.1	40.6	13.2	26.3	33.3	7.6	26.1	4.1	5.8	32.8	18.2	6.5	4.2				
	男性	226	66.8	36.7	14.2	19.0	14.6	11.1	28.3	4.0	7.1	39.8	23.0	7.5	5.8				
	女性	341	55.7	43.1	12.6	31.1	45.7	5.3	24.6	4.1	5.0	28.2	15.0	5.9	3.2				
	令和5年度(20歳以上)	472	61.7	42.6	12.1	25.0	34.1	7.4	25.6	4.0	5.3	32.8	18.2	6.6	5.1				
令和元年度	669	48.0	34.8	11.1	27.5	28.1	7.3	26.9	6.9	4.5	22.6	19.9	4.9	4.2					

※参考は、単純な複数回答（3つまで選択）として集計し直したものである。

（前回調査との比較において使用している令和5年度の数値は、20歳以上を抽出したものの。）

(10) 理想の生き方・働き方

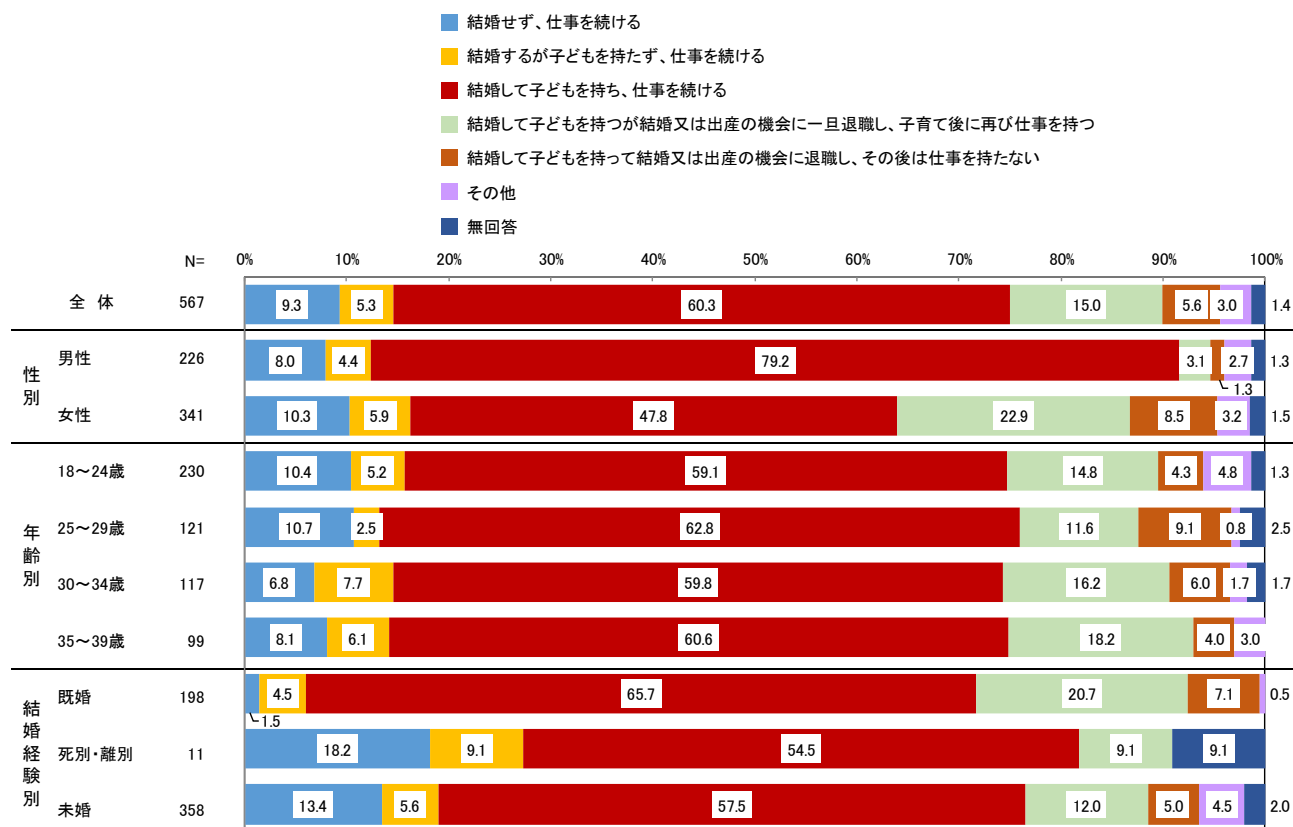
問 12-1 自身が理想とする生き方

全体では、「結婚して子どもを持ち、仕事を続ける」が 60.3%と最も高く、次いで「結婚して子どもを持つが結婚又は出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 15.0%、「結婚せず、仕事を続ける」が 9.3%となっている。

性別でみると、男女ともに「結婚して子どもを持ち、仕事を続ける」が最も高いが、男性は 79.2%、女性は 47.8%と 30 ポイント以上の差がある。次いで男性では「結婚せず、仕事を続ける」が 8.0%で高く、女性では「結婚して子どもを持つが結婚又は出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が 22.9%で高くなっている。

年齢別でみると、「結婚せず、仕事を続ける」は 18～24 歳及び 25～29 歳で 10%を超えて他の年齢と比べて高くなっている。「結婚して子どもを持って結婚又は出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」は 25～29 歳で 9.1%と他の年齢と比べて高くなっている。

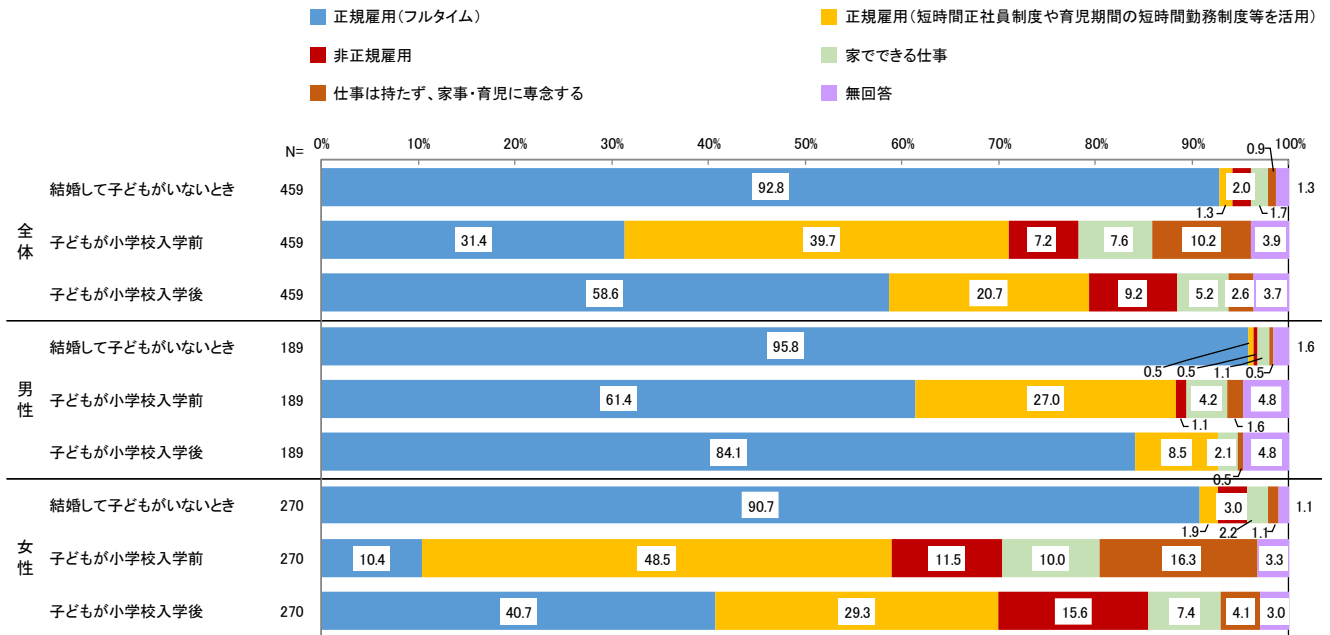
結婚経験別でみると、「結婚せず、仕事を続ける」は既婚では 1.5%であるのに対し、死別・離別では 18.2%、未婚では 13.4%と差が見られた。



問 12-2 自身が理想とする結婚後の働き方（問 12-1 で「子どもを持つ」を選んだ人）

全体では、結婚して子どもがいないときは「正規雇用（フルタイム）」が 92.8%と最も高いが、子どもが小学校入学前では「正規雇用（短時間正社員制度や育児期間の短時間勤務制度等を活用）」（39.7%）の方が高くなり、子どもが小学校入学後では「正規雇用（フルタイム）」（58.6%）が最も高くなっている。

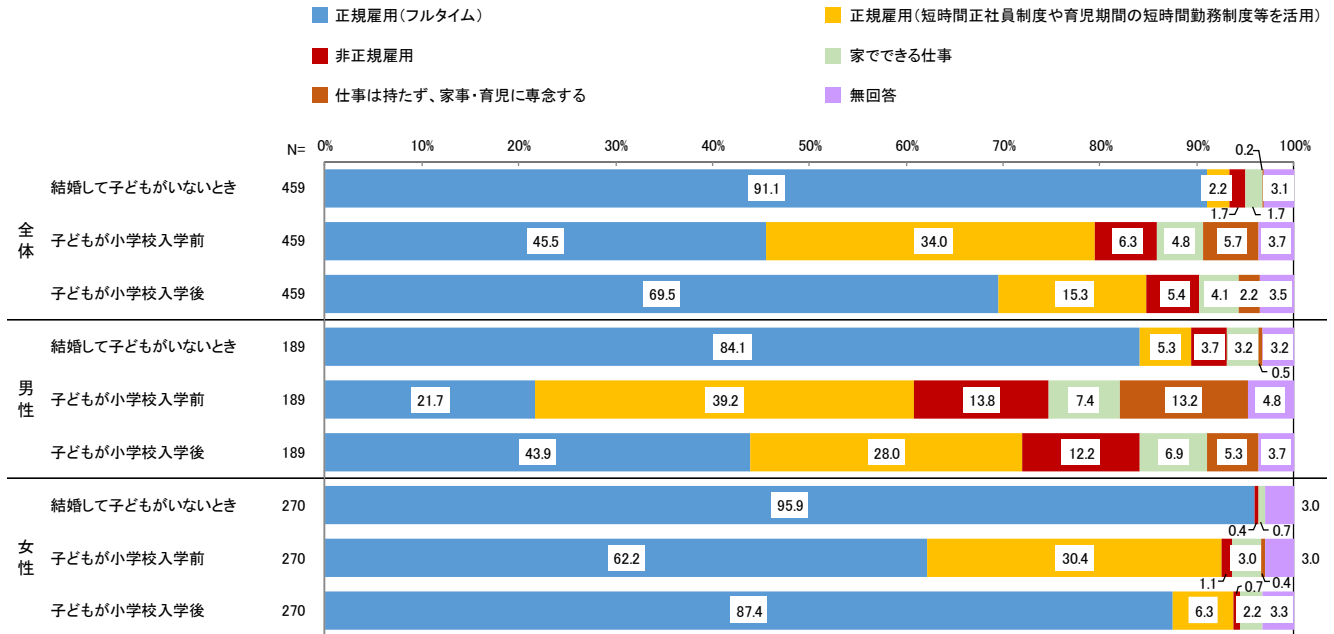
性別で見ると、「正規雇用（フルタイム）」は男性では子どもが小学校入学前で 61.4%、子どもが小学校入学後で 84.1%であるのに対し、女性では子どもが小学校入学前で 10.4%、子どもが小学校入学後で 40.7%と大きな差が見られた。



問 12-2 配偶者に望む結婚後の働き方（問 12-1 で「子どもを持つ」を選んだ人）

全体では、結婚して子どもがいなくは「正規雇用（フルタイム）」が 91.1%と最も高いが、子どもが小学校入学前では 45.5%と低くなり、子どもが小学校入学後では 69.5%と最も高くなっている。

性別で見ると、男性では子どもが小学校入学前に配偶者に「非正規雇用」を望む割合が 13.8%、子どもが小学校入学後では 12.2%であるのに対して、女性ではそれぞれ 1.1%、0.7%と大きな差が見られた。



(11) 子どもの人数

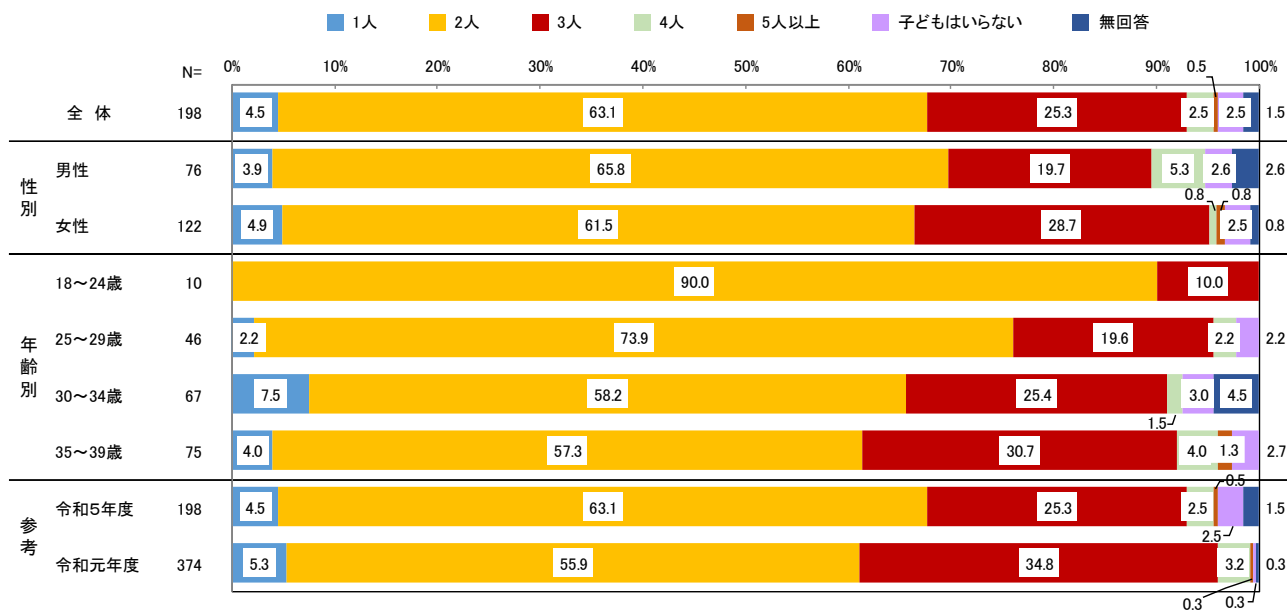
問 13-1 夫婦にとって理想的な子どもの数（「結婚している」人）

全体では、「2人」が63.1%と最も高く、次いで「3人」が25.3%、「1人」が4.5%となっている。

性別で見ると、「2人」が男女ともに最も高く、男性（65.8%）が女性（61.5%）より4.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「2人」の割合が低くなり、「3人」の割合が高くなる傾向がある。

前回調査と比較すると、「3人」は9.5ポイント減少し、「2人」は7.2ポイント増加した。



		全体(人)	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	無回答	
男性	全体	76	3.9	65.8	19.7	5.3	0.0	2.6	2.6	
	年齢別	18~24歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		25~29歳	16	6.3	75.0	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0
		30~34歳	30	6.7	60.0	20.0	3.3	0.0	3.3	6.7
		35~39歳	27	0.0	63.0	29.6	7.4	0.0	0.0	0.0
	結婚年数別	3年未満	20	10.0	75.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0
		3年以上6年未満	24	4.2	62.5	20.8	0.0	0.0	8.3	4.2
		6年以上10年未満	17	0.0	58.8	29.4	11.8	0.0	0.0	0.0
10年以上		15	0.0	66.7	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	
女性	全体	122	4.9	61.5	28.7	0.8	0.8	2.5	0.8	
	年齢別	18~24歳	7	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		25~29歳	30	0.0	73.3	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0
		30~34歳	37	8.1	56.8	29.7	0.0	0.0	2.7	2.7
		35~39歳	48	6.3	54.2	31.3	2.1	2.1	4.2	0.0
	結婚年数別	3年未満	29	3.4	75.9	17.2	0.0	0.0	0.0	3.4
		3年以上6年未満	33	9.1	69.7	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		6年以上10年未満	38	5.3	55.3	28.9	0.0	2.6	7.9	0.0
10年以上		21	0.0	38.1	57.1	4.8	0.0	0.0	0.0	

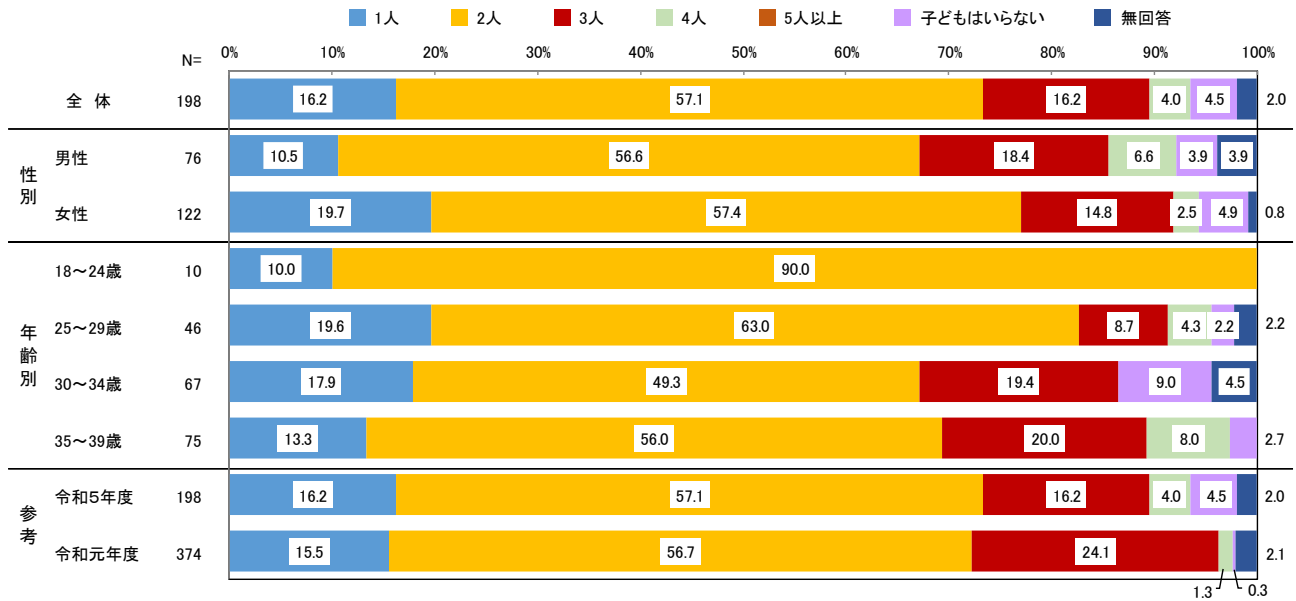
問 13-2 実際に持つつもりの子どもの数（「結婚している」人）

全体では、「2人」が57.1%と最も高く、次いで「1人」及び「3人」が16.2%となっている。

性別で見ると、男女ともに「2人」が最も高いが、次いで男性では「3人」が18.4%で高く、女性では「1人」が19.7%で高くなっている。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「3人」の割合が高くなる傾向がある。

前回調査と比較すると、「3人」は7.9ポイント減少し、「子どもはいらない」は4.2ポイント増加した。



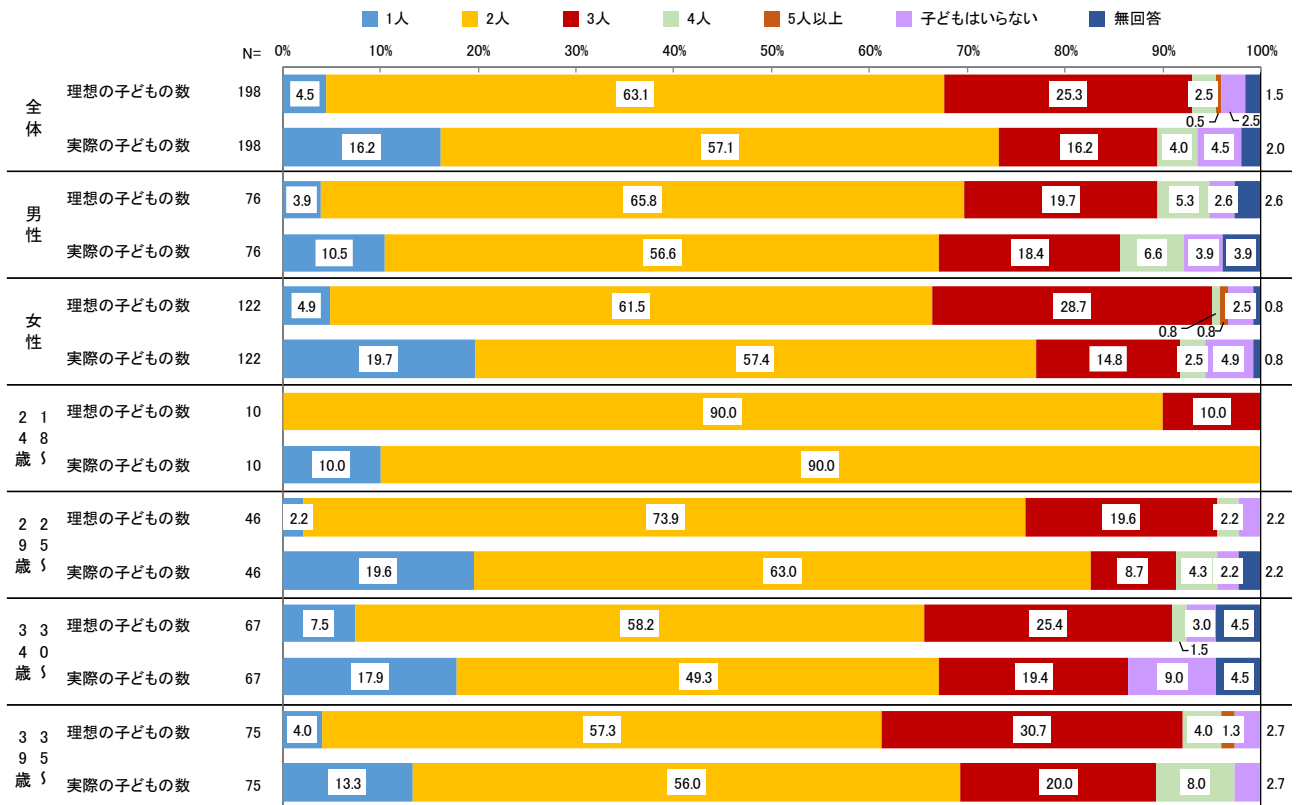
		全体(人)	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	無回答	
男性	全体	76	10.5	56.6	18.4	6.6	0.0	3.9	3.9	
	年齢別	18～24歳	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		25～29歳	16	6.3	62.5	12.5	6.3	0.0	6.3	6.3
		30～34歳	30	16.7	46.7	23.3	0.0	0.0	6.7	6.7
		35～39歳	27	7.4	59.3	18.5	14.8	0.0	0.0	0.0
	結婚年数別	3年未満	20	15.0	70.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0
		3年以上6年未満	24	4.2	54.2	25.0	0.0	0.0	12.5	4.2
		6年以上10年未満	17	11.8	52.9	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0
10年以上		15	13.3	46.7	20.0	13.3	0.0	0.0	6.7	
女性	全体	122	19.7	57.4	14.8	2.5	0.0	4.9	0.8	
	年齢別	18～24歳	7	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		25～29歳	30	26.7	63.3	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0
		30～34歳	37	18.9	51.4	16.2	0.0	0.0	10.8	2.7
		35～39歳	48	16.7	54.2	20.8	4.2	0.0	4.2	0.0
	結婚年数別	3年未満	29	20.7	69.0	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4
		3年以上6年未満	33	27.3	66.7	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0
		6年以上10年未満	38	18.4	50.0	18.4	2.6	0.0	10.5	0.0
10年以上		21	9.5	38.1	42.9	9.5	0.0	0.0	0.0	

【理想的な子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数の比較（結婚している人）】

全体では、理想的な子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数を比較すると、全体的に実際の方が子どもの数が少なくなる傾向となっており、実際に持つつもりの子どもの数に「5人以上」と答える人はいなかった。また、子どもの数を「1人」と回答する割合は、理想よりも実際の方が11.7ポイント高くなっている。

性別で見ると、「1人」と回答した割合は理想及び実際のいずれも男性より女性の方が高くなっている。「3人」と回答した割合は男性では理想と実際で1.3ポイントの差であるのに対して、女性では13.9ポイントと大きな差があった。

年齢別で見ると、「1人」と回答した割合はいずれの年齢においても理想よりも実際の方が高いのに対して、「3人」と回答した割合はいずれの年齢においても理想よりも実際の方が低くなっている。



問 13-3 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由（問 13-2 の答えが問 13-1 の答えより少ない人：複数回答）

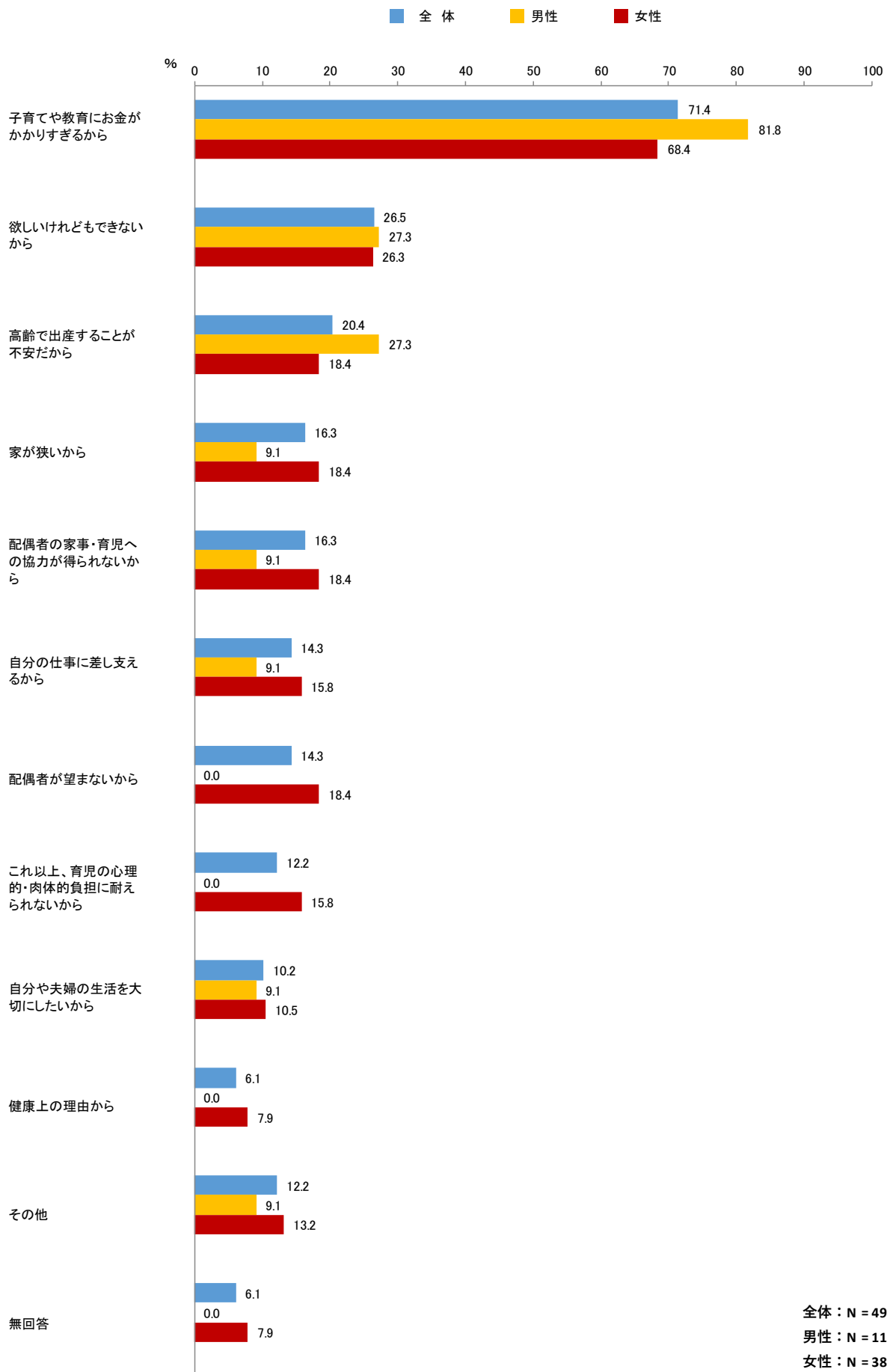
全体では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 71.4%と最も高く、次いで「欲しいけれどもできないから」が 26.5%、「高齢で出産することが不安だから」が 20.4%となっている。

性別でみると、男女ともに「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高く、次点は「欲しいけれどもできないから」である。

年齢別でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」がいずれの年齢においても最も高いが、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がある。

結婚年数別でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」がいずれの年数においても最も高いが、3年以上6年未満では 78.6%、10年以上では 50.0%と大きな差が見られた。また、「欲しいけれどもできないから」は年数が増えるにつれて高くなる傾向がある。

子どもの人数別でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」がいずれの人数においても最も高いが、次点では子どもの人数が1人の場合は「欲しいけれどもできないから」（42.9%）、2人の場合は「高齢で出産することが不安だから」（33.3%）となっている。



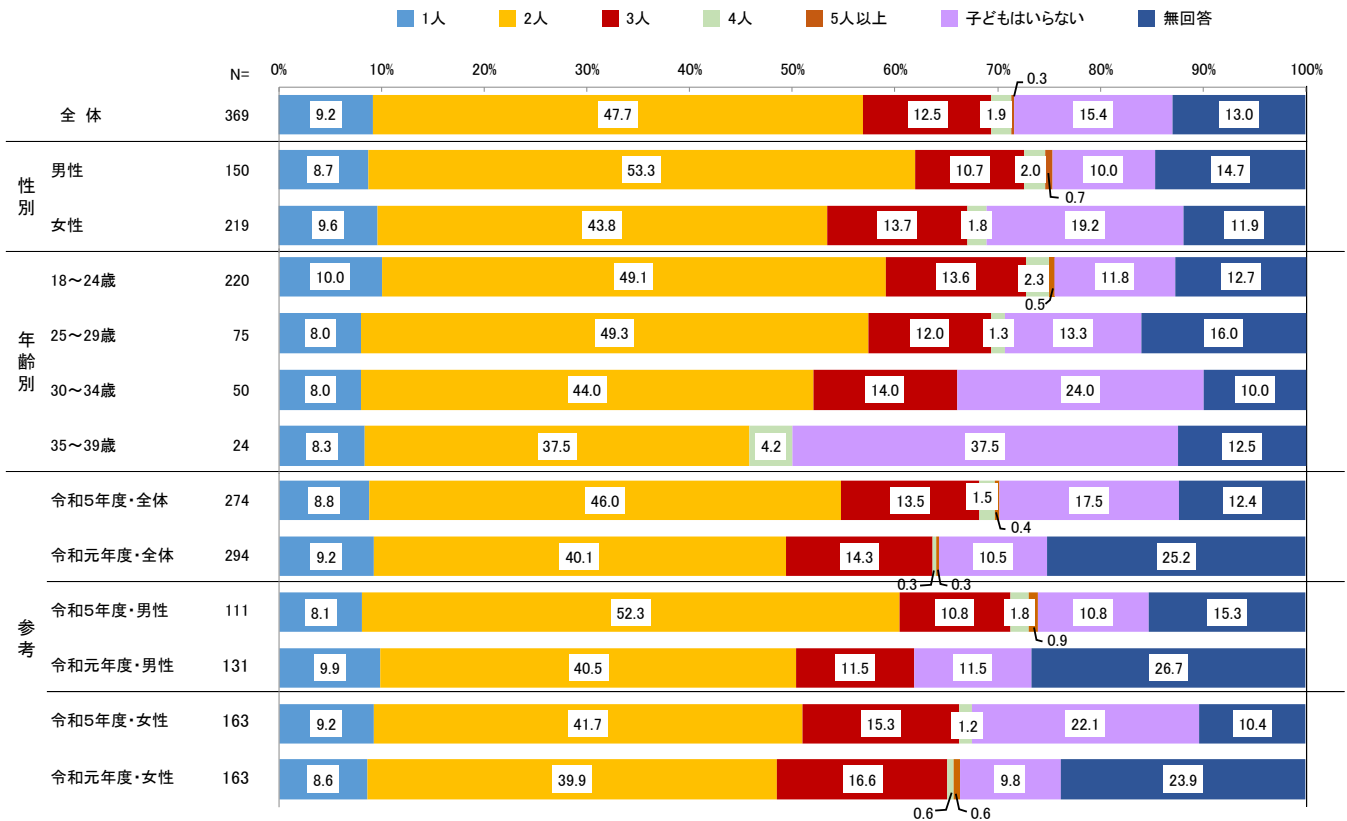
		全 体（人）	子 育 て や 教 育 に お 金 が か か り す ぎ る か ら	家 が 狭 い か ら	自 分 の 仕 事 に 差 し 支 え る か ら	自 分 や 夫 婦 の 生 活 を 大 切 に し た い か ら	自 分 の 心 理 的 ・ 肉 体 的 負 担 に 耐 え ら れ な い か ら	こ れ 以 上 、 育 児 の 心 理 的 ・ 肉 体 的 負 担 に 耐 え ら れ な い か ら	配 偶 者 の 家 事 ・ 育 児 へ の 協 力 が 得 ら れ な い か ら	配 偶 者 が 望 ま な い か ら	高 齢 で 出 産 す る こ と が 不 安 だ か ら	健 康 上 の 理 由 か ら	欲 し い け れ ど も で き な い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体		49	71.4	16.3	14.3	10.2	12.2	16.3	14.3	20.4	6.1	26.5	12.2	6.1	
性 別	男性	11	81.8	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	27.3	0.0	27.3	9.1	0.0	
	女性	38	68.4	18.4	15.8	10.5	15.8	18.4	18.4	18.4	7.9	26.3	13.2	7.9	
年 齢 別	18～24歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	25～29歳	14	92.9	28.6	14.3	21.4	21.4	14.3	14.3	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	
	30～34歳	17	64.7	11.8	11.8	5.9	5.9	11.8	5.9	11.8	5.9	17.6	23.5	11.8	
	35～39歳	17	58.8	11.8	17.6	5.9	11.8	23.5	17.6	41.2	11.8	47.1	0.0	5.9	
結 婚 年 数 別	3年未満	11	72.7	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	18.2	18.2	0.0	18.2	27.3	9.1	
	3年以上6年未満	14	78.6	21.4	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1	21.4	7.1	21.4	0.0	7.1	
	6年以上10年未満	16	75.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	18.8	25.0	6.3	31.3	18.8	6.3	
	10年以上	8	50.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	0.0	0.0	
子 供 の 人 数 別	1人	21	71.4	14.3	14.3	0.0	9.5	19.0	19.0	14.3	4.8	42.9	9.5	0.0	
	2人	12	91.7	25.0	8.3	8.3	25.0	25.0	25.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	
	3人	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4人以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	子どもはいない	15	53.3	13.3	20.0	26.7	6.7	6.7	0.0	20.0	13.3	26.7	13.3	20.0	

問 14 ほしい子どもの数（「結婚していたが、死別・離別した」「今まで結婚したことはない」人）

全体では、「2人」が47.7%と最も高く、次いで「子どもはいらない」が15.4%、「3人」が12.5%となっている。
性別で見ると、男女ともに「2人」が最も高いが、次いで男性では「3人」が10.7%で高く、女性では「子どもはいらない」が19.2%で高くなっている。

年齢別で見ると、「5人以上」と回答した人は18～24歳のみ（0.5%）であり、それ以外の年齢においてはすべて0.0%であった。一方で、「子どもはいらない」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がある。

前回調査と比較すると、「子どもはいらない」は7.0ポイント増加、「2人」は5.9ポイント増加した。



		全体(人)	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	無回答	
男性	全体	150	8.7	53.3	10.7	2.0	0.7	10.0	14.7	
	年齢別	18～24歳	88	5.7	54.5	12.5	1.1	1.1	9.1	15.9
		25～29歳	30	16.7	53.3	3.3	3.3	0.0	3.3	20.0
		30～34歳	23	8.7	52.2	17.4	0.0	0.0	17.4	4.3
		35～39歳	9	11.1	44.4	0.0	11.1	0.0	22.2	11.1
女性	全体	219	9.6	43.8	13.7	1.8	0.0	19.2	11.9	
	年齢別	18～24歳	132	12.9	45.5	14.4	3.0	0.0	13.6	10.6
		25～29歳	45	2.2	46.7	17.8	0.0	0.0	20.0	13.3
		30～34歳	27	7.4	37.0	11.1	0.0	0.0	29.6	14.8
		35～39歳	15	6.7	33.3	0.0	0.0	0.0	46.7	13.3

(12) 第1子誕生の時期

問 15 子ども（第1子）をもちたい理想の年齢

回答いただいた子どもをもちたい理想の年齢を5歳区分で集計した。

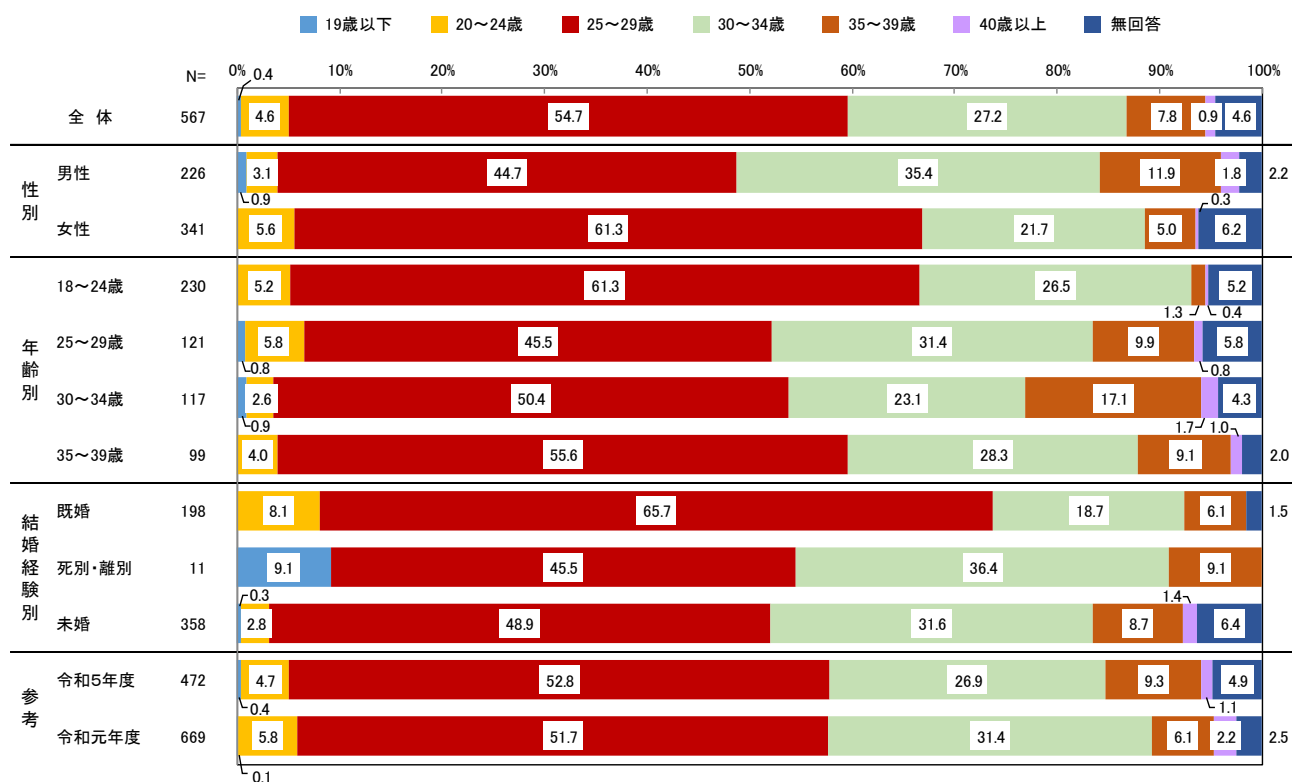
全体では、「25～29歳」が54.7%と最も高く、次いで「30～34歳」が27.2%、「35～39歳」が7.8%となっている。

性別でみると、「25～29歳」が男女ともに最も高く、女性（61.3%）が男性（44.7%）より16.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「25～29歳」は18～24歳で61.3%、「30～34歳」は25～29歳で31.4%、「35～39歳」は30～34歳で17.1%と、それぞれ他の年齢と比べて高くなっている。

結婚経験別でみると、既婚では「20～24歳」及び「25～29歳」が未婚よりも高いのに対して、「30～34歳」及び「35～39歳」は未婚の方が高くなっている。

前回調査と比較すると、「35～39歳」は3.2ポイント増加し、「30～34歳」は4.5ポイント減少した。



【子ども（第1子）を持ちたい理想的な年齢について（無回答を除いた平均値）】

		全 体(人)	平 均(歳)
全 体		541	28.59
性 別	男性	221	29.43
	女性	320	28.01
年 齢 別	18～24歳	218	27.95
	25～29歳	114	28.96
	30～34歳	112	29.45
	35～39歳	97	28.59
結 婚 経 験 別	既婚	195	27.68
	死別・離別	11	28.27
	未婚	335	29.13

(13) 国や自治体の少子化対策

問 16 国や自治体の少子化対策の拡充により「（もう1人）子どもが欲しい」という気持ちになるか

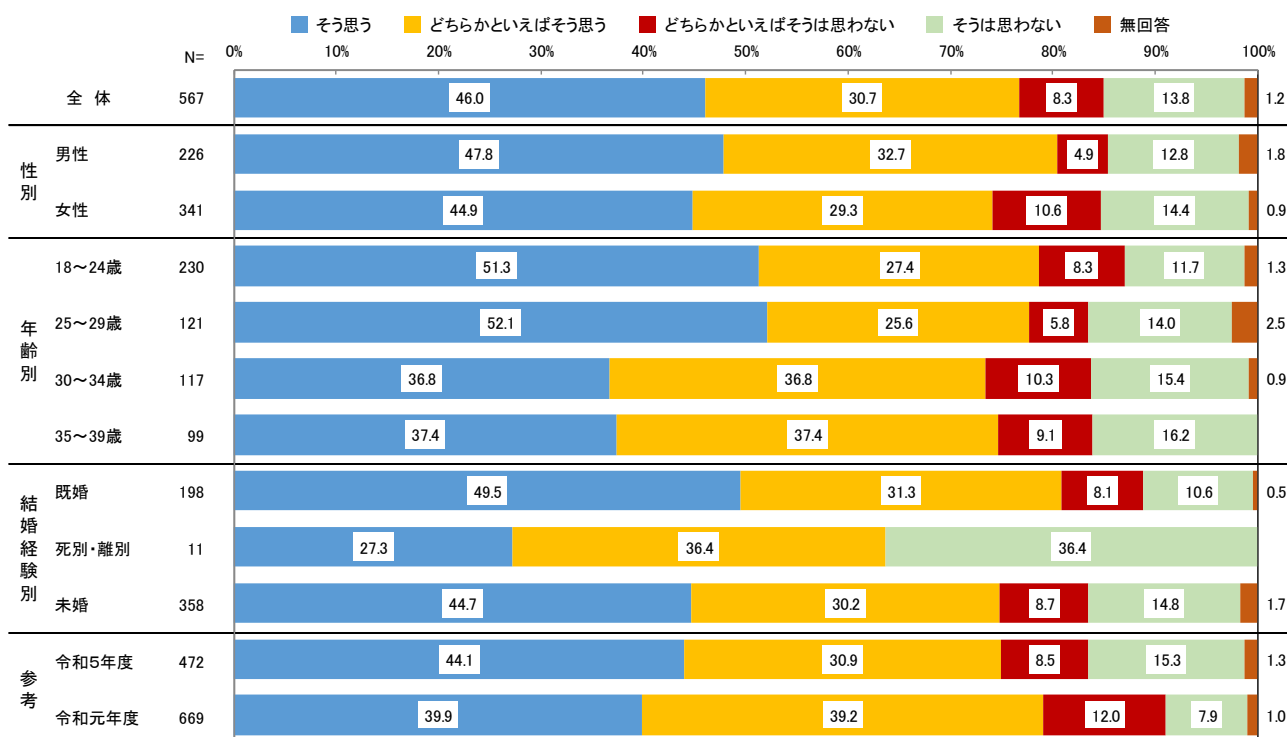
全体では、「そう思う」が46.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.7%となっており、肯定的な回答が7割を超えている。

性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な回答は、男性（80.5%）が女性（74.2%）より6.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「そうは思わない」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がある。「そう思う」は18～24歳（51.3%）及び18～24歳（52.1%）では5割を超えたが、30～34歳（36.8%）及び35～39歳（37.4%）では3割台となっている。

結婚経験別でみると、死別・離別では「そうは思わない」が36.4%と、否定的な回答が既婚及び未婚よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、前回は79.1%、今回は75.0%と4.1ポイント減少した。



問 17 「（もう1人）子どもが欲しい」という気持ちにならない理由（問 16 で「どちらかといえばそうは思わない」「そうは思わない」を選んだ人：複数回答）

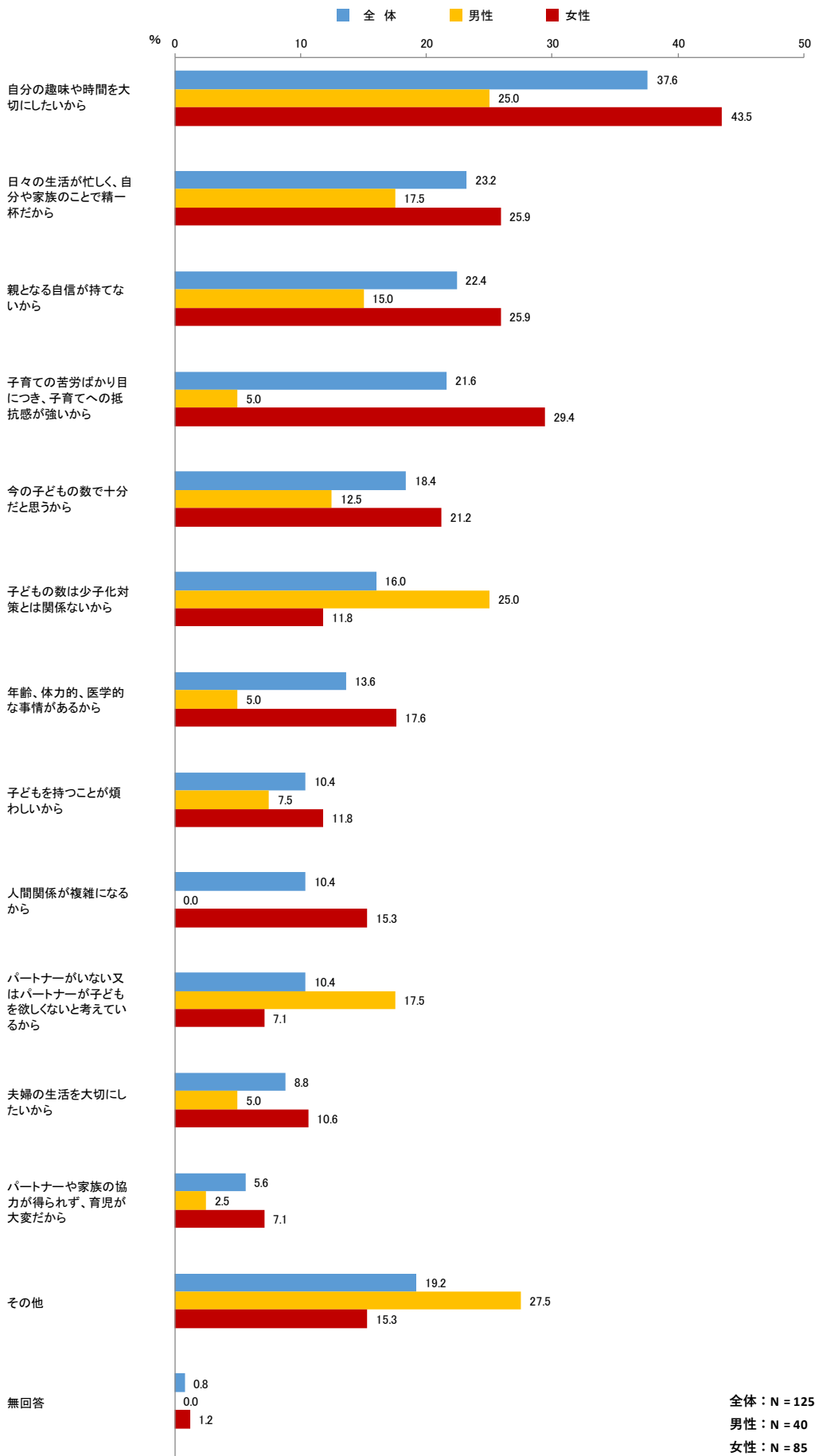
全体では、「自分の趣味や時間を大切にしたいから」が 37.6%と最も高く、次いで「日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから」が 23.2%、「親となる自信が持てないから」が 22.4%となっている。

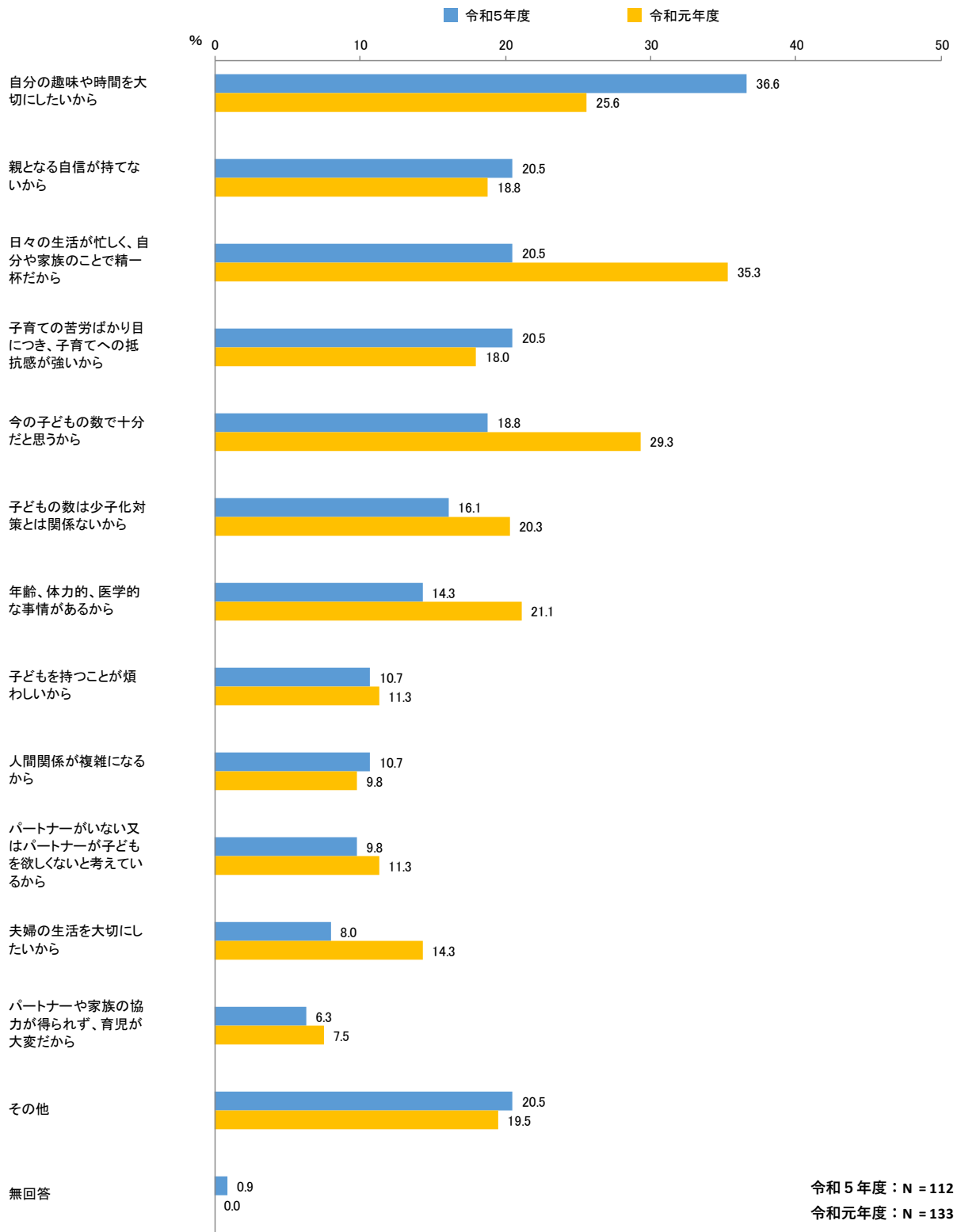
性別で見ると、男性では「自分の趣味や時間を大切にしたいから」及び「子どもの数は少子化対策とは関係ないから」が 25.0%、女性では「自分の趣味や時間を大切にしたいから」が 43.5%で最も高くなっている。

年齢別で見ると、「親となる自信が持てないから」は年齢が上がるにつれて低くなる傾向がある。「自分の趣味や時間を大切にしたいから」は 18～24 歳では 52.2%と過半数であったが、35～39 歳では 24.0%と 28.2 ポイントの差が見られた。

結婚経験別で見ると、未婚では「自分の趣味や時間を大切にしたいから」が 47.6%と最も高いが、既婚では「今の子ども数で十分だと思うから」が 43.2%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、最も高かった「日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから」は今回 2 位となり、次点の「今の子ども数で十分だと思うから」は今回 5 位となった。前回 3 位の「自分の趣味や時間を大切にしたいから」は今回 1 位となった。





		全 体（人）	自 分 の 趣 味 や 時 間 を 大 切 に し た い か ら	夫 婦 の 生 活 を 大 切 に し た い か ら	親 と な る 自 信 が 持 て な い か ら	日 々 の 生 活 が 忙 し く 、 自 分 や 家 族 の こ と で 精 一 杯 だ か ら	抵 抗 感 が 強 い か ら	子 育 て の 苦 労 ば か り 目 に つ き 、 子 育 て へ の	子 ど も を 持 つ こ と が 煩 わ し い か ら	パ ー ト ナ ー や 家 族 の 協 力 が 得 ら れ ず 、 育 児 が 大 変 だ か ら	人 間 関 係 が 複 雑 に な る か ら	今 の 子 ど も の 数 で 十 分 だ と 思 う か ら	年 齢 、 体 力 的 、 医 学 的 な 事 情 が あ る か ら	パ ー ト ナ ー が い な い 又 は パ ー ト ナ ー が 子 ど も を 欲 し く な い と 考 え て い る か ら	子 ど も の 数 は 少 子 化 対 策 と は 関 係 な い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体		125	37.6	8.8	22.4	23.2	21.6	10.4	5.6	10.4	18.4	13.6	10.4	16.0	19.2	0.8	
性 別	男性	40	25.0	5.0	15.0	17.5	5.0	7.5	2.5	0.0	12.5	5.0	17.5	25.0	27.5	0.0	
	女性	85	43.5	10.6	25.9	25.9	29.4	11.8	7.1	15.3	21.2	17.6	7.1	11.8	15.3	1.2	
年 齢 別	18～24歳	46	52.2	6.5	30.4	30.4	17.4	13.0	6.5	6.5	10.9	13.0	10.9	10.9	15.2	0.0	
	25～29歳	24	29.2	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	12.5	0.0	16.7	4.2	16.7	12.5	25.0	0.0	
	30～34歳	30	33.3	10.0	20.0	33.3	40.0	3.3	0.0	20.0	20.0	23.3	13.3	13.3	23.3	0.0	
	35～39歳	25	24.0	4.0	8.0	4.0	12.0	16.0	4.0	16.0	32.0	12.0	0.0	32.0	16.0	4.0	
結 婚 経 験 別	既婚	37	16.2	16.2	16.2	27.0	27.0	0.0	5.4	10.8	43.2	21.6	0.0	18.9	27.0	0.0	
	死別・離別	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
	未婚	84	47.6	6.0	26.2	22.6	20.2	15.5	6.0	10.7	8.3	9.5	14.3	14.3	16.7	1.2	
参 考	令和5年度	112	36.6	8.0	20.5	20.5	20.5	10.7	6.3	10.7	18.8	14.3	9.8	16.1	20.5	0.9	
	令和元年度	133	25.6	14.3	18.8	35.3	18.0	11.3	7.5	9.8	29.3	21.1	11.3	20.3	19.5	0.0	

問 18 行政が、結婚から妊娠・出産、子育て支援までの少子化対策で拡充すべき施策（複数回答）

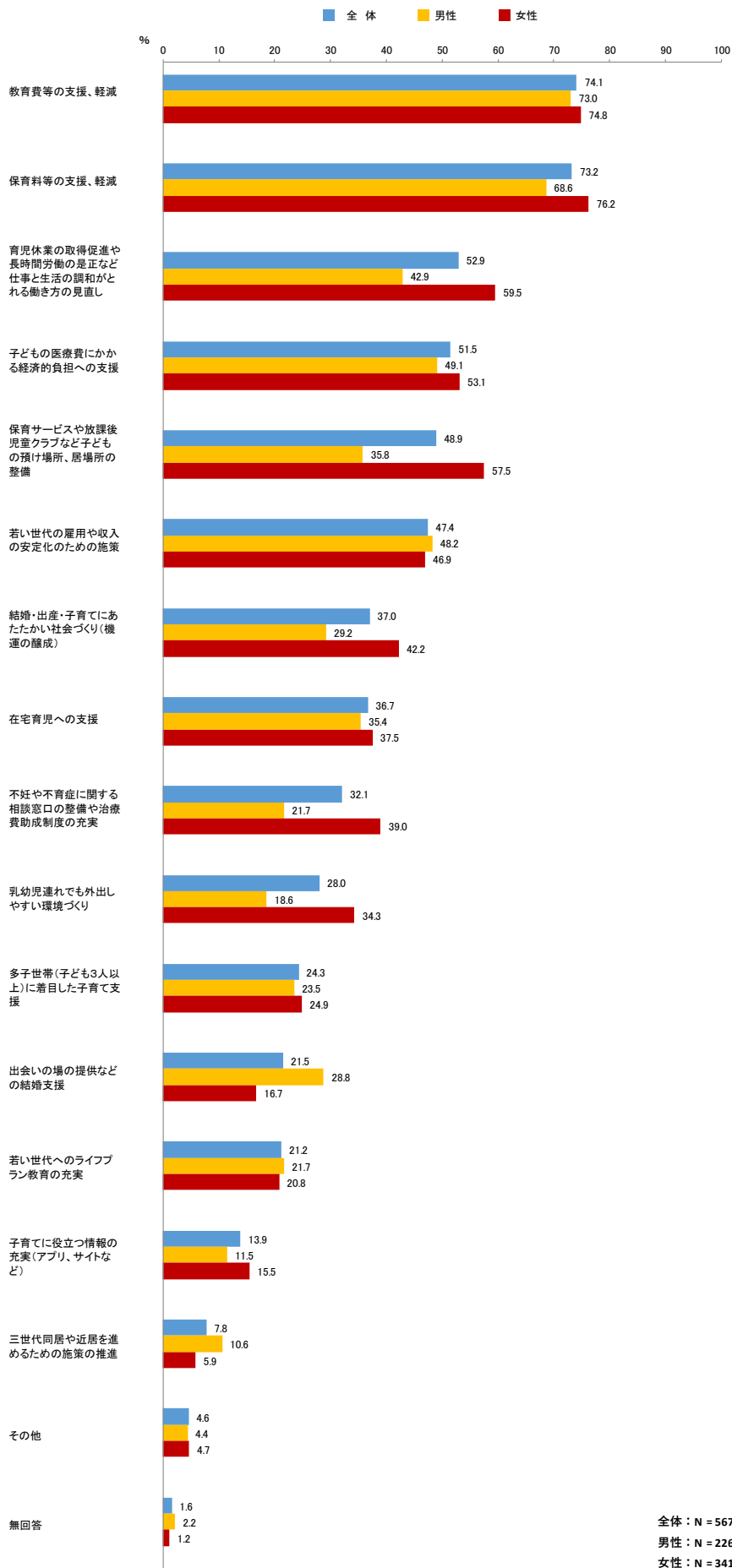
全体では、「教育費等の支援、軽減」が 74.1%と最も高く、次いで「保育料等の支援、軽減」が 73.2%、「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」が 52.9%となっている。

性別で見ると、「教育費等の支援、軽減」が男性では 1 位（73.0%）、女性では 2 位（74.8%）、「保育料等の支援、軽減」が男性では 2 位（68.6%）、女性では 1 位（76.2%）となっており、類似した施策が男女ともに高くなっている。

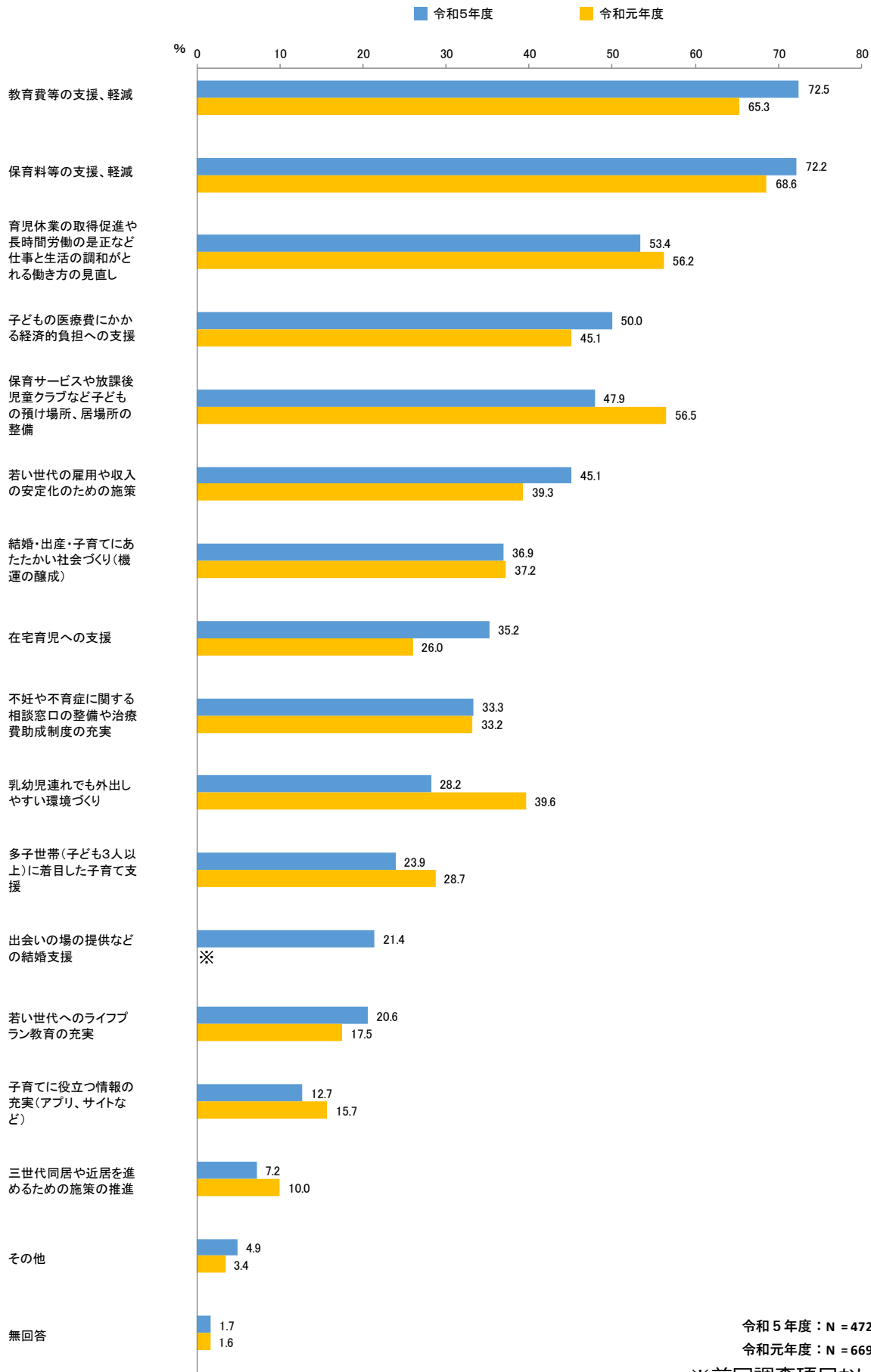
年齢別で見ると、「不妊や不育症に関する相談窓口の整備や治療費助成制度の充実」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向があり、「若い世代の雇用や収入の安定化のための施策」は年齢が上がるにつれて低くなる傾向がある。

結婚経験別で見ると、「出会いの場の提供などの結婚支援」が 11.3 ポイント、「若い世代の雇用や収入の安定化のための施策」が 10.7 ポイント、それぞれ既婚より未婚が高くなっている。「不妊や不育症に関する相談窓口の整備や治療費助成制度の充実」は 16.2 ポイント、「保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備」は 12.0 ポイント、それぞれ未婚より既婚が高くなっている。

前回調査と比較すると、最も高かった「保育料等の支援、軽減」は今回 2 位、次点の「教育費等の支援、軽減」は今回 1 位と、それぞれ順位が逆転した。



全体：N = 567
 男性：N = 226
 女性：N = 341



令和5年度：N = 472
 令和元年度：N = 669
 ※前回調査項目なし

	全 体 (人)	出 会 い の 場 の 提 供 な ど の 結 婚 支 援	保 育 料 等 の 支 援 、 軽 減	在 宅 保 育 児 へ の 支 援	教 育 費 等 の 支 援 、 軽 減	仕 事 と 生 活 の 調 和 が と れ る 働 き 方 の 見 直 し	育 児 休 業 の 取 得 促 進 や 長 時 間 労 働 の 是 正 な ど	保 育 サ ー ビ ス や 放 課 後 児 童 ク ラ ブ な ど 子 ど も の 預 け 場 所 、 居 場 所 の 整 備	乳 幼 児 連 れ で も 外 出 し や す い 環 境 づ く り	費 助 成 制 度 の 充 実	不 妊 や 不 育 症 に 関 す る 相 談 窓 口 の 整 備 や 治 療	子 ど も の 医 療 費 に か か る 経 済 的 負 担 へ の 支 援	多 子 世 帯 (子 ど も 3 人 以 上) に 着 目 し た 子 育 て 支 援	三 世 代 同 居 や 近 居 を 進 め る た め の 施 策 の 推 進	若 い 世 代 へ の ラ イ フ ブ ラ ン 教 育 の 充 実	若 い 世 代 の 雇 用 や 収 入 の 安 定 化 の た め の 施 策	子 育 て に 役 立 つ 情 報 の 充 実 (ア プ リ 、 サ イ ト な ど)	結 婚 ・ 出 産 ・ 子 育 て に あ た た か い 社 会 づ く り (機 運 の 醸 成)	そ の 他	無 回 答
全 体	567	21.5	73.2	36.7	74.1	52.9	48.9	28.0	32.1	51.5	24.3	7.8	21.2	47.4	13.9	37.0	4.6	1.6		
性 別	男性	226	28.8	68.6	35.4	73.0	42.9	35.8	18.6	21.7	49.1	23.5	10.6	21.7	48.2	11.5	29.2	4.4	2.2	
	女性	341	16.7	76.2	37.5	74.8	59.5	57.5	34.3	39.0	53.1	24.9	5.9	20.8	46.9	15.5	42.2	4.7	1.2	
年 齢 別	18～24歳	230	21.7	76.1	43.0	80.0	56.5	43.9	29.1	24.8	57.8	25.7	10.4	23.5	51.7	18.7	38.7	5.2	2.6	
	25～29歳	121	20.7	75.2	31.4	71.9	47.1	47.9	33.1	33.1	51.2	25.6	5.0	22.3	47.1	14.0	39.7	4.1	2.5	
	30～34歳	117	21.4	65.0	32.5	66.7	56.4	51.3	23.1	38.5	44.4	17.1	6.0	17.9	45.3	6.8	35.0	5.1	0.0	
	35～39歳	99	22.2	73.7	33.3	71.7	47.5	58.6	25.3	40.4	45.5	28.3	7.1	18.2	40.4	11.1	32.3	3.0	0.0	
結 婚 経 験 別	既婚	198	14.1	76.8	34.3	75.8	52.0	56.1	32.3	41.9	48.5	30.8	7.1	16.2	40.4	7.1	39.4	4.0	0.5	
	死別・離別	11	27.3	45.5	45.5	54.5	54.5	72.7	36.4	63.6	27.3	27.3	9.1	36.4	54.5	27.3	36.4	0.0	0.0	
	未婚	358	25.4	72.1	37.7	73.7	53.4	44.1	25.4	25.7	53.9	20.7	8.1	23.5	51.1	17.3	35.8	5.0	2.2	
参 考	令和5年度	472	21.4	72.2	35.2	72.5	53.4	47.9	28.2	33.3	50.0	23.9	7.2	20.6	45.1	12.7	36.9	4.9	1.7	
	令和元年度	669	※	68.6	26.0	65.3	56.2	56.5	39.6	33.2	45.1	28.7	10.0	17.5	39.3	15.7	37.2	3.4	1.6	

※前回調査項目なし

(14) 少子化対策に関する意見

少子化対策に関する意見（自由回答）

結婚から妊娠・出産、子育て支援までの少子化対策について計 271 件の意見をいただいた。それらの意見の傾向をみるため、意見に含まれる内容を、現行の子育て支援・少子化対策に関する基本計画に定める重点施策の項目を中心に分類して集計した。なお、集計は、一人の意見の中に複数の項目が含まれる「複数回答」が存在する。

項目	件数	割合	内訳	
			男性	女性
子育て家庭に対する支援の充実	27	10.0%	4	23
幼児教育・保育の従事者の確保と質の向上	4	1.5%	1	3
特別保育のさらなる充実	8	3.0%	0	8
放課後児童クラブの充実	2	0.7%	0	2
産後ケアの充実、産後うつ対策	3	1.1%	0	3
その他	10	3.7%	3	7
働き方改革の推進	13	4.8%	33	10
生産性向上による長時間労働の是正と柔軟で多様な働き方の推進	13	4.8%	3	10
女性活躍の推進と男性の家事・育児参画の促進	26	9.6%	2	24
女性活躍の推進	10	3.7%	0	10
男性の育児休業取得促進	4	1.5%	0	4
男性の家事・育児参画の促進	3	1.1%	0	3
その他	9	3.3%	2	7
結婚を希望する男女への支援	11	4.1%	6	5
出会いの機会の創出	7	2.6%	3	4
その他	4	1.5%	3	1
移住・UJターンの促進	3	1.1%	1	2
UJターン就職の促進	1	0.4%	0	1
その他	2	0.7%	1	1
結婚・妊娠・子育てにかかる経済的負担の軽減	73	26.9%	27	46
出産・保育・医療等にかかる経費の助成	21	7.7%	6	15
就学にかかる経費の助成	16	5.9%	6	10
住宅などにかかる経費の助成	1	0.4%	1	0
その他	35	12.9%	14	21
結婚・妊娠、子ども・子育てに温かい社会づくり	15	5.5%	5	10
結婚、妊娠、子ども・子育てを社会全体で応援する気運の醸成	6	2.2%	2	4
障害や疾病のある子どもに対する支援体制の充実	1	0.4%	0	1
その他	8	3.0%	3	5
若者の社会的・経済的不安の解消	54	19.9%	22	32
若い世代の所得向上	27	10.0%	15	12
その他	27	10.0%	7	20
結婚・出産に対する考え	6	2.2%	0	6
少子化の現状や少子化対策全般に対する意見	9	3.3%	3	6
行政全体に対する意見・要望	22	8.1%	13	9
その他	12	4.4%	6	6
合計	271		62	125

【各項目の主な意見（例示）】

➤ 子育て家庭に対する支援の充実

- 子育て支援センターでの預かりなど、一時預かりを気軽にできるサービスがあれば助かる。保育園で一時預かりの登録をしているが、事前の持ち物の準備や電話予約必須などでハードルが高い。自宅保育をしていると、親は美容院や病院にも行けない。
- 産後が一番不安で辛かったので、産後ケアサービスの拡充や産後5ヶ月～1歳までのケア施設も欲しい。無料とまではいなくても、1泊5千円で利用できたり、前日まで申込みOKだったりすることが理想。育休中も月に3回まで等の制限があっても良いので、保育施設の利用もできると嬉しい。

➤ 働き方改革の推進

- 現在フルタイム勤務をしているが、子どもの急な体調不良で学校や保育施設を休ませる際、自身もなかなか仕事を休みづらい。子育て世帯への理解や働き方改革をもっと進めてほしい。
- 仕事が忙しくて家庭との両立が難しい。働き方改革によりプライベートの時間を増やすことで、少子化対策にもつながると思う。

➤ 女性活躍の推進と男性の家事・育児参画の促進

- 子どもがいたらよいと思うものの、産休や育休を取ることで仕事が中断されることが受け入れられず、前向きになれない。結婚・出産は女性が不利になることばかりだと思うので、育児の際は、男性と同じように仕事も全力で頑張れるようなサポートがあればありがたい。
- 女性に仕事・家事・育児を求めすぎず、男性にも家事・育児は手伝うものではなくお互いに助け合う共同作業であるということ、収入の差が家庭内の立場の差ではないことをもっと認識して欲しい。男女平等であっても体力など性別の違いを理解し補い合う気持ちを持って欲しい。また、これらの考えを教育して欲しい。

➤ 結婚を希望する男女への支援

- 出会いの場が少なく、また婚活というもののイメージが少し負の印象であることが問題ではないかと思う。また、結婚に対するイメージも昔と比べて悪い印象が増えている様子がある。
- 結婚するまでにお金がかかりすぎる。プロポーズ、婚約指輪・結婚指輪、結婚式、新しい住居などの負担により子どもを持つための費用がなくなり、子どもを持つタイミングを失う可能性があるため、負担軽減の対策が欲しい。

➤ 移住・Uターン促進

- 富山県は自然も食も豊かで子育て、生活しやすいと思うが、県外に出てしまう若者が多いため、少子化につながっている面もあると思う。住みやすさのアピール、県がイベントを支援して人を呼び込む、富山への企業誘致など工夫し、若者の流出を防ぐことやUターンを増やすことも必要だと思う。

➤ 結婚・妊娠・子育てにかかる経済的負担の軽減

- 自治体によって第一子から保育料が軽減されるところもあれば第二子以降でないとダメだったり、同時期に保育所に通っていないとダメだったり免除や軽減される条件が異なっていて、同じ子どもの数を育てていても負担額が違っていると不公平に感じる。

- 第三子以降は世帯年収に関わらず、所得税及び地方税の減税をするなど子育て世帯の税金を減らし、大学まで無償化にするべき。結婚や出産、子育ては所得の不安によるところが多い。昔と違って1人でも楽しく過ごしてしまう時代だから、若い人達は大きなメリットが無いと結婚や出産をするわけがない。
 - 結婚から子育てまで想像以上にお金がかかる。いろんな物やサービスの価格が高騰する中、将来に対する不安は大きい。特に子育ては肉体的負担が大きい、そこに経済的負担もあると、その道を選ばない人が増えるのは当然の結果だと思う。子どものいる幸せは経験しないと分からないが、幸せを守ってためにも結局お金が必要。
- 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会づくり
- 以前よりは、子育てを助ける政策等が増えており、利用数も増えていると思う。しかし、仕事をしている中で既にある制度を利用したいと思ったときに、周囲の理解度が非常に低い。制度を利用するには、本人が会社や同僚と対立する覚悟で意思表示していかないと、とてもじゃないが利用までいかない。ただ制度があるだけでなく、精神的に使いやすい社会になってほしい。そうでなければいつまでも子どもを作る気持ちが高まらないと思う。
 - 片親でも十分な子育てができる環境が必要。それを知ってもらう機会があればなおよい。
- 若者の社会的・経済的不安の解消
- 大半の若い世代には金銭的な余裕がなく日々の生活で手一杯なため、そもそも結婚や子育てに割くお金や時間はない。児童手当の拡充や出産費用の支援をうたってもあまり意味がなく、大幅に収入を底上げして生活基盤を安定させないと先のことなど考えられないのが現状。
 - 若者の収入が上がるか、税金や年金の負担が減るか、子育てにかかる費用が減らない限りは、パートナーがいても子どもを作る気にはなれない。子どもが将来大人になったときに、今私が感じている生活の苦しさを感ぜない世の中になっていく見込みがない限りは、子どもが可哀想なので産みたいと思わない。
 - 結婚をしたいと考えているが、ニュースで虐待や保育園などの入園の難しさなどの情報を耳にするたびに、結婚への期待や夢がなくなっていくのを感じる。また自分自身に金銭的余裕がないため、結婚をあきらめようと何度も考えた。自分のような立場の人がまわりに多く、社会や政治への不満や不安が大きい。
- 結婚・出産に対する考え
- 地方ではいまだに結婚が当たり前で、子どもがいないと半人前という扱いを男女ともにされているのが、プレッシャーとストレスを感じる。
- 少子化の現状や少子化対策全般に対する意見
- 少子化だから単純に出生数を増やすという考えでなく、少ない人数の中で生活の質を下げず、今の経済状況でどう暮らしていったら良いのか、地域の再編やインフラの整理などを考えてほしい。生まれてきた子どもが私たちのように、少子化にまた悩まされるというループを止めて欲しい。
- 行政全体に対する意見・要望
- 現状ある支援をとっても、広告や宣伝があまり周知されていないように感じるところもある。いろんなところから情報を発信してもらえると、少しでも少子化対策に繋がるのではないか。
 - どんな政策でもよいが、早急に県民に還元されるようにしてほしい。

使用した調査票

結婚等に関する県民意識調査 調査票

▼ あなたご自身のことについて、該当する数字を○で囲んでください。

記入欄（F2）には数字をご記入ください。

F1 あなたの戸籍上の性別は？

1. 男性 2. 女性

F2 あなたの年齢は？

（ ）歳

F3 あなたがお住まいの市町村は？

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 富山市 | 2. 高岡市 | 3. 魚津市 | 4. 氷見市 |
| 5. 滑川市 | 6. 黒部市 | 7. 砺波市 | 8. 小矢部市 |
| 9. 南砺市 | 10. 射水市 | 11. 舟橋村 | 12. 上市町 |
| 13. 立山町 | 14. 入善町 | 15. 朝日町 | |

F4 あなたのご職業は？

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 自営業（自由業、家族従事者を含む） | 2. 雇用者（正社員、公務員などの正規職員） |
| 3. パートタイマー・派遣等の非正規雇用者 | 4. その他の仕事 |
| 5. 学生 | 6. 無職・家事専業 |

F5 あなたは、現在結婚していますか？

- | | | |
|--------------------|---|----------|
| 1. 結婚している | } | 【結婚経験あり】 |
| 2. 結婚していたが、死別・離別した | | |
| 3. 今まで結婚したことはない | | 【未婚】 |

F6 F5 で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きます。

ご夫婦の初再婚の別をお答えください。

- | | | | | |
|-------------|---|-------|----------|----------|
| あなたについて | ➡ | 1. 初婚 | 2. 離婚後再婚 | 3. 死別後再婚 |
| あなたの配偶者について | ➡ | 1. 初婚 | 2. 離婚後再婚 | 3. 死別後再婚 |

F7 F5 で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きます。

結婚年数をお答えください。

1. 3年未満 2. 3年以上6年未満 3. 6年以上10年未満 4. 10年以上

F8 全員にお聞きます。

あなたは、お子さまがいらっしゃいますか？

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 子どもはいない

▼ 以下、質問です。該当する回答の数字を○で囲んでください。

問1 全員にお聞きます。

結婚についてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。(1つに○)

1. 結婚は必ずすべきだ
2. 結婚はしたほうがよい
3. 結婚はしなくても一緒に生活するパートナーはいたほうがよい
4. 結婚や一緒に生活するパートナーはいなくても恋人はいたほうがよい
5. 結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない
6. その他 ()

問2 全員にお聞きます。

あなたは、ご自身の結婚の時期について、どのように考えていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 現在、結婚している | 2. すぐにでも結婚したい |
| 3. 2～3年以内に結婚したい | 4. いずれは結婚したい |
| 5. 結婚するつもりはない | |
| 6. わからない | あえて選ぶなら |
| | ア 結婚したい |
| | イ 結婚したくない |

問3 全員にお聞きます。

あなたご自身は、理想的には何歳くらいで結婚するのが良いと思いますか。

実際にどうであるかは別として、あなたにとっての理想の結婚年齢をお答えください。(数字でお答えください)

() 歳くらい

問2で「1」～「4」「6.ア」を選んだ方は 問4-1へ、「5」「6.イ」を選んだ方は 問5-1へお進みください。

問4-1 問2で「1」～「4」「6.ア」(すでに結婚している、将来結婚したい)を選んだ方にお聞きます。

あなたが結婚相手に求める条件は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 職種・職業 | 2. 経済力・年収 |
| 3. 学歴 | 4. 容姿 |
| 5. 年齢 | 6. 健康 |
| 7. 愛情深い・思いやりがある | 8. 誠実である |
| 9. 温厚・温和である | 10. 共通の趣味がある |
| 11. 一緒にいて楽しい | 12. 一緒にいて落ち着ける・気を遣わない |
| 13. 金銭感覚が近い | 14. 価値観が近い |
| 15. 家事・育児ができる | 16. 自分の仕事に対する理解 |
| 17. 親の同意 | 18. 自分の親との同居 |
| 19. その他 () | |
| 20. 結婚相手に求める条件はない | |

問4-2 問2で「1」～「4」、「6.ア」(すでに結婚している、将来結婚したい)を選んだ方にお聞きます。

あなたが異性から結婚相手として求められていると思う条件は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 職種・職業 | 2. 経済力・年収 |
| 3. 学歴 | 4. 容姿 |
| 5. 年齢 | 6. 健康 |
| 7. 愛情深い・思いやりがある | 8. 誠実である |
| 9. 温厚・温和である | 10. 共通の趣味がある |
| 11. 一緒にいて楽しい | 12. 一緒にいて落ち着ける・気を遣わない |
| 13. 金銭感覚が近い | 14. 価値観が近い |
| 15. 家事・育児ができる | 16. 自分の仕事に対する理解 |
| 17. 親の同意 | 18. 自分の親との同居 |
| 19. その他 () | |
| 20. 結婚相手として求められている条件はない | |

➡ **F5** で「結婚経験あり」の方は **問6** へ、「未婚」の方は **問8-1** へお進みください。

問5-1 問2で「5」「6.イ」(結婚するつもりはない、結婚したくない)を選んだ方にお聞きます。

現在のお気持ちは別として、あなたはこれまでに「結婚したい」と思ったことがありますか。

また、その考えが「結婚するつもりはない、結婚したくない」に変わった理由はどのようなものですか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 雇用・労働条件が悪化した | 2. 収入や貯蓄が減った |
| 3. 仕事と家庭生活の両立が難しい | 4. 適当な相手にめぐり会わない |
| 5. 自分や家族の個人的事情が変わった | 6. その他 () |
| 7. これまでも「結婚したい」と思ったことがない | |

問5-2 問2で「5」「6.イ」(結婚するつもりはない、結婚したくない)を選んだ方にお聞きます。

今後あなたのお考えが「結婚したい」に変わる可能性はありますか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 変わる可能性があると思う | 2. 変わる可能性がないと思う |
|-----------------|-----------------|

問5-3 問5-2で「1」を選んだ方にお聞きます。

変わるとする場合、どのようなきっかけで変わると思われますか。

考えが変わるにあたって影響が大きいと思うものを3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1位 () 2位 () 3位 ()

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 雇用・労働条件が改善する | 2. 収入や貯蓄が増える |
| 3. 子育て支援策が充実する | 4. 家事・育児を男女で分け合う社会になる |
| 5. 家族を養う責任を男女ともに担う社会になる | 6. 結婚に関する法律や制度が変わる |
| 7. 異性と出会う機会が増える | 8. 結婚したいと思う相手が現れる |
| 9. 子どもができる | 10. 自分や家族の個人的事情が変わる |
| 11. 結婚を希望する人を応援する社会的機運が醸成される | |
| 12. その他 () | |

➡ **F5** で「結婚経験あり」の方は **問6** へ、「未婚」の方は **問8-1** へお進みください。

問6 **F5** で「結婚経験あり」の方にお聞きます。

あなたが配偶者と結婚した理由としてあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 一緒に生活をしたかった | 2. 子どもが欲しかった |
| 3. 家族を持ちたかった | 4. 精神的な安らぎの場を持ちたかった |
| 5. 一人であるのは寂しかった | 6. 社会的に認められたかった |
| 7. 経済的な安定を得たかった | 8. 両親や親類を安心させたかった |
| 9. 周囲から結婚したほうが良いと言われた | 10. 老後が心配だった |
| 11. 家を守る必要があった | 12. 家から出たかった |
| 13. 自分の仕事(の継続)に理解があった | 14. 仕事の負担を軽減したかった |
| 15. 家事・育児を分担したかった、負担を軽減したかった | |
| 16. その他 () | |

問7-1 **F5** で「結婚経験あり」の方にお聞きます。

あなたは配偶者とのようなきっかけで知り合いましたか。

もっともあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 学校 | 2. 学校以外のサークルやクラブ活動・習い事 |
| 3. 職場や仕事の関係(上司の紹介を除く) | 4. 幼なじみ・隣人関係 |
| 5. 地域やボランティア活動 | 6. 友人や兄弟(姉妹)を通じた紹介 |
| 7. お見合い(親や親戚・上司の紹介も含む) | 8. 合コンやパーティー |
| 9. 結婚相談所 | 10. 街中や旅行先 |
| 11. アルバイト先 | 12. インターネット・アプリ |
| 13. その他 () | |

問7-2 **F5** で「結婚経験あり」の方にお聞きます。

あなたは配偶者と交際を始める前、交際相手に出会うことを期待してどのようなことを行っていましたか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. 友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼んだ | 2. 職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ |
| 3. 合コンやパーティーに行った | 4. インターネット・アプリを利用した |
| 5. 趣味のサークルに入った | 6. スキルアップや資格取得のための学校に通った |
| 7. 親や親戚・上司に紹介を頼んだ | 8. お見合いをした |
| 9. 民間の結婚相談所を利用した | 10. 地方自治体やNPOなどの団体の結婚相談所を利用した |
| 11. その他 () | |
| 12. 特に何もしていない | |

➡ **問10** へお進みください。

問8-1 F5 で「未婚」の方にお聞きます。

あなたが現在結婚していない理由は何ですか。

あなたの考えに近いものから3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1位 () 2位 () 3位 ()

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. まだ若いから | 2. 必要性を感じない |
| 3. 仕事（学業）に打ち込みたい | 4. 趣味や娯楽を楽しみたい |
| 5. 自由や気楽さを失いたくない | 6. 仕事が忙しすぎるから |
| 7. 適当な相手にめぐり会わない | 8. 異性とうまくつきあえない |
| 9. 結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない | |
| 10. 住宅のめどが立たない | 11. 親や周囲が同意しない |
| 12. 雇用が安定しない | 13. 結婚するつもりがない |
| 14. その他 () | |

➡ 「7」を選んだ方は問8-2へ、「9」を選んだ方は問8-3へ、その他の方は問8-4へお進みください。

問8-2 問8-1 で「7」を選んだ方にお聞きます。

適当な相手にめぐり会わない具体的な理由のうち、もっともあてはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

- | |
|--|
| 1. そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない |
| 2. 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない |
| 3. 結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう |
| 4. 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない |
| 5. そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識したりすることが（ほとんど）ない |
| 6. 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない |
| 7. 好きになった相手を親や周囲が認めない |
| 8. その他 () |

問8-3 問8-1 で「9」を選んだ方にお聞きます。

結婚や結婚後の生活に係る費用の中で、あなたが負担が大きいと感じるものは何ですか。

負担の大きいものから3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1位 () 2位 () 3位 ()

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 挙式のための資金 | |
| 2. 結婚生活のための住居取得費、新生活の準備のための資金 | |
| 3. 結婚後の日常生活に係る費用 | 4. 子どもが生まれた場合の子育てや教育に係る費用 |
| 5. 奨学金の返済に係る費用 | 6. その他 () |

問8-4 **F5** で「未婚」の方にお聞きます。

どのような支援・環境があれば、あなたの結婚する意向が高まると思いますか。

重要だと思うものを3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1位 () 2位 () 3位 ()

1. 結婚を希望する人を応援する社会的機運が醸成されること
2. 結婚後の生活が具体的にイメージできること
3. 異性との出会いの場の提供など結婚支援があること
4. 自分又はパートナーの雇用機会や収入が安定すること
5. 結婚後も希望すれば継続して就業できること
6. 祖父母や親から経済的支援があること
7. 住宅費の軽減などにより結婚後の住宅が確保できること
8. 転勤等自らのキャリアプランについて希望がかなうこと
9. その他 ()

問8-5 **F5** で「未婚」の方にお聞きます。

あなたは異性と交際するうえでの不安はありますか。

不安がある場合はあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 気になる異性がいっても、どのように声をかけてよいかわからない
2. どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない
3. 恋愛交際の進め方がわからない
4. 異性との交際がなんとなくこわくて、交際に踏みきれない
5. 過去の失恋経験からまた異性にふられるのではないかと思う
6. 自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う
7. 自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ
8. そもそも異性との出会いの場所がわからない
9. その他 ()

問9-1 **F5** で「未婚」の方にお聞きます。

あなたは婚活としてどのようなことを行っていますか(または、行いたいですか)。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 友人や兄弟(姉妹)に紹介を頼む
2. 職場の同僚や先輩に紹介を頼む
3. 合コンやパーティーに行く
4. インターネット・アプリを利用する
5. 趣味のサークルに入る
6. スキルアップや資格取得のための学校に通う
7. 親や親戚・上司に紹介を頼む
8. お見合いをする
9. 民間の結婚相談所を利用する
10. 地方自治体やNPOなどの団体の結婚相談所を利用する
11. その他 ()
12. 特に何もしていない

➡「12」を選んだ方は **問9-2** へ、その他の方は **問10** へお進みください。

問9-2 問9-1で「12」を選んだ方にお聞きます。

特に何もしていない理由は何ですか。

理由として大きいものを3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1位 () 2位 () 3位 ()

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 既に交際相手がいるから | 2. どうやって婚活をしたらよいかわからないから |
| 3. 自然に出会いたいから | 4. 婚活にかかる費用が高額だから |
| 5. 気軽に参加できる機会がないから | 6. 仕事やプライベートを優先したいから |
| 7. 婚活をするのは恥ずかしいから | 8. 婚活サービスの利用に不安感や抵抗があるから |
| 9. すぐに結婚したいとは考えていないから／まだ早いと感じるから | |
| 10. 必要性を感じないから | 11. その他 () |
| 12. 特に理由はない | |

問10 全員にお聞きます。

あなたが結婚生活を送っていくうえで不安に思っていること(思ったこと)は何ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

※ **F5** で「未婚」の方は、結婚すると仮定してお答えください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 配偶者と心が通わなくなる・不仲になること | 2. 配偶者との家事・育児分担 |
| 3. 配偶者の親族とのつきあい | 4. 配偶者や自分の親の介護 |
| 5. 経済的に十分な生活ができるか | 6. 今までの仕事が続けられるか |
| 7. 収入や仕事が安定しない | 8. 自分の自由時間がとれなくなる |
| 9. 出産・子育て | 10. 子どもの教育やしつけ |
| 11. 子どもができるか | 12. わからない |
| 13. その他() | |

問11 全員にお聞きます。

近年の少子化の要因の一つに、未婚化、晩婚化の進行が挙げられています。

未婚化、晩婚化の理由についてあなたはどう思いますか。

あなたの考えに近いものから3つまで選んで、順に番号を記入してください。

1位 () 2位 () 3位 ()

- | |
|----------------------------------|
| 1. 独身生活のほうが自由だから |
| 2. 結婚に対する世間のこだわりが少なくなったから |
| 3. 仕事のためには、独身のほうが都合がよいから |
| 4. 仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから |
| 5. 女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから |
| 6. 社会慣行としてのお見合いが減少したから |
| 7. 適当な相手にめぐり会う機会が少ないから |
| 8. 若者の親離れ・親の子離れができていないから |
| 9. 高学歴社会になったから |
| 10. 若者の経済的自立が難しくなったから |
| 11. 恋愛や交際に消極的な男性(いわゆる草食男子)が増えたから |
| 12. その他 () |

問 12-1 全員にお聞きします。

現在の状況に関わらず、あなたご自身が理想とする生き方について、
 あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 結婚せず、仕事を続ける |
| 2. 結婚するが子どもを持たず、仕事を続ける |
| 3. 結婚して子どもを持ち、仕事を続ける |
| 4. 結婚して子どもを持つが結婚又は出産の機会に一旦退職し、子育て後に再び仕事を持つ |
| 5. 結婚して子どもを持って結婚又は出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない |
| 6. その他 () |

➡「1」「2」「6」を選んだ方は **問 13-1** 又は**問 14** へ、「3」「4」「5」を選んだ方は **問 12-2** へお進みください。

問 12-2 問 12-1 で「3」「4」「5」を選んだ方にお聞きします。

現在の状況に関わらず、あなたご自身が理想とする結婚後の働き方及び配偶者に望む結婚後の働き方を、

A)～C) のそれぞれの状況について、1～5から1つずつ選んでください。(A～Cについて1つずつ○)

<あなたご自身が理想とする結婚後の働き方>

	1 正規雇用 (フルタイム)	2 正規雇用 (短時間正社員 制度や育児期間 の短時間勤務制 度等を活用)	3 非正規雇用 (パートタイマ ー・派遣等)	4 家でできる 仕事	5 仕事は持た ず、家事・育 児に専念する
A) 結婚して子ども がいないとき	1	2	3	4	5
B) 子どもが小学校 入学前	1	2	3	4	5
C) 子どもが小学校 入学後	1	2	3	4	5

<配偶者に望む結婚後の働き方>

	1 正規雇用 (フルタイム)	2 正規雇用 (短時間正社員 制度や育児期間 の短時間勤務制 度等を活用)	3 非正規雇用 (パートタイマ ー・派遣等)	4 家でできる 仕事	5 仕事は持た ず、家事・育 児に専念する
A) 結婚して子ども がいないとき	1	2	3	4	5
B) 子どもが小学校 入学前	1	2	3	4	5
C) 子どもが小学校 入学後	1	2	3	4	5

問 13-1 F5 で「1.結婚している」と答えた方にお聞きます。

あなた方ご夫婦にとって、理想的な子どもの数は何人ですか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | | | |
|--------------|-------------|-------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 ()人 | 6. 子どもはいらない | | |

問 13-2 F5 で「1.結婚している」と答えた方にお聞きます。

あなた方ご夫婦にとって、実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | | | |
|--------------|-------------|-------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 ()人 | 6. 子どもはいらない | | |

問 13-3 実際に持つつもりの子どもの数(問 13-2の答)が、理想的な子どもの数(問 13-1の答)より少ない方にお聞きます。

実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはなぜですか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 2. 家が狭いから |
| 3. 自分の仕事に差し支えるから |
| 4. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 5. これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから |
| 6. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから |
| 7. 配偶者が望まないから |
| 8. 高齢で出産することが不安だから |
| 9. 健康上の理由から |
| 10. 欲しいけれどもできないから |
| 11. その他 () |

問 14 F5 で「2.結婚していたが、死別・離別した」か、「3.今まで結婚したことはない」と答えた方にお聞きます。

あなたは、子どもは何人くらいほしいですか。

あてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | | | |
|--------------|-------------|-------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上 ()人 | 6. 子どもはいらない | | |

問 18 全員にお聞きします。

行政が、結婚から妊娠・出産、子育て支援までの少子化対策に取り組むうえで、あなたはどのような施策を拡充すべきと考えますか。

あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 出会いの場の提供などの結婚支援
2. 保育料等の支援、軽減
3. 在宅育児への支援
4. 教育費等の支援、軽減
5. 育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し
6. 保育サービスや放課後児童クラブなど子どもの預け場所、居場所の整備
7. 乳幼児連れでも外出しやすい環境づくり
8. 不妊や不育症に関する相談窓口の整備や治療費助成制度の充実
9. 子どもの医療費にかかる経済的負担への支援
10. 多子世帯（子ども3人以上）に着目した子育て支援
11. 三世帯同居や近居を進めるための施策の推進
12. 若い世代へのライフプラン教育の充実
13. 若い世代の雇用や収入の安定化のための施策
14. 子育てに役立つ情報の充実（アプリ、サイトなど）
15. 結婚・出産・子育てにあたたかい社会づくり（機運の醸成）
16. その他（)

結婚から妊娠・出産、子育て支援までの少子化対策について、どのようなことでも結構ですのでご意見をお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。